

片丘小学校トイレ改修工事

塩 尻 市

3 防水改修工事	7 脱気装置	[3.3.3][表3.3.8][表3.3.9][3.4.3][表3.4.2][表3.4.3][3.5.3][3.6.3]
	8 シーリング	[3.1.4][表3.1.2][3.7.4~3.7.7]
9 とい	材種	[3.8.2][表3.8.1]
	多雪地域の軒どい取付け間隔	[3.8.2]
10 7M30製鉄鋼	鋼管製といの防露	[3.8.3][表3.8.4]
	たてどい受け金物の取付け	[3.8.3][表3.8.4]
1 施工数量調査	7M30製鉄鋼の種類	[3.9.2][3.9.3][表3.9.1]
	板材折曲げ形7M30製鉄鋼の取付工法	[1.6.2]
2 外壁改修の保証書	保証書の提出	[1.6.2]
	保証書の提出	[1.6.2]

1 ひび割れ部改修工法	ひび割れ部改修工法	[4.1.4][4.2.5]
	欠損部改修工法	[4.1.4][4.2.4][4.2.8]
2 欠損部改修工法	欠損部改修工法	[4.1.4][4.2.4][4.2.8]
	モルタル塗り	[4.1.4][4.2.4][4.2.7]
3 欠損部改修工法	欠損部改修工法	[4.1.4][4.2.4][4.2.8]
	欠損部改修工法	[4.1.4][4.2.4][4.2.8]
4 欠損部改修工法	欠損部改修工法	[4.1.4][4.2.4][4.2.8]
	欠損部改修工法	[4.1.4][4.2.4][4.2.8]
5 欠損部改修工法	欠損部改修工法	[4.1.4][4.2.4][4.2.8]
	欠損部改修工法	[4.1.4][4.2.4][4.2.8]
6 目地改修工法	目地改修工法	[4.1.4][4.2.4][4.2.8]
	目地改修工法	[4.1.4][4.2.4][4.2.8]

4 浮き部改修工法	浮き部改修工法	[4.1.4][4.3.5][4.3.11~4.3.16][表4.3.3][表4.3.6]
	浮き部改修工法	[4.1.4][4.3.5][4.3.11~4.3.16][表4.3.3][表4.3.6]
5 浮き部改修工法	浮き部改修工法	[4.1.4][4.3.5][4.3.11~4.3.16][表4.3.3][表4.3.6]
	浮き部改修工法	[4.1.4][4.3.5][4.3.11~4.3.16][表4.3.3][表4.3.6]
6 目地改修工法	目地改修工法	[4.1.4][4.2.4][4.2.8]
	目地改修工法	[4.1.4][4.2.4][4.2.8]
7 目地改修工法	目地改修工法	[4.1.4][4.2.4][4.2.8]
	目地改修工法	[4.1.4][4.2.4][4.2.8]
8 目地改修工法	目地改修工法	[4.1.4][4.2.4][4.2.8]
	目地改修工法	[4.1.4][4.2.4][4.2.8]
9 目地改修工法	目地改修工法	[4.1.4][4.2.4][4.2.8]
	目地改修工法	[4.1.4][4.2.4][4.2.8]
10 目地改修工法	目地改修工法	[4.1.4][4.2.4][4.2.8]
	目地改修工法	[4.1.4][4.2.4][4.2.8]

1 既存塗膜等の除去及び下地処理	既存塗膜等の除去及び下地処理	[4.1.5][4.5.2][表4.5.1][表4.5.2]
	既存塗膜等の除去及び下地処理	[4.1.5][4.5.2][表4.5.1][表4.5.2]
2 下地調整	下地調整	[4.1.5][4.5.2][表4.5.1][表4.5.2]
	下地調整	[4.1.5][4.5.2][表4.5.1][表4.5.2]
3 仕上げ塗材	仕上げ塗材	[4.1.5][4.5.2][表4.5.1][表4.5.2]
	仕上げ塗材	[4.1.5][4.5.2][表4.5.1][表4.5.2]
4 外壁用塗膜防水材塗り	外壁用塗膜防水材塗り	[4.1.5][4.7.2][4.7.3][表4.7.1]
	外壁用塗膜防水材塗り	[4.1.5][4.7.2][4.7.3][表4.7.1]
5 網戸	網戸	[5.2.2][5.2.4][表5.2.1]
	網戸	[5.2.2][5.2.4][表5.2.1]
6 樹脂製建具	樹脂製建具	[5.2.2][5.2.4][表5.2.1]
	樹脂製建具	[5.2.2][5.2.4][表5.2.1]
7 樹脂製建具	樹脂製建具	[5.2.2][5.2.4][表5.2.1]
	樹脂製建具	[5.2.2][5.2.4][表5.2.1]
8 樹脂製建具	樹脂製建具	[5.2.2][5.2.4][表5.2.1]
	樹脂製建具	[5.2.2][5.2.4][表5.2.1]
9 樹脂製建具	樹脂製建具	[5.2.2][5.2.4][表5.2.1]
	樹脂製建具	[5.2.2][5.2.4][表5.2.1]
10 樹脂製建具	樹脂製建具	[5.2.2][5.2.4][表5.2.1]
	樹脂製建具	[5.2.2][5.2.4][表5.2.1]

7 鋼製建具 (標準型鋼製建具を含む) 簡易気密型ドアの性能値の適用 [5.4.2][5.4.6][表5.4.1] ※適用する(適用箇所は建具表による) ・適用しない

8 鋼製軽量建具 (標準型鋼製軽量建具を含む) 簡易気密型ドアの性能値の適用は建具表による [5.5.2][5.5.6] 鋼板類の種類 [5.5.3] ・垂鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ○か-鋼板 ・ステンレス鋼板

9 ステンレス製建具 簡易気密型ドアの性能値の適用は建具表による [5.4.2][5.6.2][表5.4.1] 外部に面する建具の耐風圧性 [5.4.2][5.6.2][表5.2.1] ・S-4 ・S-5 ・S-6

10 木製建具 フラッシュ戸 [5.7.2][5.7.3][表5.7.6] 表面材の種類 ・表面材のMDF放散量 ※F☆☆☆☆ ・MDFボード 表裏面の状態(・) 曲げ強さ(・) 接着剤(・) 難燃性(・) 表面板の厚さ 普通合板(※2.5mm・mm) 天然木化粧合板(※3.2mm・mm) 特殊加工化粧合板(※2.4mm・mm) かまち戸 [5.7.2][表5.7.3][表5.7.7] かまちの樹種(・) 鏡板の樹種(・) ふすまの種類 ・I型 ・II型 ふすまの上張り ・鳥の子 ・新鳥の子 ・ビニル紙程度 ・雲花紙程度 ふすま縁の仕上げ ・塗り縁 ・生地縁 見込み寸法 かまち戸(※36mm・mm) ふすま(※19.5mm・mm) 戸ぶすま(※30mm・mm) 紙張り障子(※30mm・mm) 建具材の加工・組立時の含水率 ※A種 ・B種 [5.7.2][表5.7.1] 接着剤のMDF放散量 ※F☆☆☆☆ [5.7.2] かつぎの材料 ・枠の材料 [5.7.2]

11 建具用金具 マナーキー ・製作する(本) ※製作しない [5.8.4] 鍵の数 錠前1組に2枚とする ・錠前1組に 枚とする かがね 市販品(鋼製) 形式 ・30組用 ・60組用 ・120組用

12 自動ドア開閉装置 自動ドアの開閉機構 [5.9.2][表5.9.4] 開閉方法 引き戸用検出装置の種類 ※スイングドア ・タッチスイッチ ※光線(反射)センサー ・スイングドア ・音波センサー ・熱線センサー ・光電センサー ・電波センサー 凍結防止措置 ※行わない ・行う() [5.9.2]

13 自閉式上吊り引戸装置 ※適用する(適用建具及び適用位置は図示による) [5.10.1]

14 重量シャッター 外部に面するシャッターの耐風圧強度() N/m² [5.11.2] 開閉機能 ※上部電動式(手動併用) ・上部手動式 [5.11.2][表5.11.1] 急降下制動装置、急降下停止装置等を設けた電動シャッターの設置箇所 [5.11.2] ・図示 障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ・図示 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置 ・設ける(設置箇所: 図示) 一般重量シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない [5.11.2]

15 軽量シャッター 開閉形式 ※手動式 ・上部電動式(手動併用) [5.12.2][表5.12.1] 外部に面するシャッターの耐風圧強度() N/m² [5.12.2] スラット 厚さ(mm) ・0.5 ・0.6 ・0.8 ・1.0 [表5.12.2] 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 [5.12.3] 形状 ※インターロック形 ・オーバラック形 [5.12.4] ガイドレール等 ※鋼板製 ・ステンレス製 SUS304(厚さ1.5mm) [表5.12.2] シャッターケース 厚さ(mm) ・0.4 [表5.12.2]

16 オートヘッドドア [5.13.2][5.13.3][表5.13.1] セクション材料 開閉方式 収納形式 ガイドレール ※スチールタイプ ※ガラスタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ ※ガラスタイプ ・電動式 ・ローレット形 ・ローレット形 ・ローレット形

17 ガラス 下記以外は、建具表による [5.14.2] ・合わせガラス 特性による種類 ※II-1類 ・強化ガラス 材料板がらによる種類 特性による種類 ・強化ガラス ・II類(曲面はI類) ・型板がら 複層ガラス 材料板がらの種類及び厚さの組合せ並びに複層がらの厚さ ・建具表による

17 ガラス 下記以外は、建具表による [5.14.2] ・合わせガラス 特性による種類 ※II-1類 ・強化ガラス 材料板がらによる種類 特性による種類 ・強化ガラス ・II類(曲面はI類) ・型板がら 複層ガラス 材料板がらの種類及び厚さの組合せ並びに複層がらの厚さ ・建具表による

18 ガラス留め材 [5.14.2][表3.7.1] 建具の種類 種類 アルミニウム製及び樹脂製 ・樹脂製 ※樹脂製(FIX部は樹脂製) 鋼製及び軽量鋼製 ※樹脂製 ステンレス製 ※樹脂製

19 ガラスロック積み [5.14.5] 寸法(mm) 表面形状 性能等 呼び寸法 厚さ 色調 パターン 防火性能 耐火性能 ※クリア ※無し ※無し

20 ガラス用フィルム 名称 種類 張り面 性能値 ※ガラス飛散防止フィルム 第2種 ※内張り ・外張り 飛散防止率 95%以上 品質 JIS A 5759による

⑥ ① 基本要品質 [6.1.2] 特記以外の建物内部に使用する内装改修工事の既製品等の品質、又は製品を構成する材料及び接着剤のMDF放散量はF☆☆☆☆を基本とする。なお、該当する材料等がない場合において、F☆☆☆☆以外の材料等を使用する場合は監督員の承諾を受けること。

② 改修範囲 [6.1.3] ○既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ○図示の範囲 [6.1.3] ○天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ○図示の範囲 [6.1.3] ○天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま ・図示の範囲 [1.5.2] 3 施工数量調査 下記の調査結果について、施工方法、施工箇所、施工数量等をまとめた施工数量調査報告書を提出し、監督員の承諾を得て施工する。 ・内部床、壁、天井等の改修後に見え掛りとなる既存のコンクリート、モルタル、タイル、フローリング等の面 ・ガラス、ガラス等の面 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面等に図示する。 タイル、タイル、フローリングの浮き部分を壁面に図示する。また、タイルの欠陥部分(タイル目地を含む。)を調査する。 仕上げ材の欠損部、腐朽部、脆弱部を壁面に図示する。 ・か-工法による床・壁・天井改修箇所の下地材 調査内容 既存下地材の不陸、脆弱部、欠損部を調査する。 天井下地材の強度、腐朽状況を調査する。 ・改修工事後も使用する建具(枠、額縁を含む。) 調査内容 建具の建付け状況、建具金物の不具合の有無、仕上げ材の欠損部、腐朽部を調査する。 ・設備工事及び既存部分と改修部分との取合い部の整合性を調査する。 ・造り付けの実験台、作業台、流し及び黒板等で監督員が指示したものについて、欠陥部分不具合の有無を調査する。

④ 既存床の撤去及び下地補修 [6.2.2] ○コンクリート等の撤去 ※仕上げ材のみ(接着剤とも) ・下地モルタルも(※図示の範囲) ・行わない(※図示の範囲) ・合成樹脂塗床材の除去工法 [6.2.2] ・機械的除去工法 ・目目工法 改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内

⑤ 既存壁の撤去及び下地補修 [6.3.2][4.3.10] 間仕切り壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※図示 [4.4.9]モルタル塗替工法 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※スチール製アンカーピンを縦横200mm程度の間隔に打ち込み、スチール等を張る。 ・図示

⑥ 製材 [6.5.2] 「製材の日本農林規格」による製材 品名 施工箇所 樹種 等級 形状 含水率 保存処理 材面の品質

⑦ 集成材 [6.5.2] 「集成材の日本農林規格」による造作用集成材等 品名 施工箇所 品名 心材 化粧単板寸法 見付け 材面の品質

⑧ 合板等 [6.5.2] 「合板の日本農林規格」による合板等 品名 施工箇所 板厚(mm) 接着の程度 樹種 板面の品質 防虫処理

⑨ 防蟻・防蟻処理 [6.5.5] 防蟻処理 ※行う(適用範囲 ※改修標仕6.5.5(1)による ・図示) [6.5.5] 防蟻処理 ・行う(適用範囲) [6.5.5] 防蟻・防蟻処理の方法 工場における加圧式とし、十分に乾燥を行う。 ただし、現場における加工が生じた場合には、加工した箇所に対し、現場にて表面処理用木材保存剤を塗布することとする。 薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理

⑩ 軽量鉄骨天井下地 [6.6.3][表6.6.2] 屋外の場合の形式及び寸法 ※下表以外は、改修標仕6.6.3及び表6.6.2による

⑪ ビニル床シート [6.8.2] 種類 JISの記号 色 柄 厚さ(mm) ※発泡層のないもの ※FS ※無地 ・マーブル柄 ※2.0 ※発泡層のあるもの ※新物 ・無地

12 ビニル床タイル [6.8.2] 種類 JISの記号 厚さ(mm) 備考 ※コンクリート床タイル KT ※2.0 ・単層ビニル床タイル TT ・複層ビニル床タイル FT ・置ききビニル床タイル FOA ・薄型置ききビニル床タイル FOB

13 帯電防止床タイル張り [6.8.2] 種類 厚さ(mm) 性能 ※コンクリート床タイル ※2.0 体積抵抗値(JIS K 6911による) ・樹脂系床タイル ※4.0又は4.5 1.0×10⁹ Ω以下、又は、 ・置ききビニル床タイル ※4.0又は4.5 満ち抵抗値(JIS A 1454による) ・薄型置ききビニル床タイル 1.0×10¹⁰ Ω未満

14 誘導用、注意喚起用床材 [6.8.2] 視覚障害者用床材 適用箇所 種類 寸法(mm) 形状 屋内 ・塩化ビニル系 ※300×300 ・アロケータン ・樹脂コンクリート系 ※300×300 ・JIS T 9251 ・磁器又はセラミック系 ※300×300×60 ・300×300×30 による 屋外 ・コンクリート系 ※300×300×60 ・300×300×30 ・磁器又はセラミック系

15 ビニル幅木 [6.8.2] 厚さ(mm) ※1.5 高さ(mm) ※60 ・75 ・100

16 カーペット敷き [6.9.1][6.9.2][表6.9.1] ・織じゅうたん [6.9.1][6.9.2][表6.9.1] 種別 織り方 n°体形状 帯電性 色・柄等 ・A種 ・ウルトラスーパー ・カットタイプ 人体帯電圧 ※単一色(無地) ・柄物(模写品) ・B種 ・ダブルスーパー ・カットタイプ ※3kV以下 ・柄物(模写品) ・C種 ・ワイドスーパー ・カットタイプ併用

・タフテッドカーペット [6.9.2][6.9.3][表6.9.2] n°体形状 n°体長(mm) 工法 帯電性 ・カットタイプ ※5.0~7.0 ※全面接着工法 人体帯電圧 ・マルチレベル ※4.0~6.0 ・ケラリ工法 ※3kV以下 ・レベルタイプ ※4.0 ・カットタイプ併用

・タイルカーペット [6.9.2] 種別 n°体形状 電気抵抗値(Ω) 寸法(mm) 総厚さ(mm) 施工箇所 ※第一種 ※レベルタイプ ※適用しない ※500角 ※6.5 ・カットタイプ ・10 Ω以下

17 合成樹脂塗床 [6.10.3][表6.10.4~表6.10.8] 種別 仕上げの種類 ・弾性ウレタン樹脂塗床材 ※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ ・エポキシ樹脂塗床材 ※薄膜流しのべ仕上げ(※平滑 ・防汚) ・樹脂モルタル仕上げ(※平滑 ・防汚) ・薄膜塗床材

18 フローリング張り [6.11.2][6.11.3][6.11.4][6.11.5][6.11.6][表6.11.1~表6.11.6] 品名 樹種 等級・種類 板厚 工法 仕上げ塗装 ・フローリングタイプ1等 ・なら 1等 ※15 ・釘留め工法 ・塗装品 ・接着工法 ・無塗装品 ・フローリングタイプ2等 ・なら 1等 ※15 ・樹脂埋込工法 ・接着工法 ・塗装品 ・天然木化粧複合フローリング ・なら A種 ・B種 ・C種 ※釘留め工法 ※塗装品 ・接着工法 ・無塗装品 ・複合フローリング(大型積層型) ・かば ※18 ※のりくぎ併用 ・塗装品 ・ビス留め ※無塗装品 現場塗装仕上げ ・行う(下地調整: 塗料:) 行わない

19 畳敷き [6.12.2][表6.5.8][表6.12.1] 適用箇所 畳の種類 改修標仕6.5.8による床組 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種(※KT-III) ・E種(※KT-III) ・F種(※KT-III)

20 セッコウボード ① その他のボード張り [6.13.2][表6.13.1] 種類 厚さ(mm) ・規格等 ・硬質木毛セッコウボード ・15 ・20 ・25 ・普通木毛セッコウボード ・15 ・20 ・25 ○けい酸カルシウム板 9172(無石綿) ・ロックウール化粧吸音板 ※7171タイプ(※9.0 ・12.0) ・凹凸タイプ(※12.0 ・15.0) (個) (不燃) ○せッコウボード ○9.5(不燃) ○12.5(不燃) ○不燃積層せッコウボード 9.5(不燃) ・化粧無(下地張り用) ○化粧有(トナリ)仕様 ・シーリングせッコウボード ・9.5(不燃) ・12.5(不燃) ・強化せッコウボード ・12.5(不燃) ・15.0(不燃) ・難燃合板 ・普通合板 表板の樹種 ・板面の品質 ・厚さ ※図示 接着の程度 ・1種 ・2種 防虫処理 ・行う ・行わない

軽量鉄骨下地ボード造音壁の遮音材 [6.13.2] ・シーリング材 ・ジョイントコンパウンド

21 吸音材	① せっこうボード その他のボード張り	① せっこうボードの目地工法 [6.13.3][表6.13.5] 目地工法の種類 せっこうボードのエッジの種類 施工箇所 ・壁目地処理工法 ・天井目地処理工法 ② 突付け工法 ・目透かし工法 [表6.13.1]
	22 壁紙張り	[6.14.2] 種類 記号 厚さ(mm) ・ロケット吸音ボード1号 RW-B ※25 ※ガラス繊維吸音ボード32K GW-B ※25
23 モルタル塗り	モルタル・現場調合材料 [6.15.3] (モルタルは本特記仕様書8-1、8-2「セメントの種類」による) 既調合材料	モルタル・現場調合材料 [6.15.3] (モルタルは本特記仕様書8-1、8-2「セメントの種類」による) 既調合材料
	24 タイル	タイルの種類 [6.16.3] 形状寸法 耐凍害性 滑り 役物 色 あり なし あり なし あり なし あり なし あり なし 備考
25 フリーアセリアフ	タイルの試験張り ※行わない ・行う [6.16.2] タイルの見本焼き ※行わない ・行う [6.16.2] タイルの目地の処理 ・目直し工法 [6.16.3] 壁タイル張りの工法 [6.15.5][6.16.3][6.16.4][表6.16.4][表6.16.6] 内装タイル ※タイル接着剤張り ・密着張り ・改良圧着張り ユニットタイル(内装タイル以外) ・マスク張り ・モザイクタイル張り	タイルの試験張り ※行わない ・行う [6.16.2] タイルの見本焼き ※行わない ・行う [6.16.2] タイルの目地の処理 ・目直し工法 [6.16.3] 壁タイル張りの工法 [6.15.5][6.16.3][6.16.4][表6.16.4][表6.16.6] 内装タイル ※タイル接着剤張り ・密着張り ・改良圧着張り ユニットタイル(内装タイル以外) ・マスク張り ・モザイクタイル張り
	26 可動間仕切	フリーアセリアフ [20.2.2] 施工箇所 構造 仕上り高 (mm) 適用地震時 水平力 耐荷重性能 (N) 表面仕上げ材 (注2) ・パネル構造法 ・清溝法 ・パネル構造法 ・清溝法 注1: 耐荷重性能5,000Nについては、国土交通省の建設技術評価「耐震型フリーアセリアフの開発」において評価を取得したもの又は同等のものとする。 注2: 表面仕上げ材の品質・規格等は、13 帯電防止床タイル張り、16 カベタイル敷きによる。
27 移動間仕切	スロープ及びびりー ※製造所の標準仕様(ただし、構成材は標準仕様20.2.2(2)(イ)による) ・図示 コンクリートの取付け対応 仕様 ※製造所の標準仕様(コンクリート本数は別途設備工事) コンクリートの箇所数 ※10~15㎡に1箇所程度 配線取出しパネル フリーアセリアフ全体面積に対する設置割合 ※20~30% 配線取出し開口 ※40mm×80mm程度の開口 空調用吹き出しパネル ※無し ・有り(※固定式 ・可動式 : 施工箇所は図示)	スロープ及びびりー ※製造所の標準仕様(ただし、構成材は標準仕様20.2.2(2)(イ)による) ・図示 コンクリートの取付け対応 仕様 ※製造所の標準仕様(コンクリート本数は別途設備工事) コンクリートの箇所数 ※10~15㎡に1箇所程度 配線取出しパネル フリーアセリアフ全体面積に対する設置割合 ※20~30% 配線取出し開口 ※40mm×80mm程度の開口 空調用吹き出しパネル ※無し ・有り(※固定式 ・可動式 : 施工箇所は図示)
	28 トイレブース	① トイレブース 29 階段滑止め 30 階段手すり 31 黒板及びホワイトボード 32 室名札 33 フラインド 34 フラインドボックス及びカバーボックス 35 ロールスクリーン 36 カーテン及びカーテンレール
29 トイレブース	① トイレブース 29 階段滑止め 30 階段手すり 31 黒板及びホワイトボード 32 室名札 33 フラインド 34 フラインドボックス及びカバーボックス 35 ロールスクリーン 36 カーテン及びカーテンレール	① トイレブース 29 階段滑止め 30 階段手すり 31 黒板及びホワイトボード 32 室名札 33 フラインド 34 フラインドボックス及びカバーボックス 35 ロールスクリーン 36 カーテン及びカーテンレール
	37 天井点検口	① トイレブース 29 階段滑止め 30 階段手すり 31 黒板及びホワイトボード 32 室名札 33 フラインド 34 フラインドボックス及びカバーボックス 35 ロールスクリーン 36 カーテン及びカーテンレール
30 階段滑止め	① トイレブース 29 階段滑止め 30 階段手すり 31 黒板及びホワイトボード 32 室名札 33 フラインド 34 フラインドボックス及びカバーボックス 35 ロールスクリーン 36 カーテン及びカーテンレール	① トイレブース 29 階段滑止め 30 階段手すり 31 黒板及びホワイトボード 32 室名札 33 フラインド 34 フラインドボックス及びカバーボックス 35 ロールスクリーン 36 カーテン及びカーテンレール
	38 床下点検口	① トイレブース 29 階段滑止め 30 階段手すり 31 黒板及びホワイトボード 32 室名札 33 フラインド 34 フラインドボックス及びカバーボックス 35 ロールスクリーン 36 カーテン及びカーテンレール
31 黒板及びホワイトボード	① トイレブース 29 階段滑止め 30 階段手すり 31 黒板及びホワイトボード 32 室名札 33 フラインド 34 フラインドボックス及びカバーボックス 35 ロールスクリーン 36 カーテン及びカーテンレール	① トイレブース 29 階段滑止め 30 階段手すり 31 黒板及びホワイトボード 32 室名札 33 フラインド 34 フラインドボックス及びカバーボックス 35 ロールスクリーン 36 カーテン及びカーテンレール
	39 くつふきマット	① トイレブース 29 階段滑止め 30 階段手すり 31 黒板及びホワイトボード 32 室名札 33 フラインド 34 フラインドボックス及びカバーボックス 35 ロールスクリーン 36 カーテン及びカーテンレール
32 室名札	① トイレブース 29 階段滑止め 30 階段手すり 31 黒板及びホワイトボード 32 室名札 33 フラインド 34 フラインドボックス及びカバーボックス 35 ロールスクリーン 36 カーテン及びカーテンレール	① トイレブース 29 階段滑止め 30 階段手すり 31 黒板及びホワイトボード 32 室名札 33 フラインド 34 フラインドボックス及びカバーボックス 35 ロールスクリーン 36 カーテン及びカーテンレール
	40 人研ぎ製造し等	① トイレブース 29 階段滑止め 30 階段手すり 31 黒板及びホワイトボード 32 室名札 33 フラインド 34 フラインドボックス及びカバーボックス 35 ロールスクリーン 36 カーテン及びカーテンレール

41 屋内掲示板	① トイレブース 29 階段滑止め 30 階段手すり 31 黒板及びホワイトボード 32 室名札 33 フラインド 34 フラインドボックス及びカバーボックス 35 ロールスクリーン 36 カーテン及びカーテンレール	① トイレブース 29 階段滑止め 30 階段手すり 31 黒板及びホワイトボード 32 室名札 33 フラインド 34 フラインドボックス及びカバーボックス 35 ロールスクリーン 36 カーテン及びカーテンレール
	42 しっくい塗り	① トイレブース 29 階段滑止め 30 階段手すり 31 黒板及びホワイトボード 32 室名札 33 フラインド 34 フラインドボックス及びカバーボックス 35 ロールスクリーン 36 カーテン及びカーテンレール
43 塗装工	① トイレブース 29 階段滑止め 30 階段手すり 31 黒板及びホワイトボード 32 室名札 33 フラインド 34 フラインドボックス及びカバーボックス 35 ロールスクリーン 36 カーテン及びカーテンレール	① トイレブース 29 階段滑止め 30 階段手すり 31 黒板及びホワイトボード 32 室名札 33 フラインド 34 フラインドボックス及びカバーボックス 35 ロールスクリーン 36 カーテン及びカーテンレール
	44 鉄骨の補修	① トイレブース 29 階段滑止め 30 階段手すり 31 黒板及びホワイトボード 32 室名札 33 フラインド 34 フラインドボックス及びカバーボックス 35 ロールスクリーン 36 カーテン及びカーテンレール
45 鉄骨の工作	① トイレブース 29 階段滑止め 30 階段手すり 31 黒板及びホワイトボード 32 室名札 33 フラインド 34 フラインドボックス及びカバーボックス 35 ロールスクリーン 36 カーテン及びカーテンレール	① トイレブース 29 階段滑止め 30 階段手すり 31 黒板及びホワイトボード 32 室名札 33 フラインド 34 フラインドボックス及びカバーボックス 35 ロールスクリーン 36 カーテン及びカーテンレール
	46 鉄骨の工作	① トイレブース 29 階段滑止め 30 階段手すり 31 黒板及びホワイトボード 32 室名札 33 フラインド 34 フラインドボックス及びカバーボックス 35 ロールスクリーン 36 カーテン及びカーテンレール

47 塗装工	① トイレブース 29 階段滑止め 30 階段手すり 31 黒板及びホワイトボード 32 室名札 33 フラインド 34 フラインドボックス及びカバーボックス 35 ロールスクリーン 36 カーテン及びカーテンレール	① トイレブース 29 階段滑止め 30 階段手すり 31 黒板及びホワイトボード 32 室名札 33 フラインド 34 フラインドボックス及びカバーボックス 35 ロールスクリーン 36 カーテン及びカーテンレール
	48 鉄骨の補修	① トイレブース 29 階段滑止め 30 階段手すり 31 黒板及びホワイトボード 32 室名札 33 フラインド 34 フラインドボックス及びカバーボックス 35 ロールスクリーン 36 カーテン及びカーテンレール
49 鉄骨の工作	① トイレブース 29 階段滑止め 30 階段手すり 31 黒板及びホワイトボード 32 室名札 33 フラインド 34 フラインドボックス及びカバーボックス 35 ロールスクリーン 36 カーテン及びカーテンレール	① トイレブース 29 階段滑止め 30 階段手すり 31 黒板及びホワイトボード 32 室名札 33 フラインド 34 フラインドボックス及びカバーボックス 35 ロールスクリーン 36 カーテン及びカーテンレール
	50 鉄骨の工作	① トイレブース 29 階段滑止め 30 階段手すり 31 黒板及びホワイトボード 32 室名札 33 フラインド 34 フラインドボックス及びカバーボックス 35 ロールスクリーン 36 カーテン及びカーテンレール

51 合成樹脂	① トイレブース 29 階段滑止め 30 階段手すり 31 黒板及びホワイトボード 32 室名札 33 フラインド 34 フラインドボックス及びカバーボックス 35 ロールスクリーン 36 カーテン及びカーテンレール	① トイレブース 29 階段滑止め 30 階段手すり 31 黒板及びホワイトボード 32 室名札 33 フラインド 34 フラインドボックス及びカバーボックス 35 ロールスクリーン 36 カーテン及びカーテンレール
	52 鉄骨の補修	① トイレブース 29 階段滑止め 30 階段手すり 31 黒板及びホワイトボード 32 室名札 33 フラインド 34 フラインドボックス及びカバーボックス 35 ロールスクリーン 36 カーテン及びカーテンレール
53 鉄骨の工作	① トイレブース 29 階段滑止め 30 階段手すり 31 黒板及びホワイトボード 32 室名札 33 フラインド 34 フラインドボックス及びカバーボックス 35 ロールスクリーン 36 カーテン及びカーテンレール	① トイレブース 29 階段滑止め 30 階段手すり 31 黒板及びホワイトボード 32 室名札 33 フラインド 34 フラインドボックス及びカバーボックス 35 ロールスクリーン 36 カーテン及びカーテンレール
	54 鉄骨の工作	① トイレブース 29 階段滑止め 30 階段手すり 31 黒板及びホワイトボード 32 室名札 33 フラインド 34 フラインドボックス及びカバーボックス 35 ロールスクリーン 36 カーテン及びカーテンレール

- ① 公共事業労務費調査への協力 ※協力する
- ② 工事監理方式 共同監理 ○ 有り ・ 無し
- ③ 適用基準等 ・ 営繕工事電子納品要領（国土交通大臣官房官庁営繕部整備課施設評価室）
※工事運行マニュアル（新潟県土木部都市局営繕課作成）
- 4 総合図 ※作成する
- 5 工事成績評定 ※受注者は、工事成績評定の対象となる工事施工において、自ら立案し実施した創意工夫や工事特性に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了までに所定の様式により提出することができる。（様式等は、工事運行マニュアルによる。）

⑥ 工事区分表
注)原則○印を適用する。ただし、複数記載してある項目についての区分はその項目を必要とする施工者に適用する。

項目	建電空衛昇	備考
躯体関係		
1. RC造(梁・壁・床)の貫通孔・開口部	貫通スリ-フ材及び取付け	○ ○ ○ ○
	補強を要する型枠材及び取付け	○ ○ ○ ○
	補強を要しない型枠材及び取付け	○ ○ ○ ○
	貫通孔・開口部の墨出し	○ ○ ○ ○
	貫通孔・開口部の補強	○ ○ ○ ○
	スリ-フ・型枠の穴埋め	○ ○ ○ ○
2. S・SRC造はり貫通口	S・SRC造貫通鋼管鋼管スリ-フ・補強	○ ○ ○ ○
	使用されたスリ-フの穴埋め	○ ○ ○ ○
	予備スリ-フの穴埋め	○ ○ ○ ○
3. 設備機器の基礎	建築設計図に記入のあるもの	○ ○ ○ ○
	室内の基礎(建築設計図に記入のないもの)	○ ○ ○ ○
	屋外・屋上の基礎	○ ○ ○ ○
	屋上基礎で押さえコンクリートに於ける軽鉄などの	○ ○ ○ ○
	機器取付け用アンカー・架台	○ ○ ○ ○
	屋内受水タンク用の基礎	○ ○ ○ ○
仕上げ関係		
鉄筋天井・壁下地	補強を用いるスリ-フの切り込み及び下地の補強	○ ○ ○ ○
	補強を要しないスリ-フの切り込み	○ ○ ○ ○
	開口部の墨出し	○ ○ ○ ○
電気関係		
電気配管配線	機器付属の制御盤以降の配管配線(接地線共)	○ ○ ○ ○
	機器付属の制御盤への電源供給配管配線	○ ○ ○ ○
	機器付属操作スイッチの取付及び渡り配管配線	○ ○ ○ ○
その他(工事区分を特に間違えやすい項目)		
天井材	取外し再取付(各種配管配線作業用)	○ △ △ △ △
床はつり補修	各種配管配線作業用	○ ○ ○ ○
流し台、ガス台		○ ○ ○ ○
便所手洗いかん-		○ ○ ○ ○
洗面化粧台		○ ○ ○ ○
ガス漏れ警報器		○ ○ ○ ○
24H換気扇	機器納入	○ ○ ○ ○
運動スイッチ	取付	○ ○ ○ ○
湯沸器	機器納入	○ ○ ○ ○
運動スイッチ	取付	○ ○ ○ ○

⑦ 発生材の処理等 [1.3.12]
① 再生資材の利用
下記資料の使用に際し、再生資材を利用すること。

再生資材名	規格	使用箇所	再資源化施設名・所在地	備考
コンクリートガラ				

2 建設発生土の利用
盛土等に使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。

発注機関	工事名	発生場所	施工会社名・連絡先	備考

3 建設発生土の搬出
工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所に搬出するものとして積算している。

受入工事名/施設名称	工事場所/施設所在地	連絡先	仮置場所の有無	備考

④ 建設廃棄物の搬出
工事の施工により発生する廃棄物は、下記の場所に搬出するものとして積算している。

搬出する廃棄物名	処理施設名称	施設所在地	連絡先	備考

上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

- ⑤ 建設リサイクル法の対象建設工事において、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、同法第18条に基づき再資源化等完了報告書を提出すること。
- ⑥ 自ら産業廃棄物を運搬・処分する以外、委託契約書の写しを提出すること。
- ⑦ 協議について
建設工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定や条件によりがたい場合は、速やかに監督員に報告し、協議すること。

⑧ 化学物質の濃度測定 [1.7.9]
1) 測定時期
測定時期は家具設置等の別途工事が行われる前とする。ただし、内装又は塗装等の施工が終了し、その後十分な換気が行われていること、及び中央式空調設備のように換気を行いながら空気調和を行う設備がある場合は、設備の試運転が終了していることとする。
測定時期は工事完了時とする。なお、内部工事期間等が特記されている場合は、内部工事完了時とする。
※ 測定時期の決定は、測定結果が指針値を超えた場合に、6)の措置を講じる時間を見込むこと。

2) 測定対象物質
※ホルムアルデヒド (指定値0.08ppm以下)
※トルエン (指定値0.07ppm以下)
※キシレン (指定値0.05ppm以下)
※エチルベンゼン (指定値0.88ppm以下)
※ステレン (指定値0.05ppm以下)
※パラジクロロベンゼン (指定値0.04ppm以下)

3) 測定室
・普通教室棟トイレ 2室 (測定箇所 2箇所)
・特別教室棟トイレ 2室 (測定箇所 2箇所)
・給食室 (測定箇所 1箇所)

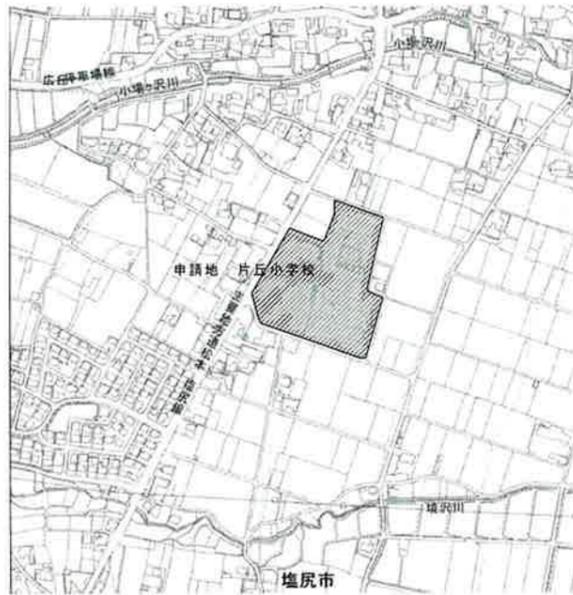
4) 測定方法
測定機器
※パッシブ型採取機器 ○監督員の承諾する機器
測定要領(パッシブ型測定法の場合)
※測定前の措置
測定を開始する前に、測定対象室のすべての窓及び扉(造りつけ家具、押入等の収納部分の扉を含む。)を開放し、30分間換気する。その後、測定対象室のすべての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、造りつけ家具、押入等の収納部分の扉は開放したままとする。
※測定は次のイ〜ハによる。
イ 上記測定前の措置の状態のまま測定する。
ロ 測定時間は、原則として24時間とする。ただし、工程等の都合により、24時間測定が行えない場合は、8時間測定とする。なお、8時間測定の場合は、午後2時〜3時が測定時間帯の中央となるよう10時30分から18時30分までの時間帯で測定する。
ハ 測定回数は1回とし、複数回の測定は不要とする。
※その他
上記測定前の措置及び測定においては、換気設備又は空気調和設備は稼働させたままとする。ただし、局所的な換気扇等で常時稼働させないものは停止させたままとする。

5) 測定結果の分析
測定対象化学物質を採取したパッシブ型採取機器を分析機関に送付し濃度を測定する。

6) 測定結果が指針値を超えた場合の措置
※測定結果が厚生労働省の指針値を超えていた場合は、発散源を特定し、換気等の措置を講じた後、再度4)、5)により、測定を行う。

7) 報告書の提出
※測定結果の報告書を完了検査日までに監督員に提出する。なお、内部工事期間等が特記されている場合は、内部工事完了までに測定結果速報を監督員に提出する。

9 中間技術検査
低入札価格調査基準価格を下回った額で契約となった場合は、中間技術検査を1回実施する。検査時期については、工事現場着手前に監督員と協議すること。



案内図 S=1:5000

■ 設計概要書

◆ 工事名称・その他

・工事名称	片丘小学校トイレ改修工事
・工事場所	塩尻市大字片丘5369番地 他
・工事種別	トイレ改修工事
・用途地域	なし
・防火地域	指定なし
・その他の地域地区	・
・敷地面積	25,230㎡
・法定建蔽率/容積率	60 / 200
・主要用途	小学校
・建築主	塩尻市長
・予定工期	令和6年6月 日 ~ 令和6年9月30日
・その他	・

◆ 構造・規模

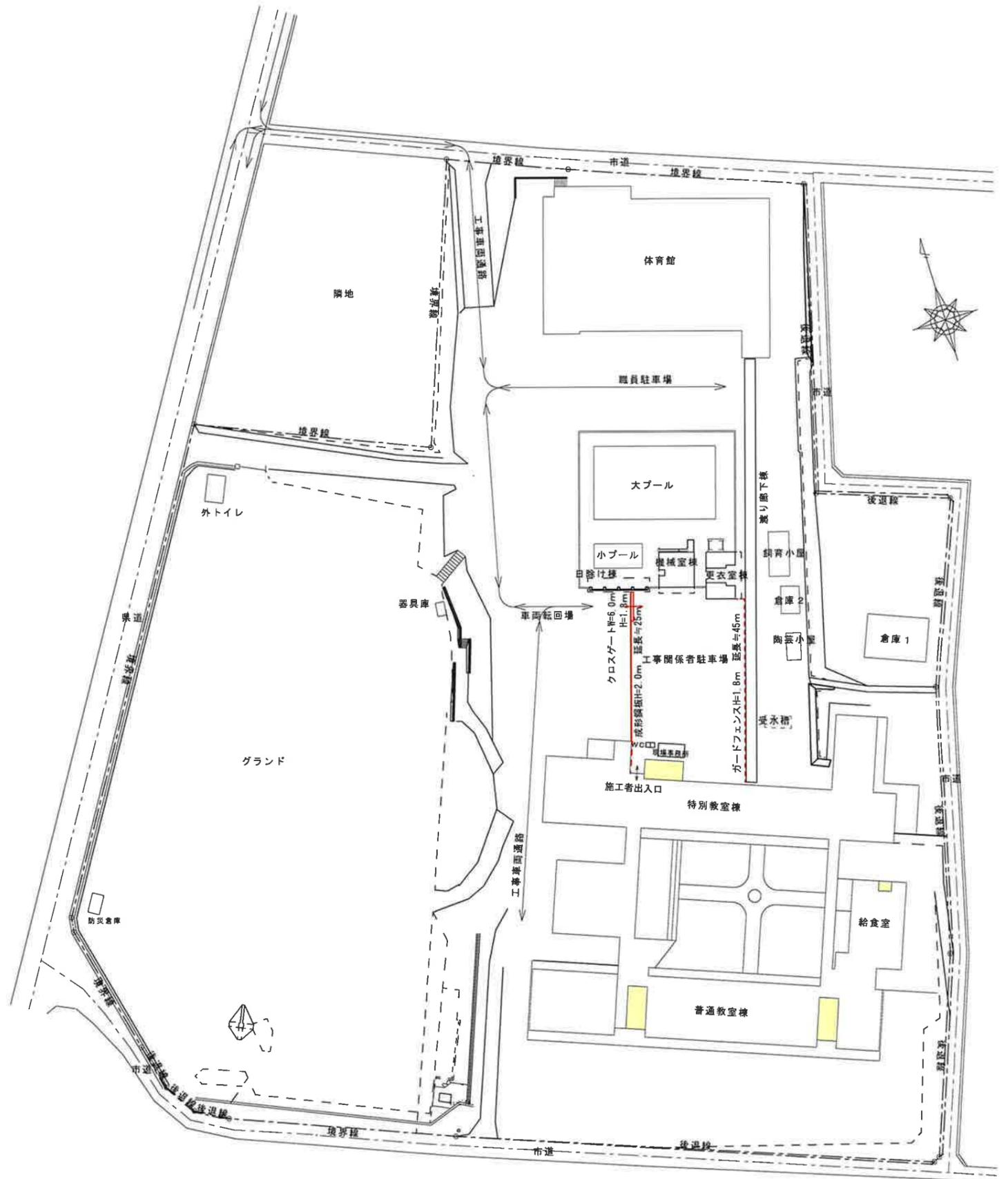
・主体構造	校舎棟一鉄筋コンクリート造
・地業	構造特記による
・階数	2
・最高の高さ	
・最高の軒の高さ	
・増築予定	なし

◆ 面積表

		単位:㎡	
		合計	
敷地面積		25,230.00	
建築面積		4,885.92	
延べ面積		6,156.08	
建蔽率/容積率	19.37% /	24.40%	

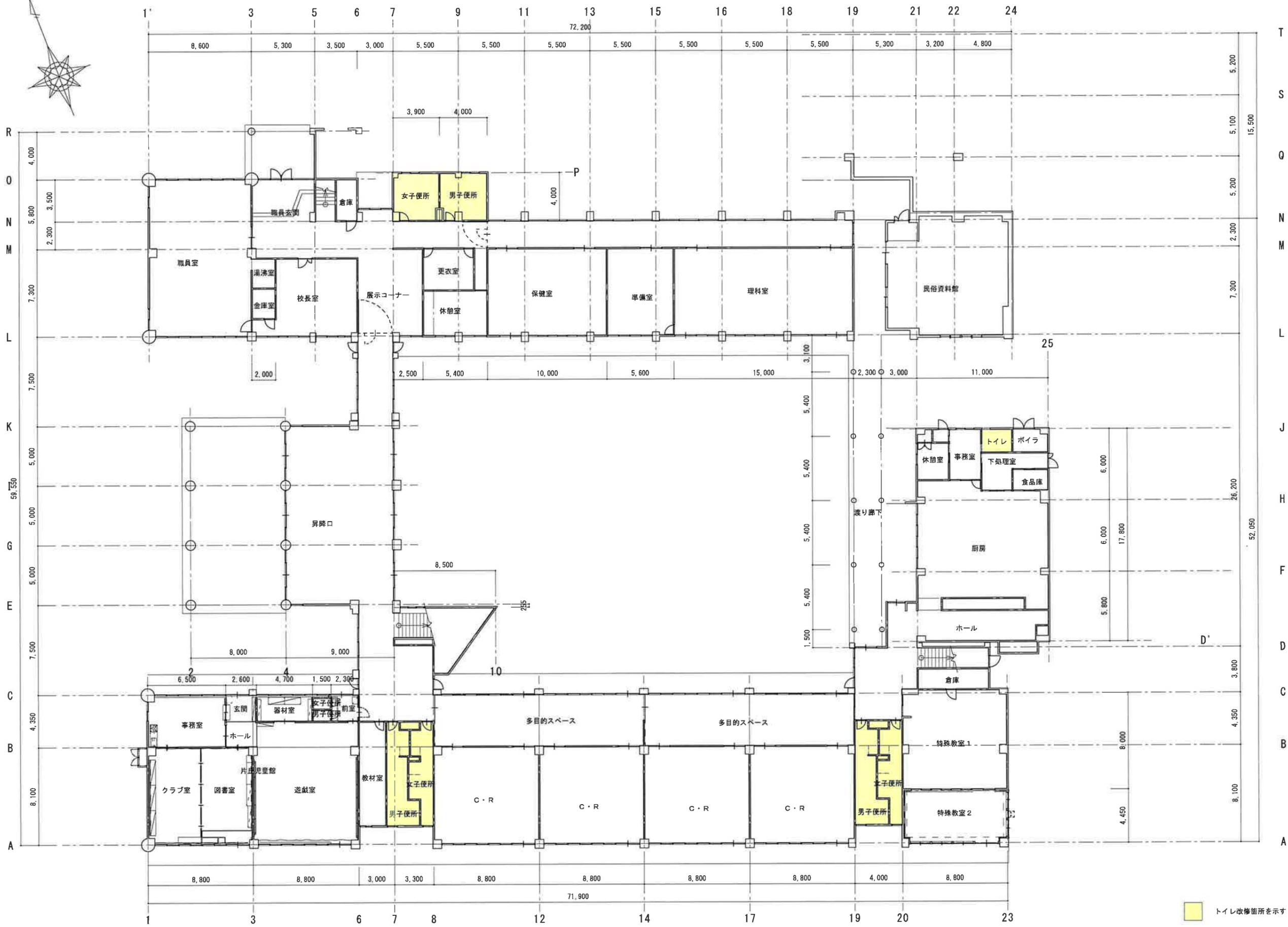
◆ 棟別面積表

				単位:㎡	
階数	構造	建築面積	延べ床面積		
校舎棟	既存 2	RC造	2,945.21	4,193.58	
屋内運動場棟	既存 2	RC+S造	1,372.83	1,651.88	
更衣室棟	既存 1	RC造	59.52	37.32	
機械室棟	既存 1	RC造	53.28	50.40	
日除け棟	既存 1	RC造	27.79	0.00	
遊り廊下棟	既存 1	S造	197.91	0.00	
倉庫1	既存 1	LS造	119.88	113.40	
倉庫2	既存 1	LS造	38.22	38.22	
飼育小屋	既存 1	LS造	19.44	19.44	
陶芸小屋	既存 1	LS造	16.20	16.20	
防災倉庫	既存 1	LS造	9.60	9.60	
器具庫	既存 1	LS造	5.04	5.04	
外便所	既存 1	LS造	21.00	21.00	
合計			4,885.92	6,156.08	

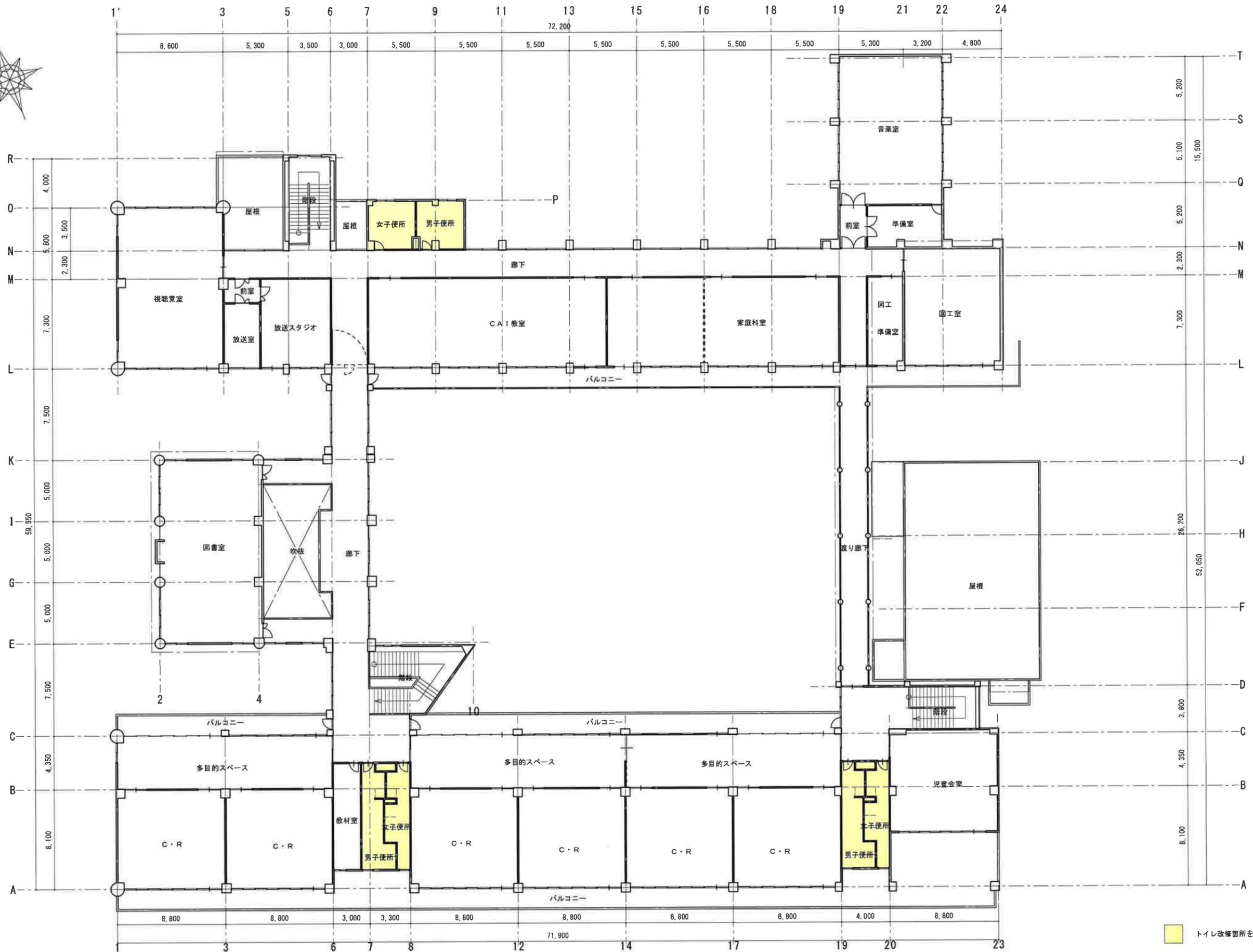


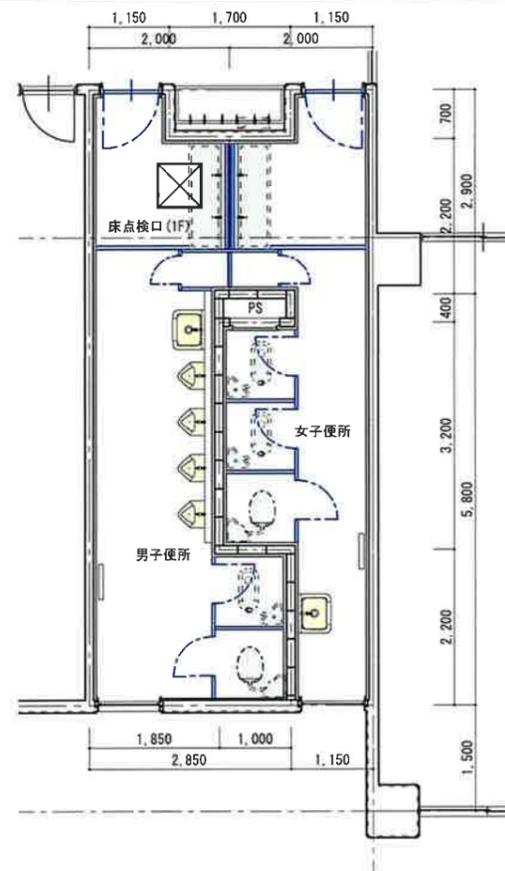
配置図 S=1:500

トイレ改修箇所を示す



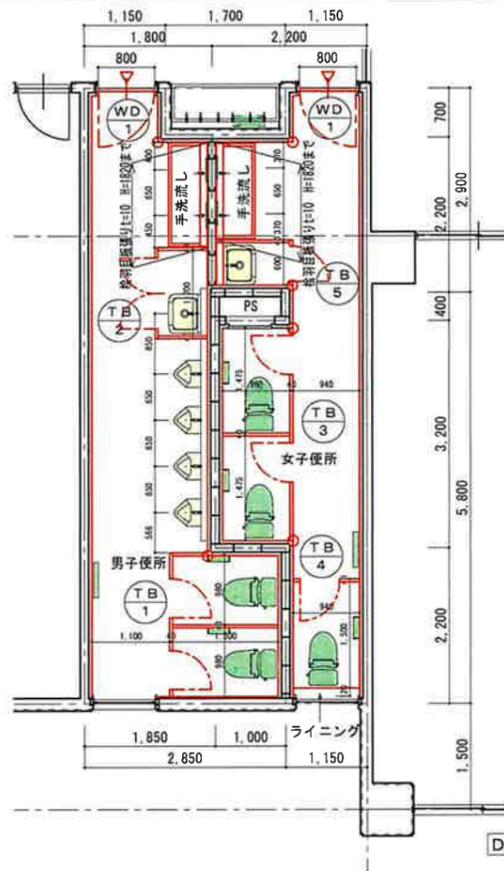
トイレ改修箇所を示す





- 撤去衛生機器を示す
- 移設衛生機器を示す(再利用)
- 撤去建具を示す

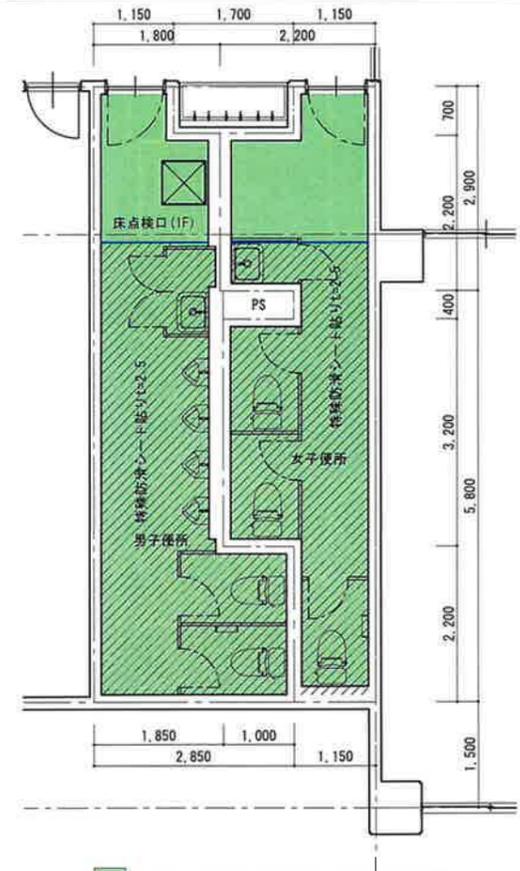
現況平面図 S=1:50



- 新設衛生機器を示す
- 移設衛生機器を示す(再利用)
- 新設・更新建具を示す

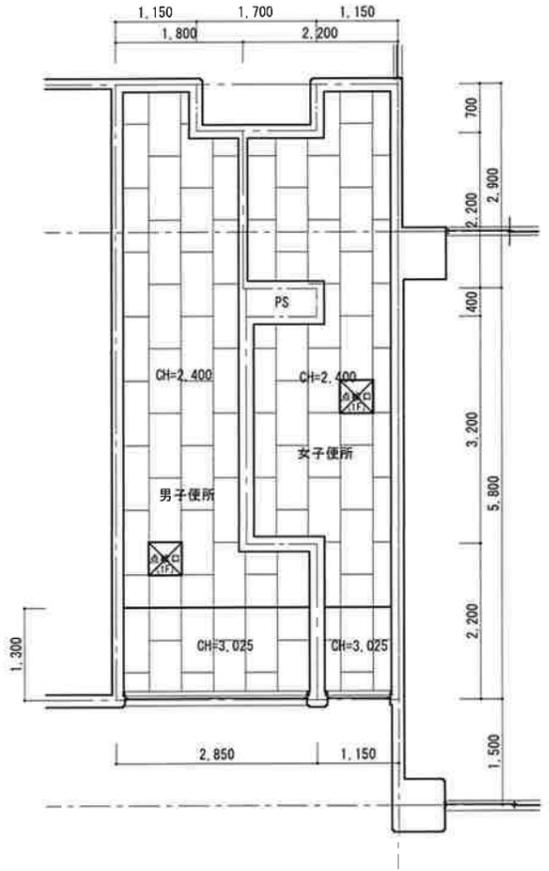
改修平面図 S=1:50

凡例
 出隅 ○ アルミジョイナーを示す
 室名札 ▼ ピクトグラム 建具面 150角程度 計8箇所
 SUSヘアラインt=1.0



- 床シート貼替及び新規床シート貼り箇所を示す。
- 既存床シート撤去、モルタル金ゴテt=50

改修床伏図 S=1:50



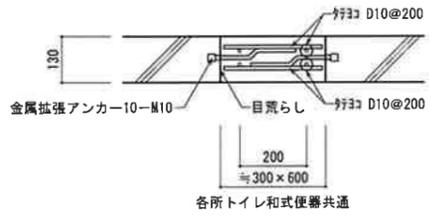
- 1階のみ天井撤去、復旧 LGS(19) 下地、化粧石膏ボードt=9.5張り
天井点検口の遺残は1階のみの4か所とする。
- 2階の天井は、既存化粧石膏ボードt=9に粉体塗装仕上(シーリングマジック同等品)

改修天井伏図 S=1:50

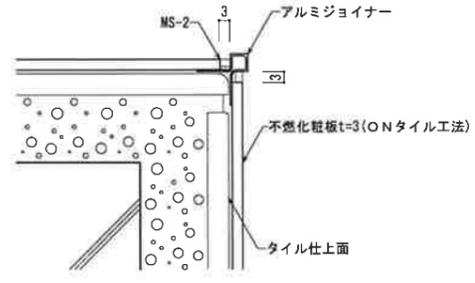
普通教室棟1階・2階 東・西 トイレ共通

普通教室棟トイレ 仕上表	
床	現況 長尺塩ビ床シートt=2.5貼り 床下点検口(1F男子)
	撤去等 床シート剥がし、清掃、和式便器改修部:床スラブ補強
巾木	現況 床シート貼上げH=100
	撤去等 シート撤去
壁	改修後 モルタル下地、特殊防汚長尺シート貼りt=2.5
	現況 100角タイル張り
1階天井	撤去等 カビ部除去、水洗い清掃、プライマー塗布
	改修後 化粧不燃板t=3(ONタイル工法)
2階天井	現況 LGS(19)、化粧石膏ボードt=9張り
	撤去等 LGS下地撤去、天井ボード撤去(1F)
ライニング天板	改修後 LGS(19)天井下地、化粧石膏ボードt=9.5張り、点検口(450)2x2
	現況 テラズブロック
ライニング壁	撤去等 カビ部除去、水洗い清掃、プライマー塗布
	改修後 再使用、追設部: SUS板t=0.8(HL) 曲げ加工品
出入口建具	現況 100角タイル張り、CB下地
	撤去等 カビ部除去、水洗い清掃、プライマー塗布
トイレベース	改修後 化粧不燃板t=3(ONタイル工法、接着工法)、LGS90+耐水合板t=12下地 耐水合板t=12下地 桧無垢目板t=10 WP塗り
	現況 額ガリ付木製フラッシュ戸(片開き)
窓枠・建具枠	撤去等 既存扉撤去取替え、枠再利用
	改修後 額ガリ付木製フラッシュ戸、T番、引手、押板、ドアチェック、ピクトグラム
衛生器具	現況 木製フラッシュベース
	撤去等 既存トイレベース全撤去
改修	改修後 メラミン化粧板フラッシュ、ラバトリーヒンジ、表示錠、Rエッジ、頭つなぎ、巾木
	現況 ラワンSOP塗り
改修	改修後 ケレン清掃
	現況 SOP塗替え
改修	改修後 手洗流し2、水飲み流し1、小便器4、和式大便器3、洋式大便器2、掃除流し2
	撤去等 既存衛生器具全取外し、一部再利用
改修	改修後 手洗流し2、化粧鏡4、小便器4、洋式大便器5、掃除流し2、水飲み流し

共通事項: 化粧不燃板t=3(ONタイル工法) <参考: アイカ「セラール」同等品>

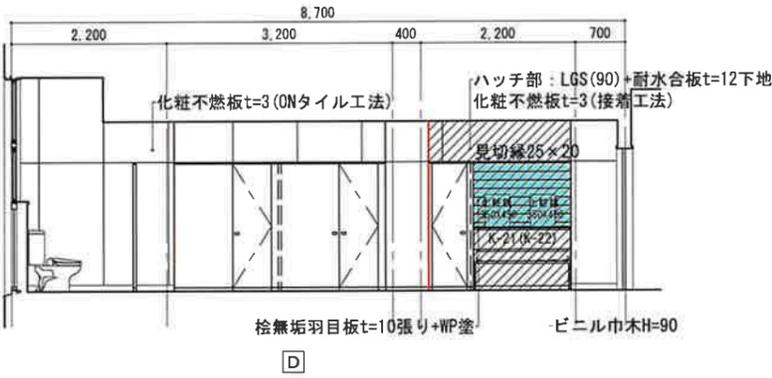
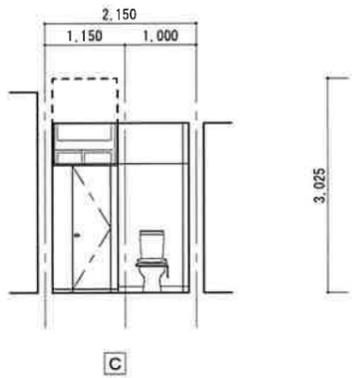
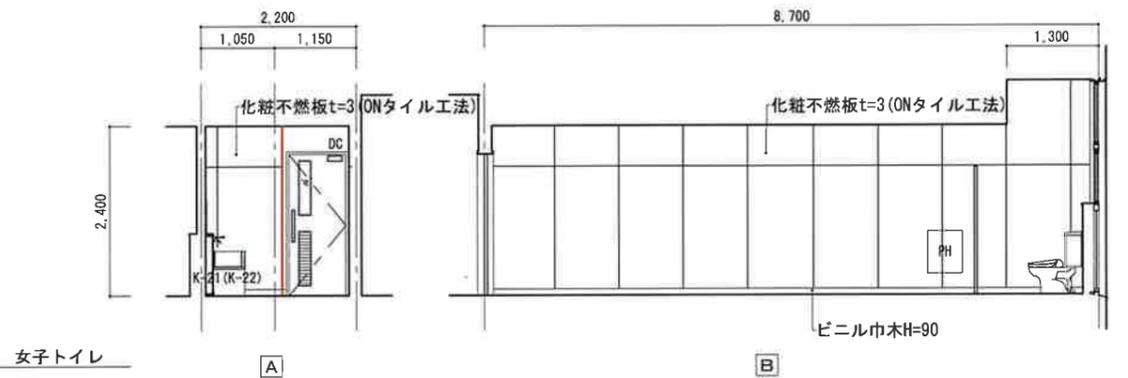
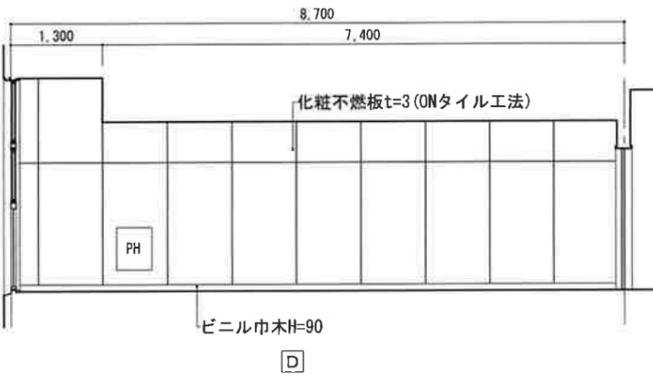
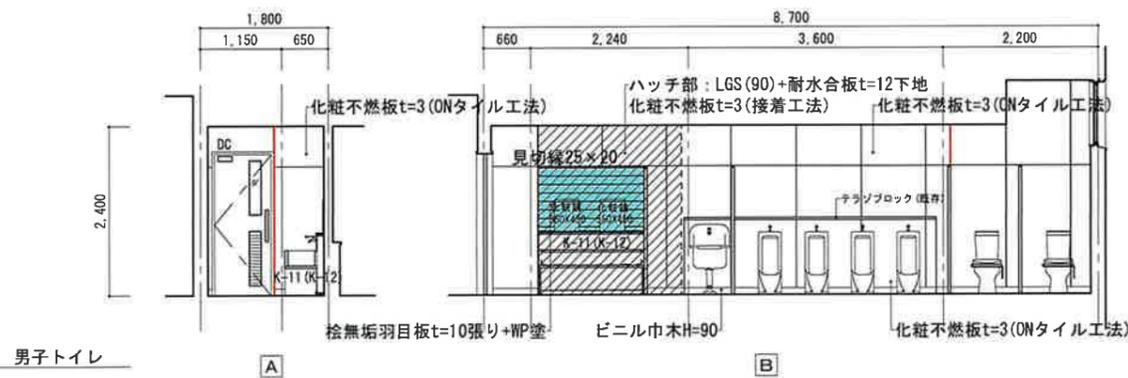


スラブ補修図 S=1:10



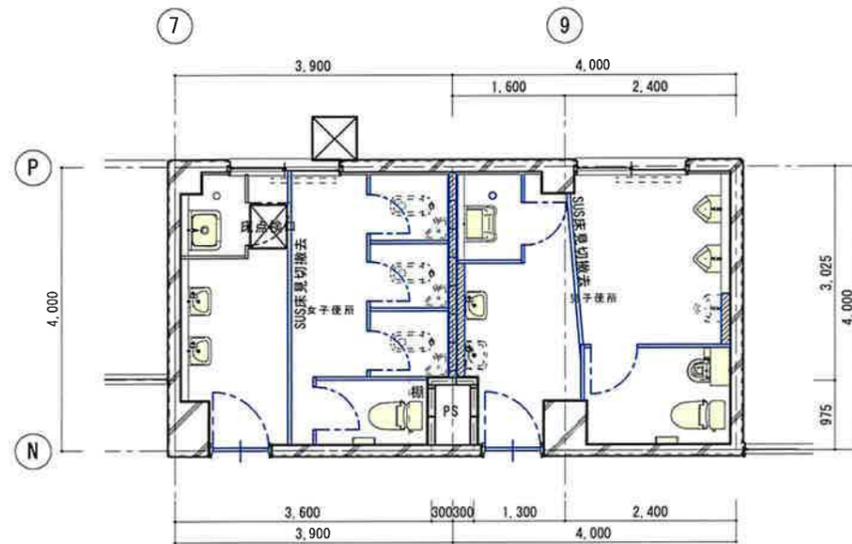
出隅部 S=1:1

既設大便器撤去後の床開口は、不要箇所すべて鉄筋コンクリートにて穴埋めする。



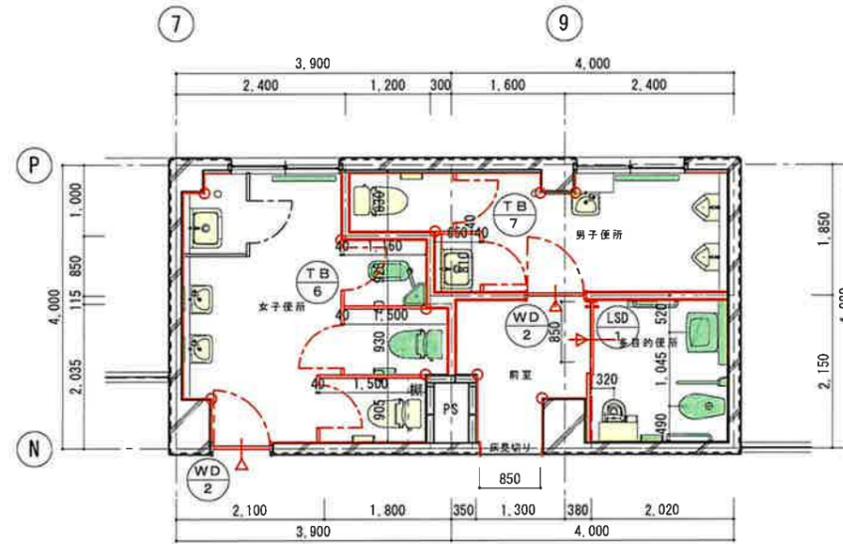
建具符号	使用場所	WD-1	普通教室トイレ	TB-1	男子トイレ	TB-2	男子トイレ(掃除用具入)
改修内容	更新	更新	更新	新設	新設	新設	新設
形状寸法							※現場採寸の上製作する事
種類	数量	額ガリ付き片開きフラッシュ戸	8	トイレブース	4	トイレブース	4
見込	仕上	40	大手・ガラリ SOP塗り	40	ドアRエッジ・エンドカバー: アルミ押出型材	40	ドアRエッジ・エンドカバー: アルミ押出型材
材質	硝子	ポリエステル化粧合板	4mm強化ガラス ビクトグラム(150角)	メラミン化粧板+MDFフラッシュ、芯材: ペーパーコア	メラミン化粧板+MDFフラッシュ、芯材: ペーパーコア	メラミン化粧板+MDFフラッシュ、芯材: ペーパーコア	メラミン化粧板+MDFフラッシュ、芯材: ペーパーコア
金物	丁番、押板、ドアハンドル、ドアチェック(S付)、戸当り			ラバトリーヒンジ・丁番・表示付スライド錠<内開用>・握玉付錠・帽子掛型戸当り ステンレス頭ツナギ・取付け金物一式・その他付属金物一式		丁番・取手・キャッチ・戸当り ステンレス頭ツナギ・取付け金物一式・その他付属金物一式	
建具符号	使用場所	TB-3	女子トイレ	TB-4	女子トイレ	TB-5	女子トイレ(掃除用具入)
改修内容	更新	更新	更新	新設	新設	新設	新設
形状寸法							※現場採寸の上製作する事
種類	数量	トイレブース	4	トイレブース	4	トイレブース	4
見込	仕上	40	ドアRエッジ・エンドカバー: アルミ押出型材	40	ドアRエッジ・エンドカバー: アルミ押出型材	40	ドアRエッジ・エンドカバー: アルミ押出型材
材質	硝子	メラミン化粧板+MDFフラッシュ、芯材: ペーパーコア	メラミン化粧板+MDFフラッシュ、芯材: ペーパーコア	メラミン化粧板+MDFフラッシュ、芯材: ペーパーコア	メラミン化粧板+MDFフラッシュ、芯材: ペーパーコア	メラミン化粧板+MDFフラッシュ、芯材: ペーパーコア	メラミン化粧板+MDFフラッシュ、芯材: ペーパーコア
金物	ラバトリーヒンジ・丁番・表示付スライド錠<内開用>・握玉付錠・帽子掛型戸当り ステンレス頭ツナギ・取付け金物一式・その他付属金物一式			ラバトリーヒンジ・丁番・表示付スライド錠<内開用>・握玉付錠・帽子掛型戸当り ステンレス頭ツナギ・取付け金物一式・その他付属金物一式		丁番・取手・キャッチ・戸当り ステンレス頭ツナギ・取付け金物一式・その他付属金物一式	

建具符号	使用場所	K-11(男子) K-12(男子)	普通教室棟 1階男子トイレ、2階男子トイレ
改修内容	更新	更新	更新
形状寸法			
種類	数量	手洗流し台	2 (K-11) + 2 (K-12)
見込	仕上	30、25	見掛り: ポリ合板
材質	硝子	見掛ポリ合板+耐水ラワン合板フラッシュ	木部: SOP塗り
金物	戸車、引手 ステンレス製シンク SUS304HL t=1.0、浅型排水トラップ、ゴミ受け皿		
建具符号	使用場所	K-21(女子) K-22(女子)	普通教室棟 1階女子トイレ、2階女子トイレ
改修内容	更新	更新	更新
形状寸法			
種類	数量	手洗流し台	2 (K-21) + 2 (K-22)
見込	仕上	30、25	見掛り: ポリ合板
材質	硝子	見掛ポリ合板+耐水ラワン合板フラッシュ	木部: SOP塗り
金物	戸車、引手 ステンレス製シンク SUS304HL t=1.0、浅型排水トラップ、ゴミ受け皿		



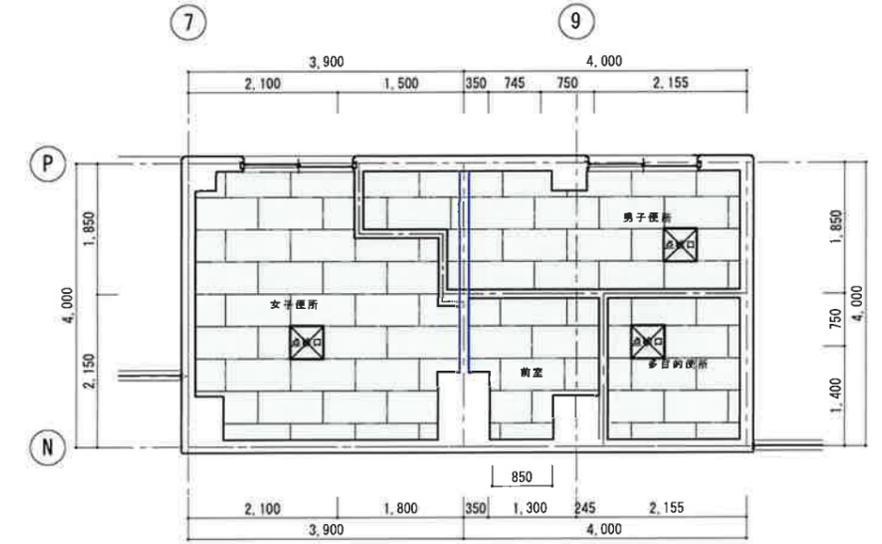
- 撤去衛生機器を示す
- 移設衛生機器を示す(再利用)
- 撤去建具を示す

現況平面図 S=1:50



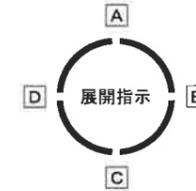
- 新設衛生機器を示す
- 移設衛生機器を示す(再利用)
- 既設衛生機器を示す(再利用)
- 新設・更新建具を示す

改修平面図 S=1:50



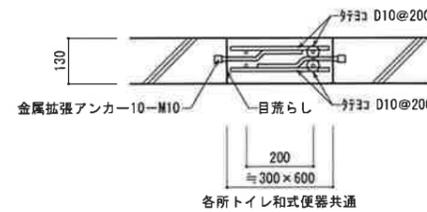
- 撤去天井(下地共)を示す。
- LGS天井下地、化粧石膏ボード張りt=9.5、塩ビ廻り縁

改修天井伏図 S=1:50



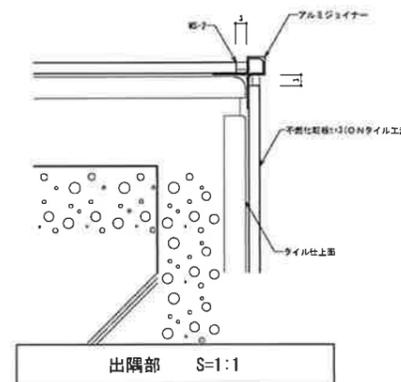
特別教室棟1階トイレ 仕上表		
床	現況	長尺塩ビ床シートt=2.5貼り 床下点検口(女子)
	撤去等	床シート剥がし、清掃、嵩上:モルタル金ゴテt=50
巾木	現況	床シート貼上げH=100
	撤去等	シート撤去
壁	現況	100角タイル張り
	撤去等	カビ部除去、水洗い清掃、プライマー塗布
間仕切壁	現況	
	撤去等	LGS(90)、耐水合板t=12
天井	現況	LGS(19)、化粧石膏ボードt=9張り
	撤去等	仕上、下地撤去 吊りボルト再利用
ライニング天板	現況	テラゾブロック
	撤去等	カビ部除去、水洗い清掃
ライニング腰壁	現況	100角タイル張り、CB下地
	撤去等	カビ部除去、水洗い清掃、プライマー塗布
出入り口建具	現況	額ガバリ付木製フラッシュ戸(片開き)
	撤去等	既存扉撤去取替え、枠再利用
トイレベース	現況	額ガバリ付木製フラッシュ戸、丁番、引手、押板、ドアチェック、ピクトグラム
	撤去等	木製フラッシュベース
窓枠・建具枠	現況	既存トイレベース全撤去
	撤去等	メラミン化粧板フラッシュ、ラバトリーヒンジ、表示錠、Rエッジ、頭つなぎ、巾木
衛生器具	現況	ラワンSOP塗り
	撤去等	ケレン清掃
衛生器具	現況	SOP塗替え
	撤去等	手洗流し4、小便器3、和式大便器3、洋式大便器2、オストメイト1、掃除流し2
衛生器具	現況	手洗流し3、小便器2、和式大便器1、洋式大便器4、オストメイト1、障害者手洗1、掃除流し2
	撤去等	既存衛生器具全取外し、一部再利用

共通事項:化粧不燃板t=3(ONタイル工法) <参考:アイカ「セラル」同等品>



既設大便器撤去後の床開口は、不要箇所すべて鉄筋コンクリートにて穴埋める。

スラブ補修図 S=1:10

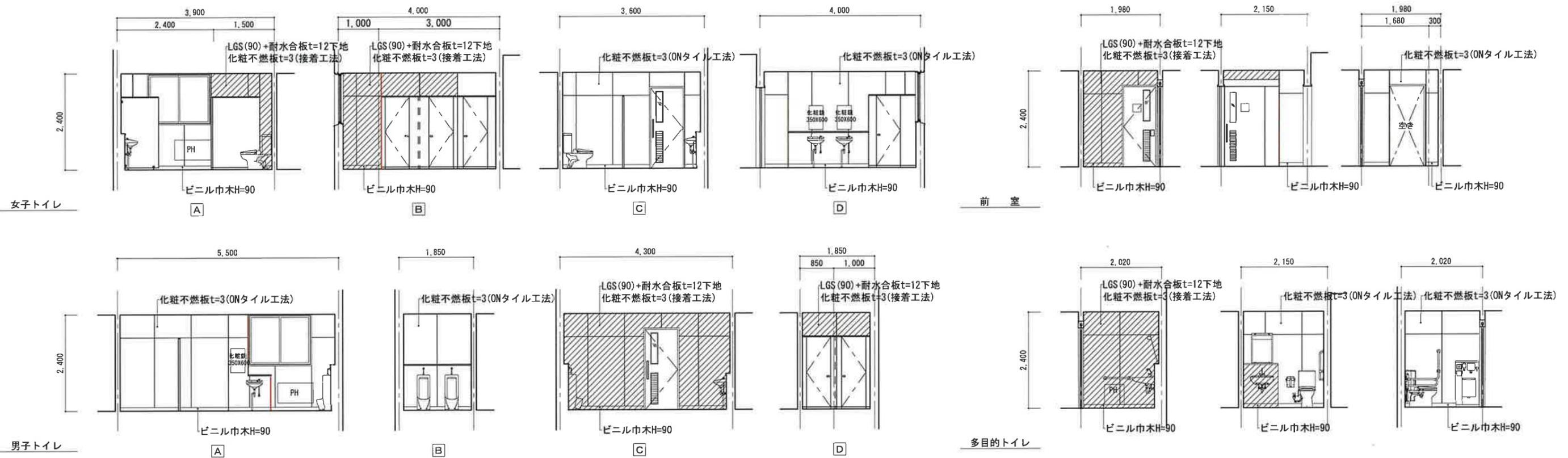


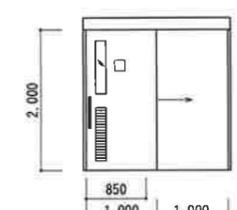
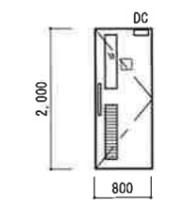
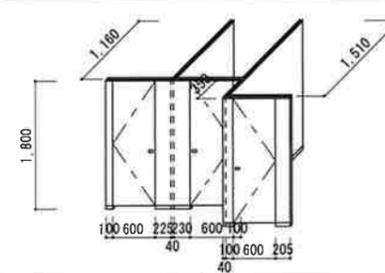
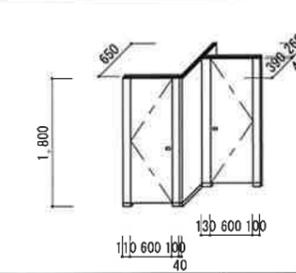
出隅部 S=1:1

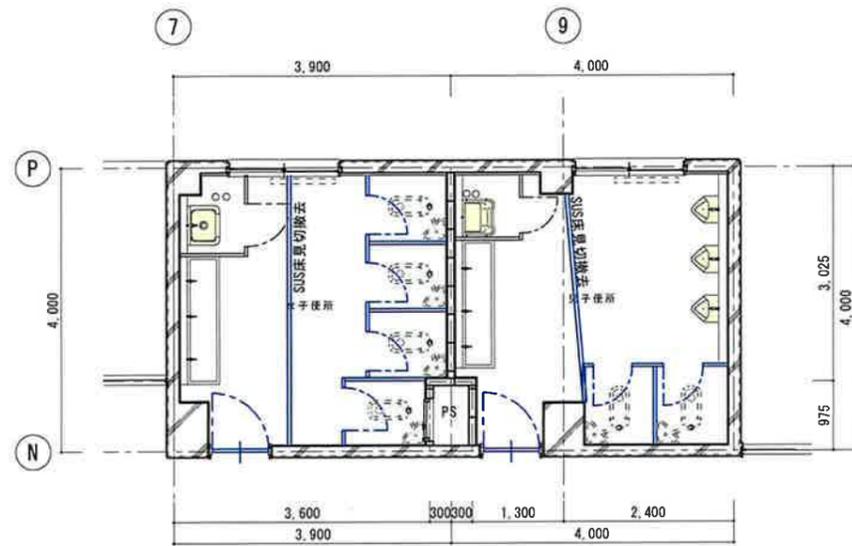


- 床シート貼替及び新規床シート貼り箇所を示す。
- 既存床シート撤去、モルタル金ゴテ下地t=50

改修床伏図 S=1:50

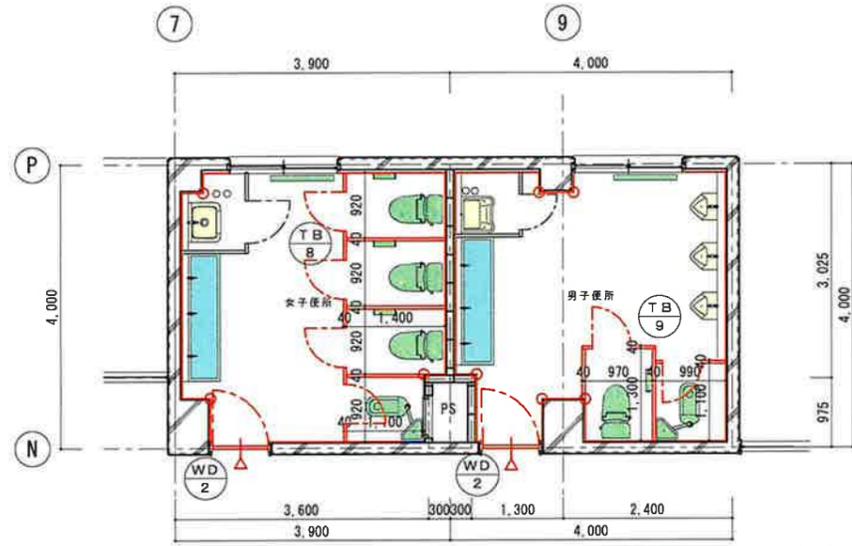


建具符号	使用場所	LSD-1	特別教室1階多目的トイレ	WD-2	特別教室1階2階トイレ
改修内容		新設		更新	
形状寸法					
種類	数量	片引き吊戸 (軽量スチール戸)	1	額ガリ付き片開きフラッシュ戸	4 1F・2F共通
見込	仕上	40	粉体焼付塗装	40	大手・ガラリ SOP塗り
材質	硝子	着色軽量鋼板	4mm強化ガラス ビクトグラム	ポリエステル化粧合板	4mm強化ガラス ビクトグラム
金物		SA, PP, CL(表示付ケースロック), 指節防止ゴムクッション 半自動片引き吊戸システム一式, 附属金物一式		丁番, 押板, ドアハンドル, ドアチェック(S付), 戸当り	
建具符号	使用場所	TB-6	特別教室1階女子トイレ	TB-7	特別教室1階男子トイレ
改修内容		新設		新設	
形状寸法					
種類	数量	トイレブース	1	トイレブース	1
見込	仕上	40	ドアRエッジ・エンドカバー: アルミ押出型材	40	ドアRエッジ・エンドカバー: アルミ押出型材
材質	硝子	メラミン化粧板+MDFフラッシュ, 芯材: ペーパーコア		メラミン化粧板+MDFフラッシュ, 芯材: ペーパーコア	
金物		ラバトリーヒンジ・丁番・表示付スライド錠<内外開用>・握玉付空錠・帽子掛型戸当 ステンレス頭ツナギ・取付け金物一式・その他付属金物一式		ラバトリーヒンジ・丁番・表示付スライド錠<外開用>・握玉付空錠・帽子掛型戸当 ステンレス頭ツナギ・取付け金物一式・その他付属金物一式	



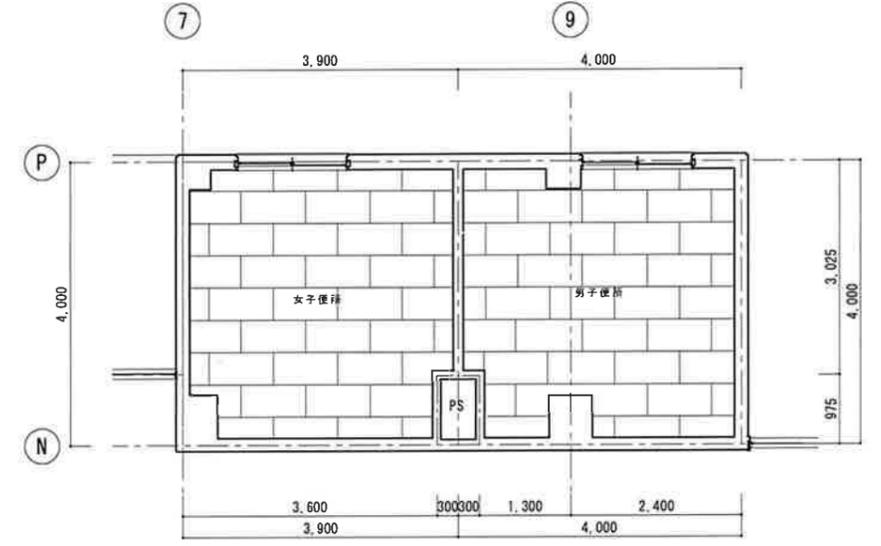
- 撤去衛生機器を示す
- 移設衛生機器を示す(再利用)
- 撤去建具を示す

現況平面図 S=1:50



- 新設衛生機器を示す
 - 移設衛生機器を示す(再利用)
 - 撤去衛生機器を示す(再利用)
 - 新設・更新建具を示す
- 出隅 ○ アルミジョイナーを示す
 室名札 ▼ ピクトグラム 建具面 150角程度 計2箇所
 既設衛生機器を示す(再利用) SUSヘアラインt=1.0

改修平面図 S=1:50



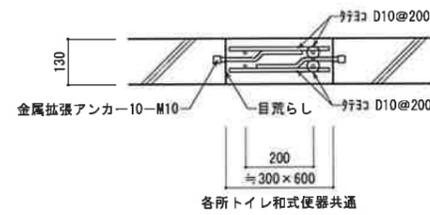
2階の天井は、既存化粧石膏ボードt=9に粉体塗装仕上(シーリングマジック同等品)

改修天井伏図 S=1:50



特別教室棟2階トイレ 仕上表		
床	現況	長尺塩ビ床シートt=2.5貼り
	撤去等	床シート剥がし、清掃、嵩上：モルタル金ゴテt=50
	改修後	特殊防滑長尺シート貼りt=2.5
巾木	現況	床シート貼上げH=100
	撤去等	シート撤去
	改修後	ビニル巾木H=90貼り
壁	現況	100角タイル張り
	撤去等	カビ部除去、水洗い清掃、プライマー塗布
	改修後	化粧不燃板t=3(ONタイル工法)
天井	現況	LGS(19)、化粧石膏ボードt=9張り
	撤去等	清掃
	改修後	ボードは現状のまま、新規粉体塗装(シーリングマジック同等品)
ライニング天板	現況	テラゾブロック
	撤去等	カビ部除去、水洗い清掃
	改修後	再使用、追設部：SUS板t=0.8(HL)曲げ加工品
ライニング壁	現況	100角タイル張り、CB下地
	撤去等	カビ部除去、水洗い清掃、プライマー塗布
	改修後	化粧不燃板t=3(ONタイル工法)
出入り口建具	現況	額ガバリ付木製フラッシュ戸(片開き)
	撤去等	既存扉撤去取替え、枠再利用
	改修後	額ガバリ付木製フラッシュ戸、丁番、引手、押板、ドアチェック、ピクトグラム
トイレブース	現況	木製フラッシュブース
	撤去等	既存トイレブース全撤去
	改修後	メラミン化粧板フラッシュ、ラバトリーヒンジ、表示錠、Rエッジ、頭つなぎ、巾木
窓枠・建具枠	現況	ラワンSOP塗り
	撤去等	ケレン清掃
	改修後	SOP塗替え
衛生器具	現況	手洗流し2、小便器3、和式大便器6、掃除流し2
	撤去等	既存衛生器具全取外し、一部再利用
	改修	手洗流し2、小便器3、和式大便器2、洋式大便器4、掃除流し2

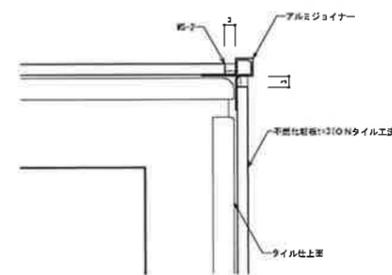
共通事項：化粧不燃板t=3(ONタイル工法) <参考：アイカ「セラル」同等品>



各所トイレ和式便器共通

既設大便器撤去後の床開口は、不要箇所すべて鉄筋コンクリートにて穴埋める。

スラブ補修図 S=1:10

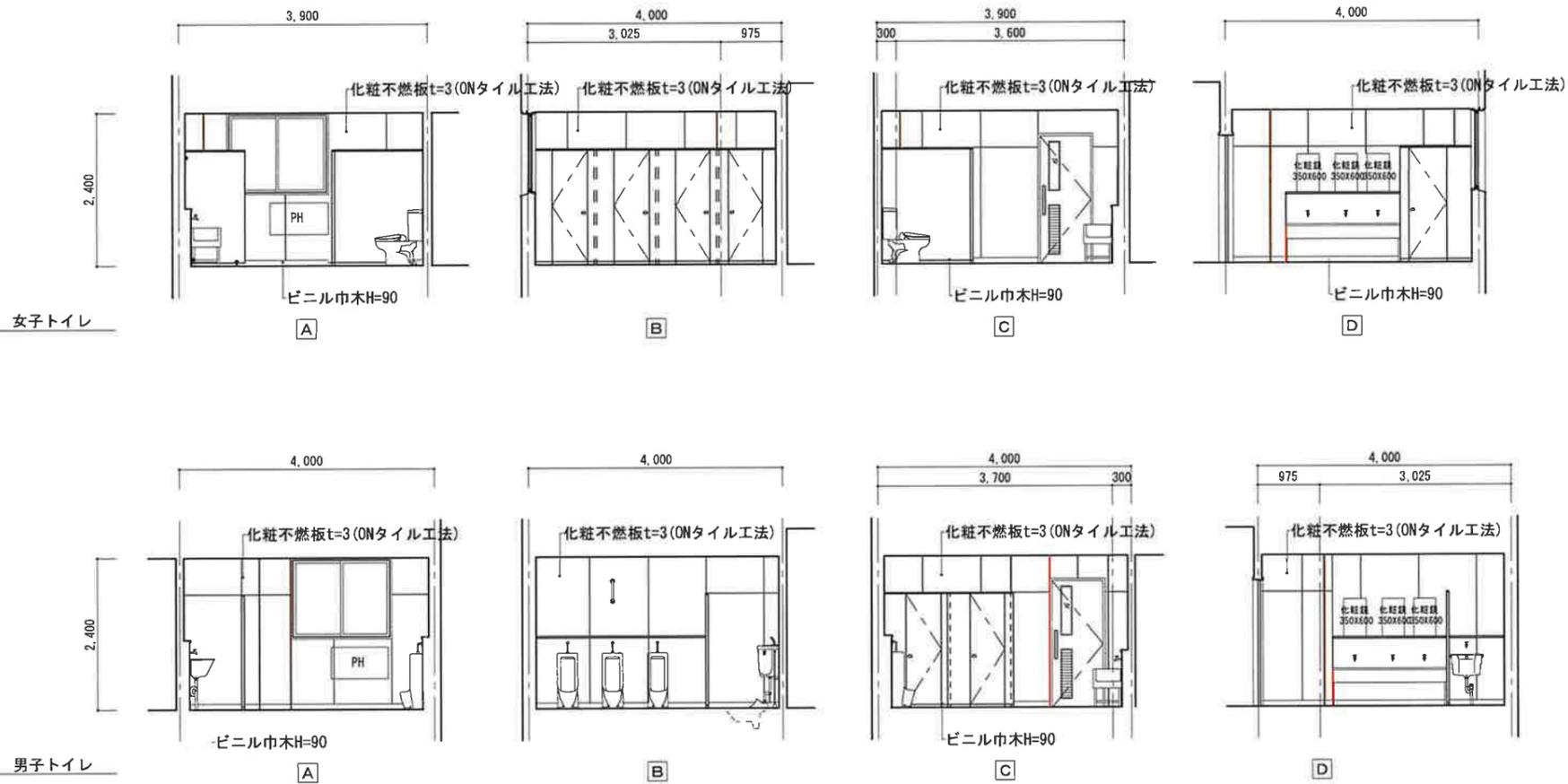


出隅部 S=1:1

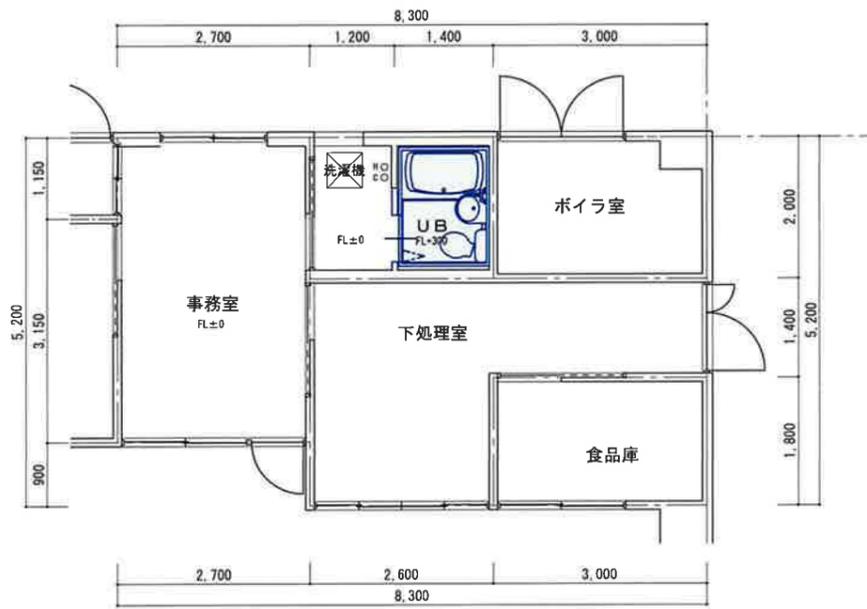


- 床シート貼替及び新規床シート貼り箇所を示す。
- 既存床シート撤去、モルタル金ゴテt=50

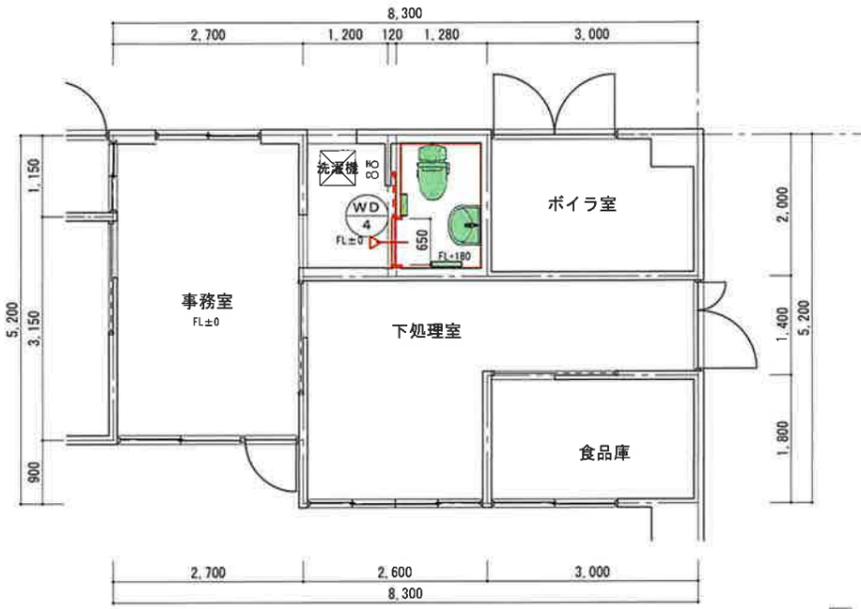
改修床伏図 S=1:50



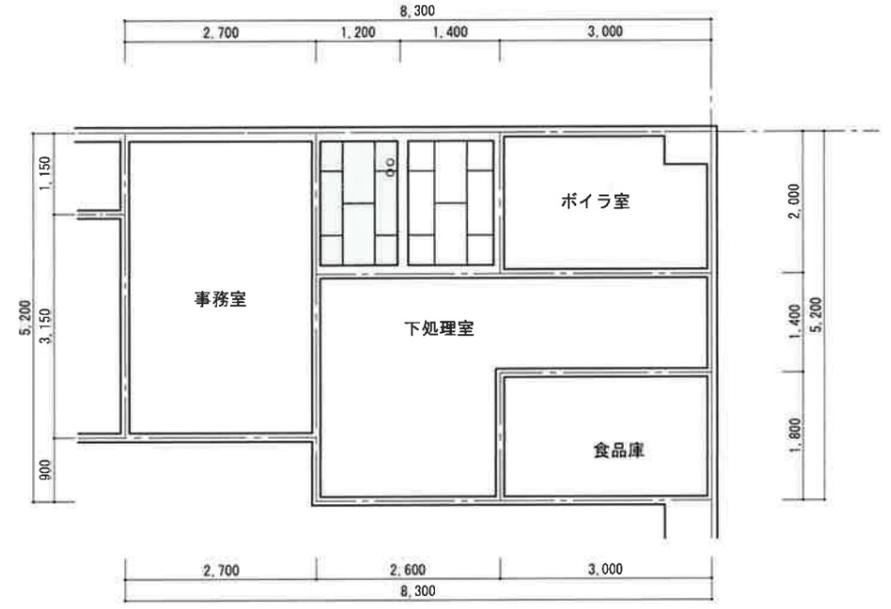
建具符号	使用場所	T B-8	特別教室2階女子トイレ	T B-9	特別教室2階男子トイレ
改修内容		更新		更新	
形状寸法					
種類	数量	トイレブース	1	トイレブース	1
見込	仕上	40	ドアRエッジ・エンドカバー：アルミ押出型材	40	ドアRエッジ・エンドカバー：アルミ押出型材
材質	硝子	メラミン化粧板+MDFフラッシュ、芯材：ペーパーコア		メラミン化粧板+MDFフラッシュ、芯材：ペーパーコア	
金物		ラバトリーヒンジ・丁番・表示付スライド錠<内外開用>・握玉付空錠・帽子掛型戸当 ステンレス頭ツナギ・取付け金物一式・その他付属金物一式		ラバトリーヒンジ・丁番・表示付スライド錠<内外開用>・握玉付空錠・帽子掛型戸当 ステンレス頭ツナギ・取付け金物一式・その他付属金物一式	



撤去衛生機器を示す
現況平面図 S=1:50



新設衛生機器を示す
 室名札 ▽ ピクトグラム 建具面 150角程度 1箇所
 SUSヘアラインt=1.0
改修平面図 S=1:50

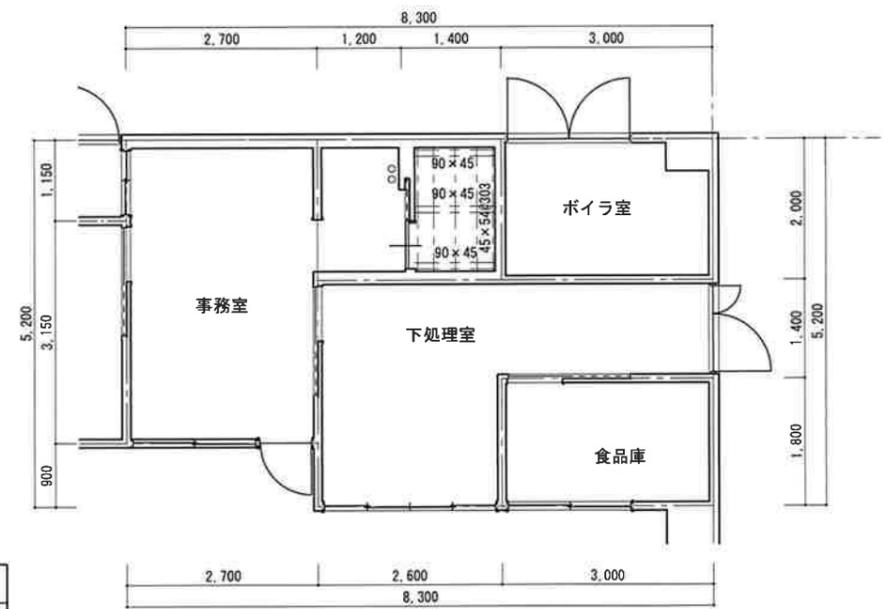


撤去天井(下地共)を示す。
 LGS天井下地、化粧石膏ボード張りt=9.5、塩ビ廻り縁
改修天井伏図 S=1:50

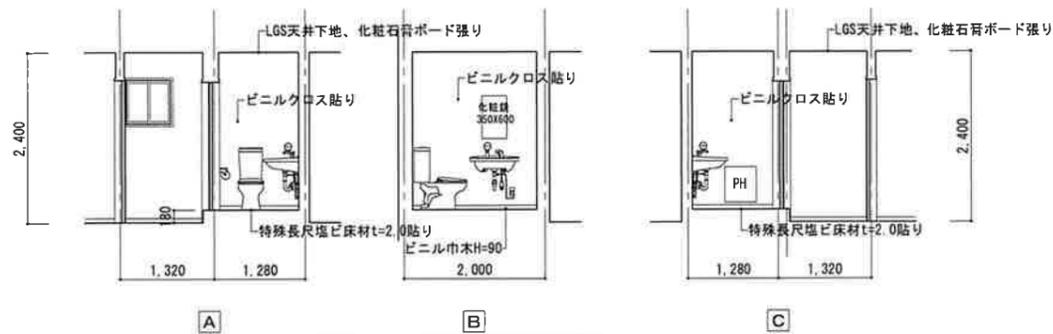


部材	現況	撤去等	改修後
床	現況	長尺塩ビ床シートt=2.5貼り	
	撤去等	清掃、再利用	
	改修後	現状のまま	
巾木	現況	ビニル巾木H=60貼り	
	撤去等	清掃、再利用	
	改修後	現状のまま、一部新設	
壁	現況	化粧ケイカル板張り	
	撤去等	清掃、再利用	
	改修後	現状のまま、一部新設	
天井	現況	LGS(19)、化粧石膏ボードt=9.5張り	
	撤去等	解体撤去	
	改修後	LGS(19)、化粧石膏ボード張り	
衛生器具	現況	洗濯機、排水金具、水栓(湯・水)	
	撤去等	再利用	
	改修	現状のまま	

部材	現況	撤去等	改修後
床	現況	ユニットバス	
	撤去等	解体撤去	
	改修後	転がし床下地(防蟻防蟻処理)、精選用合板t=12、ラワン耐水合板t=6、特殊ビニル床シート貼り	
巾木	現況	ユニットバス	
	撤去等	解体撤去	
	改修後	ビニル巾木H=90	
壁	現況	ユニットバス	
	撤去等	解体撤去	
	改修後	LGS(90)下地、PB12.5、ビニルクロス貼り	
天井	現況	ユニットバス	
	撤去等	解体撤去	
	改修後	LGS(19)、化粧石膏ボード張り	
出入口建具	現況	ユニットバス(折れ戸)	
	撤去等	解体撤去	
	改修後	額ガリ付き木製フラッシュ片引き戸、木枠、SOP塗り	
衛生器具	現況	ユニットバス	
	撤去等	解体撤去	
	改修	洋式大便器、手洗器(自動水栓、タオル掛け)	

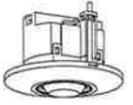


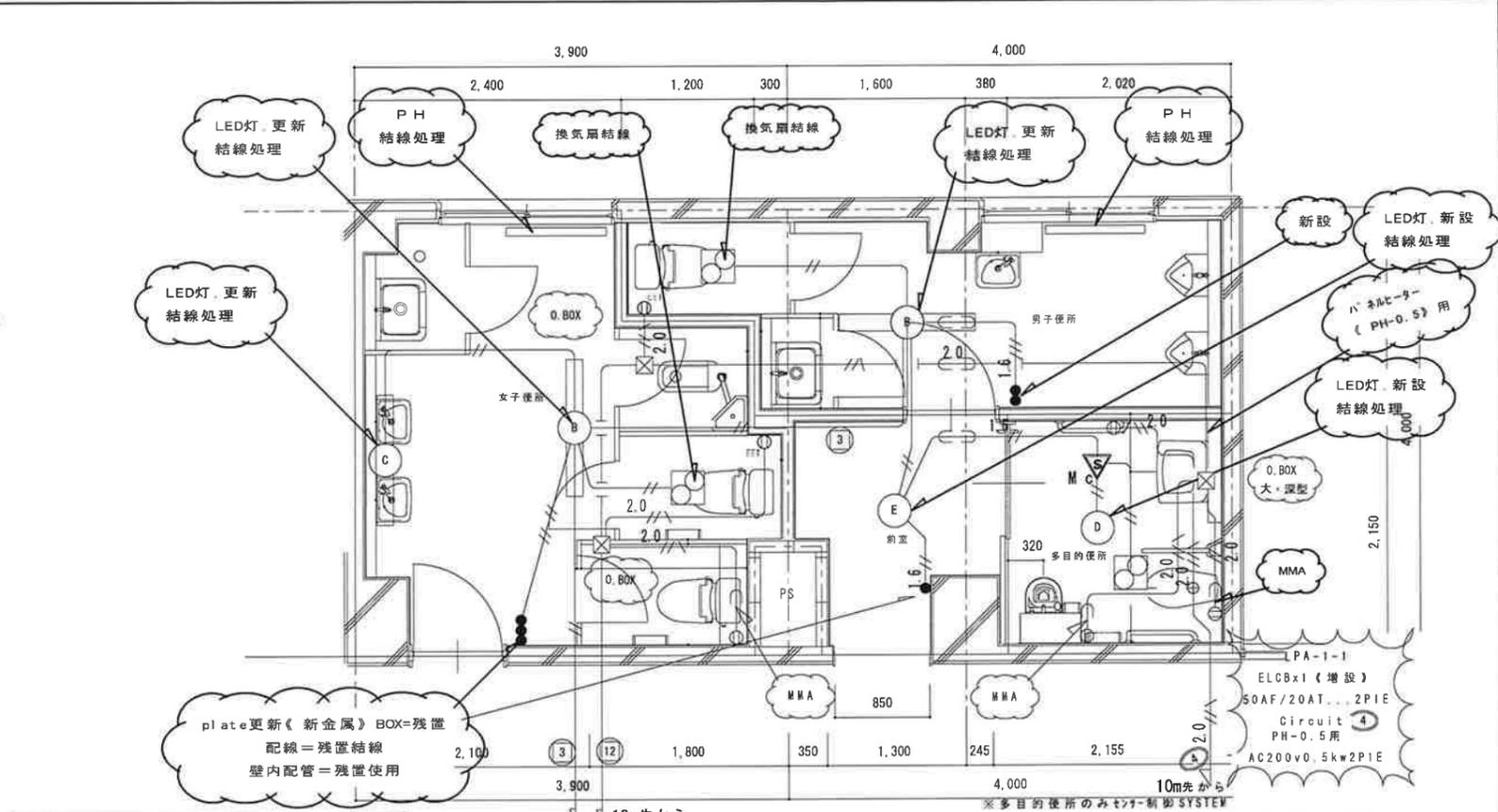
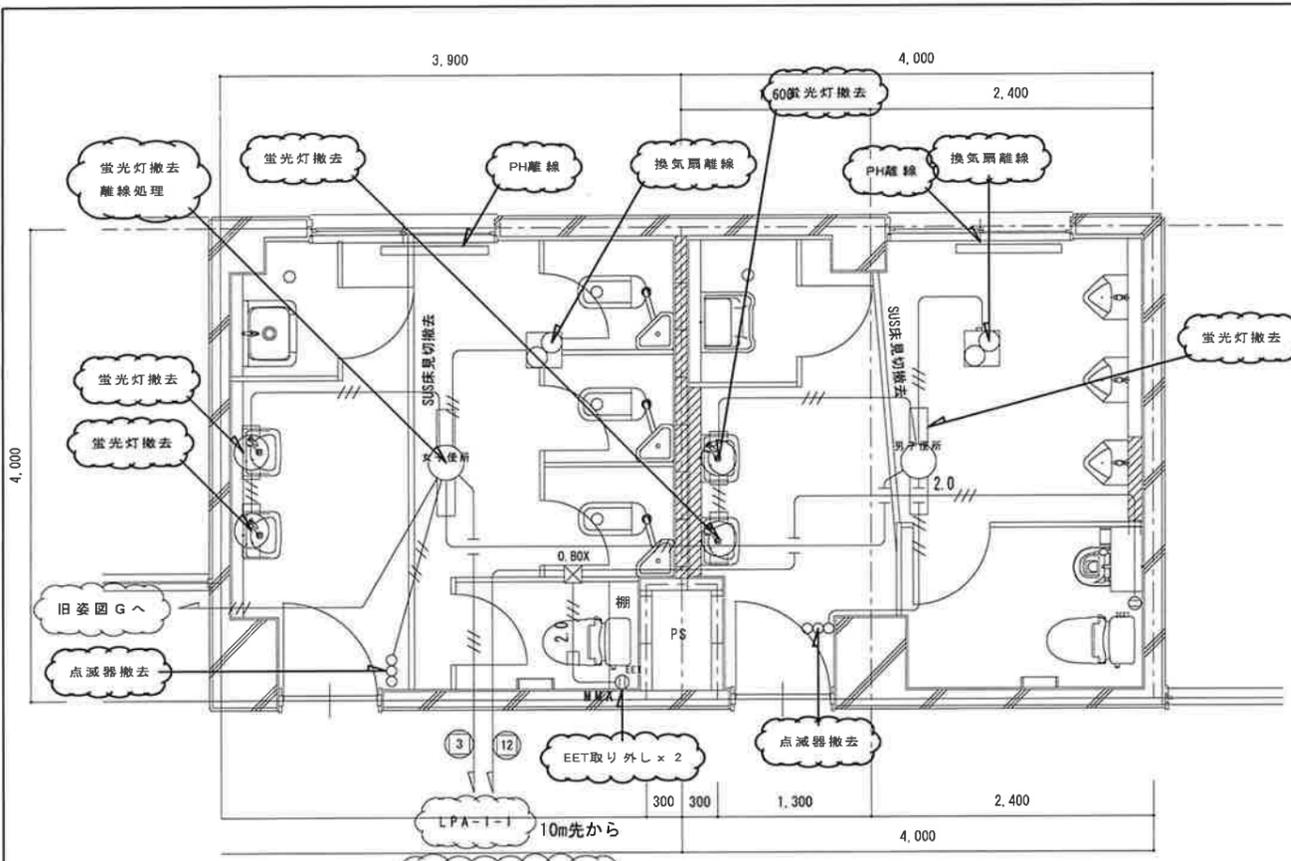
転がし床下地(大引、根太)は、防蟻防蟻処理すること。
改修床伏図 S=1:50



展開図 S=1:50

建具符号	使用場所	WD-4	給食室トイレ
改修内容	新設		
形状寸法		1,800	有効幅 650
種類	数量	額ガリ付き片引きフラッシュ戸	1
見込	仕上	40	大手・ガリ SOP塗り
材質	硝子	ポリエステル化粧合板	4mm強化ガラス ピクトグラム150角
金物		戸車、非常開放錠錠、戸スベリ、大型引手	

A	LED直付器具 40形 W120 3200lm	B	LED直付器具 40形 W230 4000lm	C	LEDフック付 40形 2000lm
<p style="text-align: center;">LSS94-30</p>  <ul style="list-style-type: none"> ●LED (昼白色) ●寸法：幅120×1,250×高53 ●定格電圧：AC100V～242V ●消費電力：19.5W (AC200V時) ●器具光束：3,200 lm ●相関色温度：5000K 平均演色評価数 (Ra) : 83 <p>東芝 LEKT412323N-LS9 相当品</p>		<p style="text-align: center;">LSS10-4-37</p>  <ul style="list-style-type: none"> ●LED (昼白色) ●寸法：幅230×1,250×高53 ●定格電圧：AC100V～242V ●消費電力：24.8W (AC200V時) ●器具光束：4,000 lm ●相関色温度：5000K 平均演色評価数 (Ra) : 83 <p>東芝 LEKT423403N-LS9 相当品</p>		<p style="text-align: center;">LBF3MP/RP-4-20</p>  <ul style="list-style-type: none"> ●LED (昼白色) ●寸法：幅130×1288×高105 ●定格電圧：AC100V～242V ●消費電力：19.7W (AC200V時) ●器具光束：2,000 lm ●相関色温度：5000K 平均演色評価数 (Ra) : 83 <p>東芝 LEDB-40940N-LS9 相当品</p>	
D	LEDダウンライト 2000形 150φ	E	LEDダウンライト 1000形 150φ	F	LED屋外用フック付 20形
<p style="text-align: center;">LRS1-17</p>  <ul style="list-style-type: none"> ◆LEDダウンライト ●器具寸法：幅169×298×埋込高106 ●定格電圧：AC100V～242V ●消費電力：14.0W (AC200V時) ●器具光束：2,100lm ●相関色温度：5000K 平均演色評価数 (Ra) : 83 <p>東芝 LEKD203025N-LS9 相当品</p>		<p style="text-align: center;">LRS1-08</p>  <ul style="list-style-type: none"> ◆LEDダウンライト ●器具寸法：幅169×298×埋込高106 ●定格電圧：AC100V～242V ●消費電力：7.9W (AC200V時) ●器具光束：1,080lm ●相関色温度：5000K 平均演色評価数 (Ra) : 83 <p>東芝 LEKD103025N-LS9 相当品</p>		 <ul style="list-style-type: none"> ●LED屋外用ブラケット (ランプ付) ●寸法：幅126×110×高660 ●定格電圧：AC100～242V ●消費電力：10W ●器具光束：690lm <p>東芝 LEDB83911 相当品</p>	
		Mc	Sensor Auto Switch		
		 <p>WDG8821 相当</p> <ul style="list-style-type: none"> ●寸法：φ100×85.3 ●3A-100V～242V ●明るさセンサー付 (切-明るめ-暗め) ●動作時間 (約5秒～30分切換) ●検知表示LED (赤色) 付 ●ニューホワイト色 ●単独使用可能 ◆人感スイッチ天井取付形・親器・電圧フリー・広角検知形 			



自火報設備1階平面図 参照

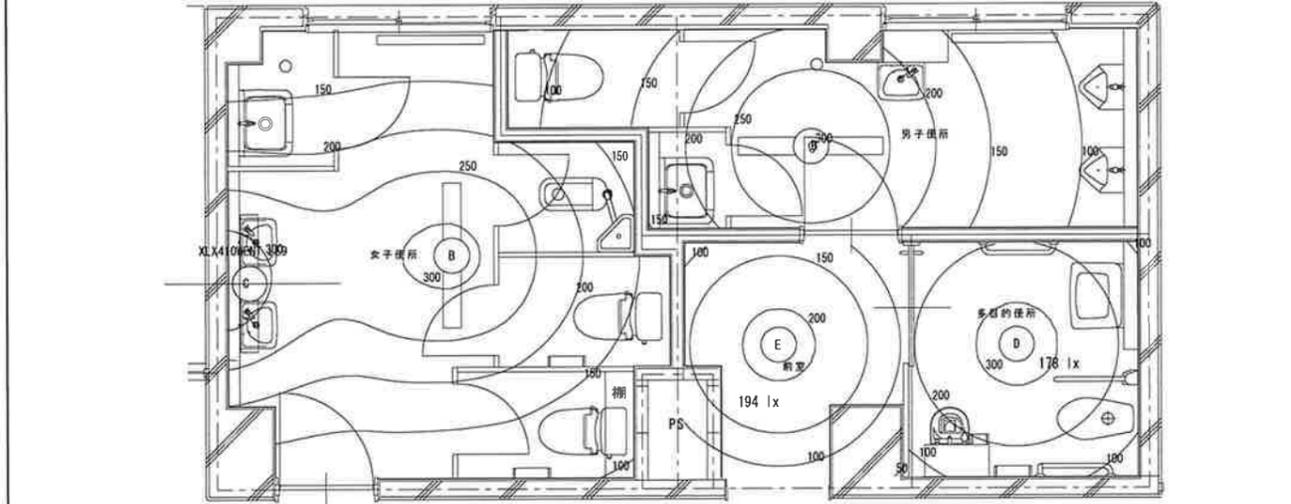
現況平面図 S=1:30

器具品番		多目的トイレ	
XND2566WYLE9	器具種類	平均照度	178 lx
LEDダウンライト21801m	ランプ	最小照度	67 lx
LED	全光束	最大照度	272 lx
	全光束	G1 (最小/平均)	0.375
	保守率	G2 (最小/最大)	0.246
	器具コード		
	取付高さ		
	取付台数		

器具品番		全室	
XND1008WN-LE9	器具種類	平均照度	194 lx
LEDダウンライト	ランプ	最小照度	39 lx
LED5000_85_1030	全光束	最大照度	411 lx
	全光束	G1 (最小/平均)	0.203
	保守率	G2 (最小/最大)	0.096
	器具コード		
	取付高さ		
	取付台数		

器具品番		女子トイレ	
XLX420DENLE9	器具種類	平均照度	202 lx
XLX410WENT-LE9	器具種類	最小照度	96 lx
FHF32W高出力蛍光灯	器具種類	最大照度	326 lx
LED5000_85_1930	全光束	G1 (最小/平均)	0.473
	全光束	G2 (最小/最大)	0.293
	保守率		
	器具コード		
	取付高さ		
	取付台数		

器具品番		男子トイレ	
XLX4456ENP-LE9	器具種類	平均照度	190 lx
XLX410WENT-LE9	器具種類	最小照度	55 lx
LED5000_85_3580	器具種類	最大照度	396 lx
	全光束	G1 (最小/平均)	0.291
	全光束	G2 (最小/最大)	0.139
	保守率		
	器具コード		
	取付高さ		
	取付台数		



10m先から

※多目的便所のみセパレート制御SYSTEM
imp:校舎棟内全て解体後復旧です(床・壁・天井)

改修平面図 S=1:30

特記なき配線は下記による。 細線=既存 太線=改修

記号	名称	高さ	備考
○	LEDダウンライト	2400	改修後
○	LEDウォールライト壁付型	2400	改修後
○	LED直付天井灯(反射笠付型)	2400	改修後
○	蛍光灯 FHF32×1	2400	撤去
○	蛍光灯 FL20×1(壁付)	2400	撤去
⊖	コンセント壁付(接地極付接地端子付)	300	既設 or 新設
○	スイッチ	1300	撤去
○	スイッチ	1300	改修後
⊃	スイッチ2個orスイッチ3個	1300	改修後
⊃	スイッチ3個	1300	撤去
Mc	人感センサー: 観機・隠蔽	2400	WDG8821 WTK2401K 新設

特記なき記号は下記による。

記号	名称	高さ	備考
○	LEDダウンライト	2400	改修後
○	LEDウォールライト壁付型	2400	改修後
○	LED直付天井灯(反射笠付型)	2400	改修後
○	蛍光灯 FHF32×1	2400	撤去
○	蛍光灯 FL20×1(壁付)	2400	撤去
⊖	コンセント壁付(接地極付接地端子付)	300	既設 or 新設
○	スイッチ	1300	撤去
○	スイッチ	1300	改修後
⊃	スイッチ2個orスイッチ3個	1300	改修後
⊃	スイッチ3個	1300	撤去
Mc	人感センサー: 観機・隠蔽	2400	WDG8821 WTK2401K 新設

設置箇所名 器具記号 数量 設置箇所名 器具記号 数量

設置箇所名	器具記号	数量	設置箇所名	器具記号	数量
女子便所	B	1	男子便所	B	1
	C	1			
前室	E	1	多目的便所	D	1

器具仕様:

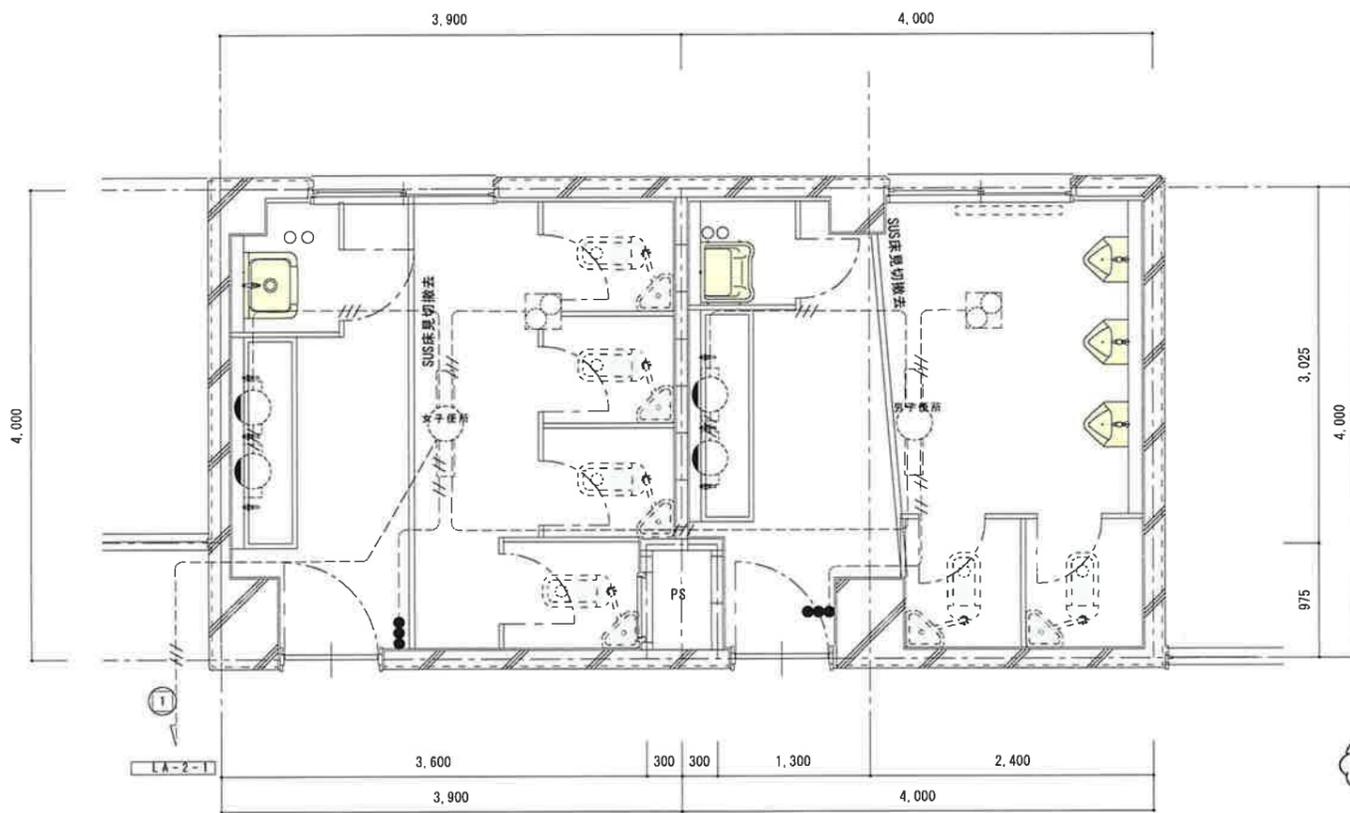
B iDシリーズ直付型40形 スクールコンフォート 2 4000lm
消費電力25W、定格出力24W、電圧100V-242V
器具種類: 直付型LED照明器具
材質: 樹脂(黒色/白色/銀色/黒色)
ライティング: (カバー) ホリカーボネート(黒色)
器具コード: 4000lmタイプ(器具コード長さ約1.8m)
色温度: 5000K、Ra>80、電圧調整はライティングユニット内蔵

C iDシリーズ直付型40形 ウォールウォッシャ 1 2000lm
消費電力13W、定格出力12W、電圧100V-242V
器具種類: 直付型LED照明器具
材質: 樹脂(黒色/白色/銀色/黒色)
ライティング: (カバー) ホリカーボネート(黒色)
器具コード: 4000lmタイプ(器具コード長さ約1.8m)
色温度: 5000K、Ra>80、電圧調整はライティングユニット内蔵

D ダウンライト 250形 1 2180lm
LED内蔵コンプレックス(LED)タイプ、電圧100V-242V、定格出力25W、消費電力25W、器具種類: LED照明器具
材質: 樹脂(黒色/白色/銀色/黒色)
ライティング: (カバー) ホリカーボネート(黒色)
器具コード: 4000lmタイプ(器具コード長さ約1.8m)
色温度: 5000K、Ra>80、電圧調整はライティングユニット内蔵

E ダウンライト 100形 1 1030lm
消費電力10W、定格出力10W、電圧100V-242V、器具種類: LED照明器具
材質: 樹脂(黒色/白色/銀色/黒色)
ライティング: (カバー) ホリカーボネート(黒色)
器具コード: 4000lmタイプ(器具コード長さ約1.8m)
色温度: 5000K、Ra>80、電圧調整はライティングユニット内蔵

Mc Sensor Auto Switch
WDG8821相当
寸法: φ100×85.3
電圧: 100V-242V
明るさセンサー付(光センサー付)
動作時間: 約5秒~30分切替
検知表示LED(赤色)付
センサー付タイプ
事後使用可能
人感スイッチ天井取付時: 観機・隠蔽・両用機対応

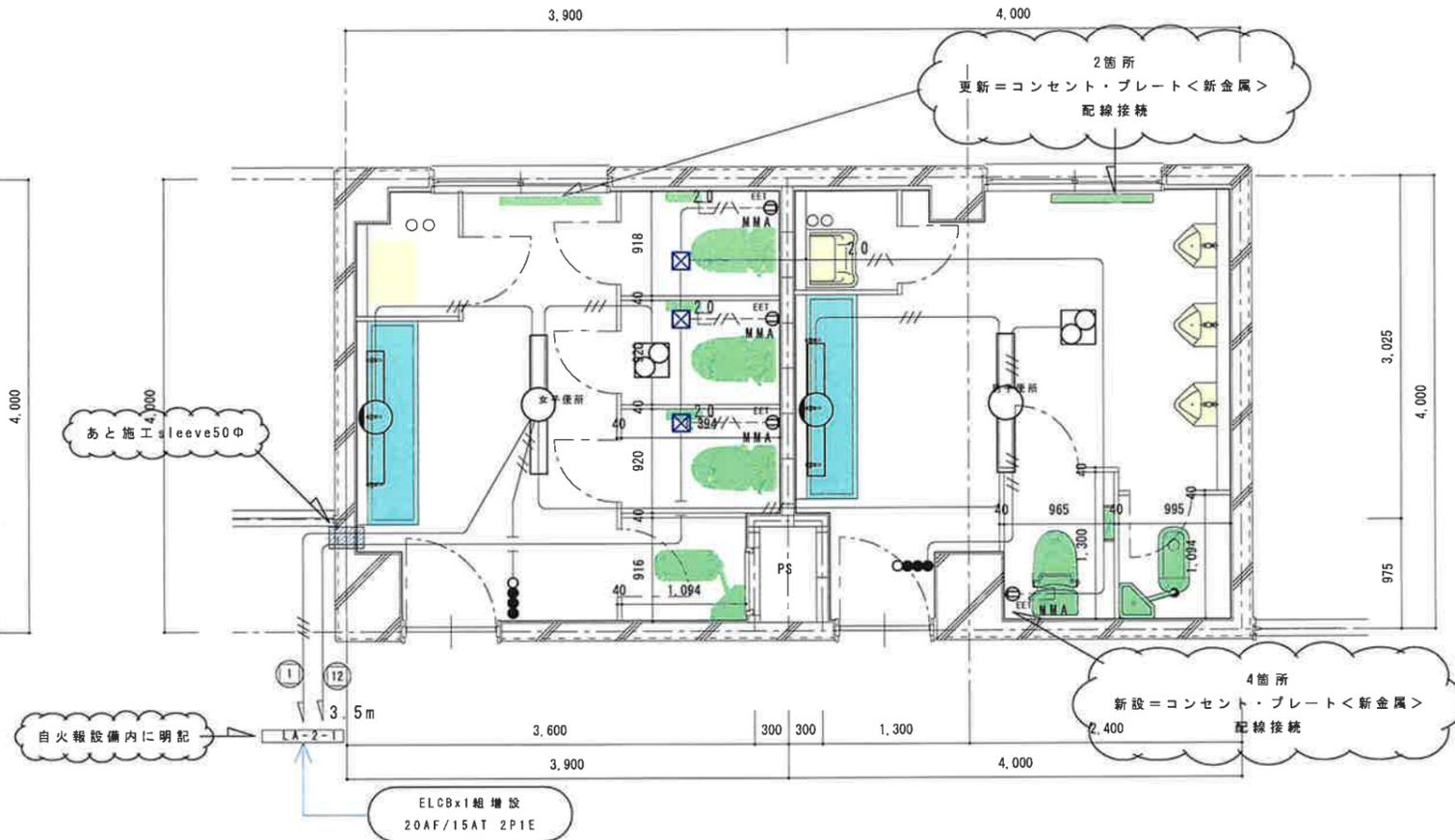


- 撤去衛生機器を示す
- 移設衛生機器を示す(再利用)

現況平面図 S=1:30

設置箇所名	姿図記号	数量
女子便所	B	1
	C	1

設置箇所名	姿図記号	数量
男子便所	B	1
	C	1



- 新設衛生機器を示す
- 既設衛生機器を示す(再利用)
- 移設衛生機器を示す(再利用)

改修平面図 S=1:30

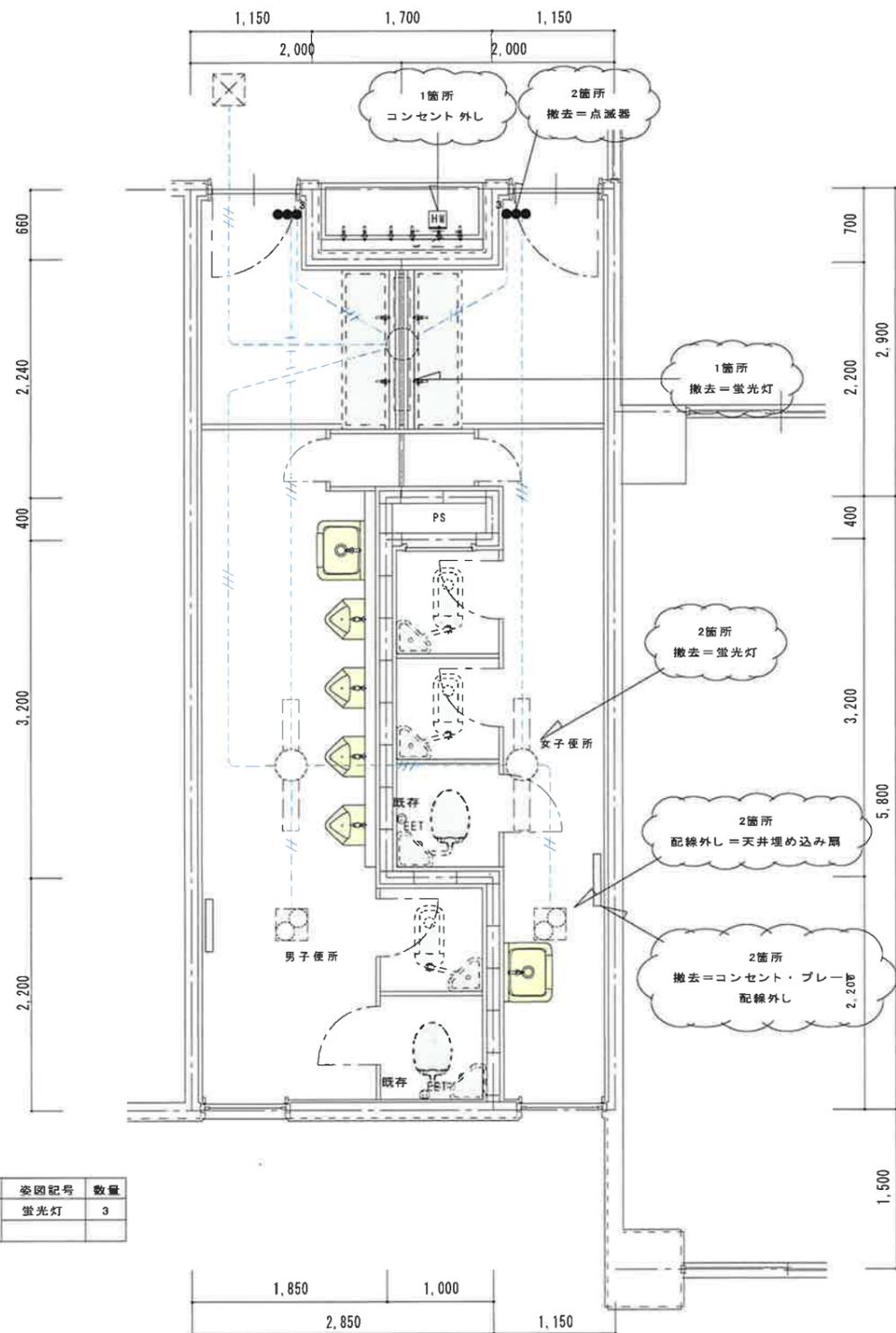
imp:校舎棟内全て解体後復旧です(床・壁・天井)

特記なき配線は下記による。

記号	名称	備考
—#—	EM-EEF1.6-3C	改修
---#---	EM-EEF1.6-3C(25)	既存
—##—	EM-EEF1.6-2C×2	改修
---##---	EM-EEF1.6-2C×2(25)	既存
—#2.0—	EM-EEF2.0-2C+E	改修
---#2.0---	EM-EEF2.0-2C+E(25)	既存

特記なき記号は下記による。

記号	名称	高さ	備考
	LEDウォールライト壁付型	2400	改修
	LED直付天井灯(反射笠付型)	2400	改修
	蛍光灯 FHF32×1	2400	既存
	蛍光灯 FL20×1(壁付)	2400	既存
	コンセント壁付(接地極付接地端子付)300		改修
	スイッチ3個	1300	改修



設置箇所名	変図記号	数量
男女子トイレ	蛍光灯	3

- 撤去衛生機器を示す
- 移設衛生機器を示す(再利用)

1.2階現況平面図 S=1:30

C	iDシリーズ直付型40形 ウォールウツシャ	2
---	-----------------------	---

規格: JIS S 2200-1 (壁付型)
全高: 2400mm (取付高さ: 2000mm)
全幅: 120mm (取付幅: 100mm)
材質: 亜鉛めっき鋼板
取付: 壁取付 (取付金具別売)
取付穴径: 40mm (取付穴間隔: 150mm)
取付色: 15000047 (白)
電線径: 2φ (15000047) (1.5mm)
電線径: 2φ (15000047) (1.5mm)

A	iDシリーズ直付型40形 スクールコンフォート	4
---	-------------------------	---

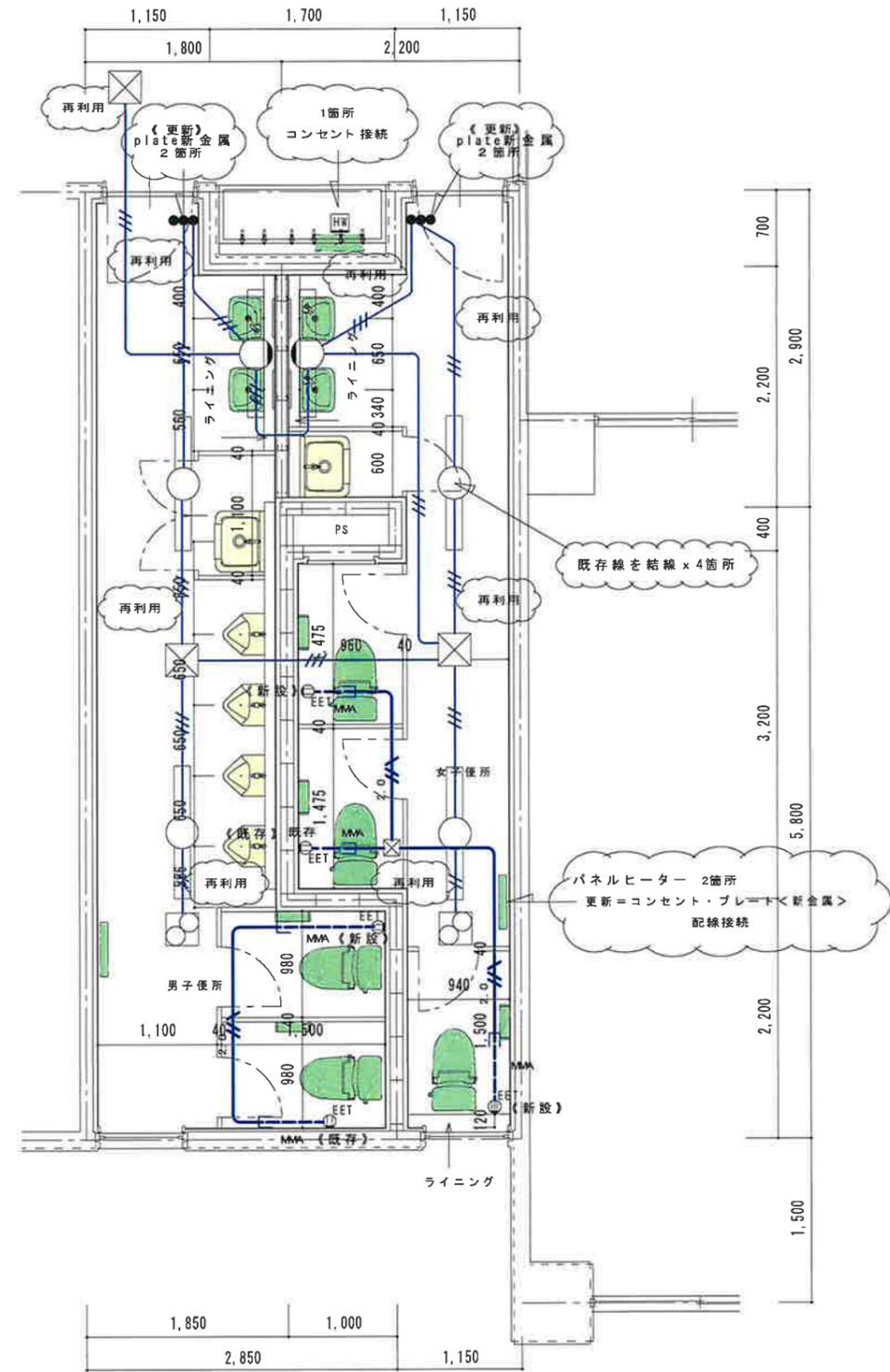
規格: JIS S 2200-1 (壁付型)
全高: 2400mm (取付高さ: 2000mm)
全幅: 120mm (取付幅: 100mm)
材質: 亜鉛めっき鋼板
取付: 壁取付 (取付金具別売)
取付穴径: 40mm (取付穴間隔: 150mm)
取付色: 15000047 (白)
電線径: 2φ (15000047) (1.5mm)
電線径: 2φ (15000047) (1.5mm)

特記なき配線は下記による。

—	EM-EEF1.6-3C	改修
—	EM-EEF1.6-2C	改修
- - -	EM-EEF1.6-2C(19)	既存
—	EM-EEF1.6-3C	改修
- - -	EM-EEF1.6-3C(25)	既存
—	EM-EEF2.0-2C-E	改修
- - -	EM-EEF2.0-2C-E(25)	既存

特記なき記号は下記による。

記号	名称	高さ	備考
○	LEDウォールライト 壁付型	2400	改修後
○	LED直付天井灯(笠なし型)	2400	改修後
○	蛍光灯富士型1灯	2400	撤去
EET	コンセント壁付(接地極付接地端子付)	300	
■	スイッチ3個	1300	
HW	電気給湯器	天井近く	

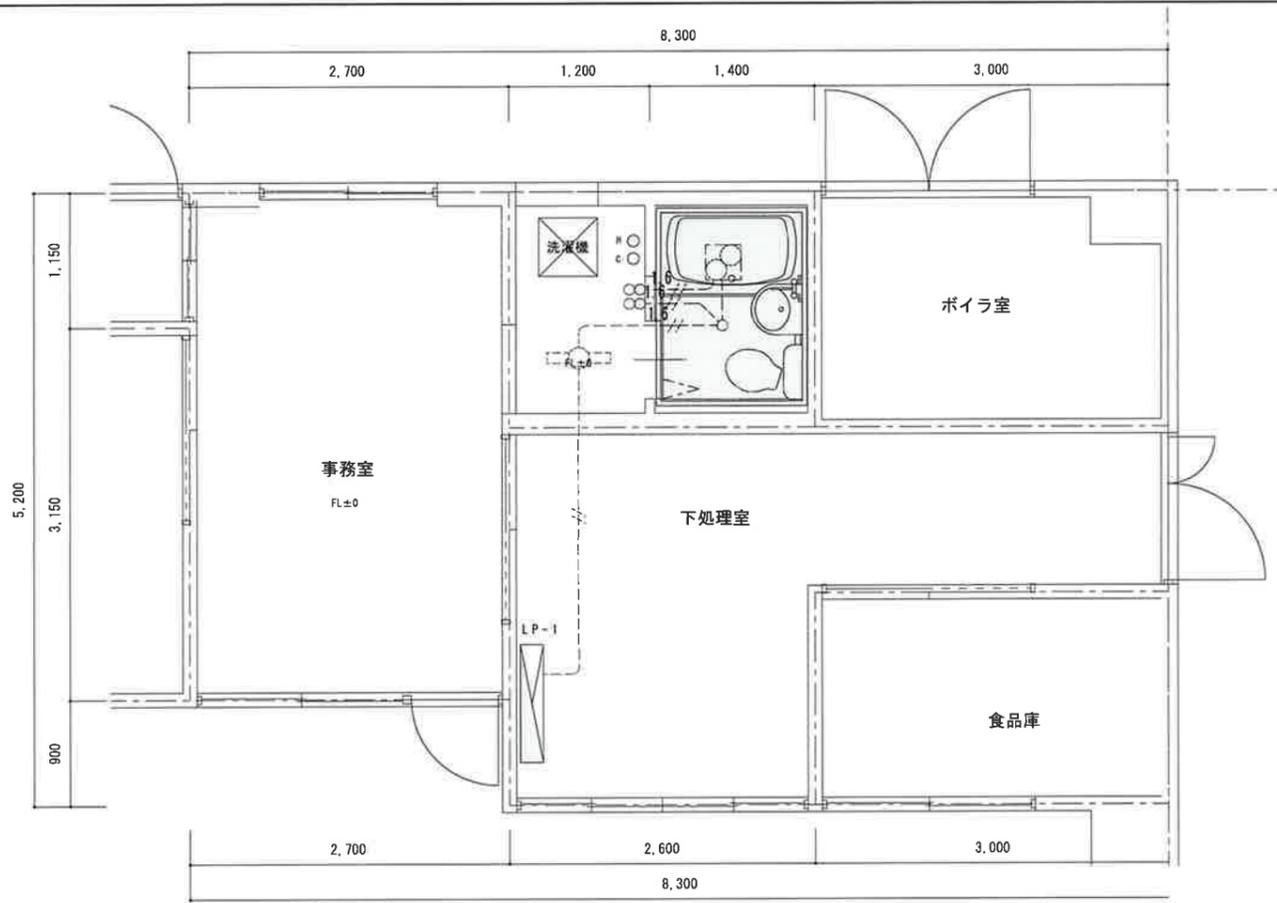


- 新設衛生機器を示す
- 移設衛生機器を示す(再利用)
- 既存衛生機器を示す(再利用)

1.2階改修平面図 S=1:30

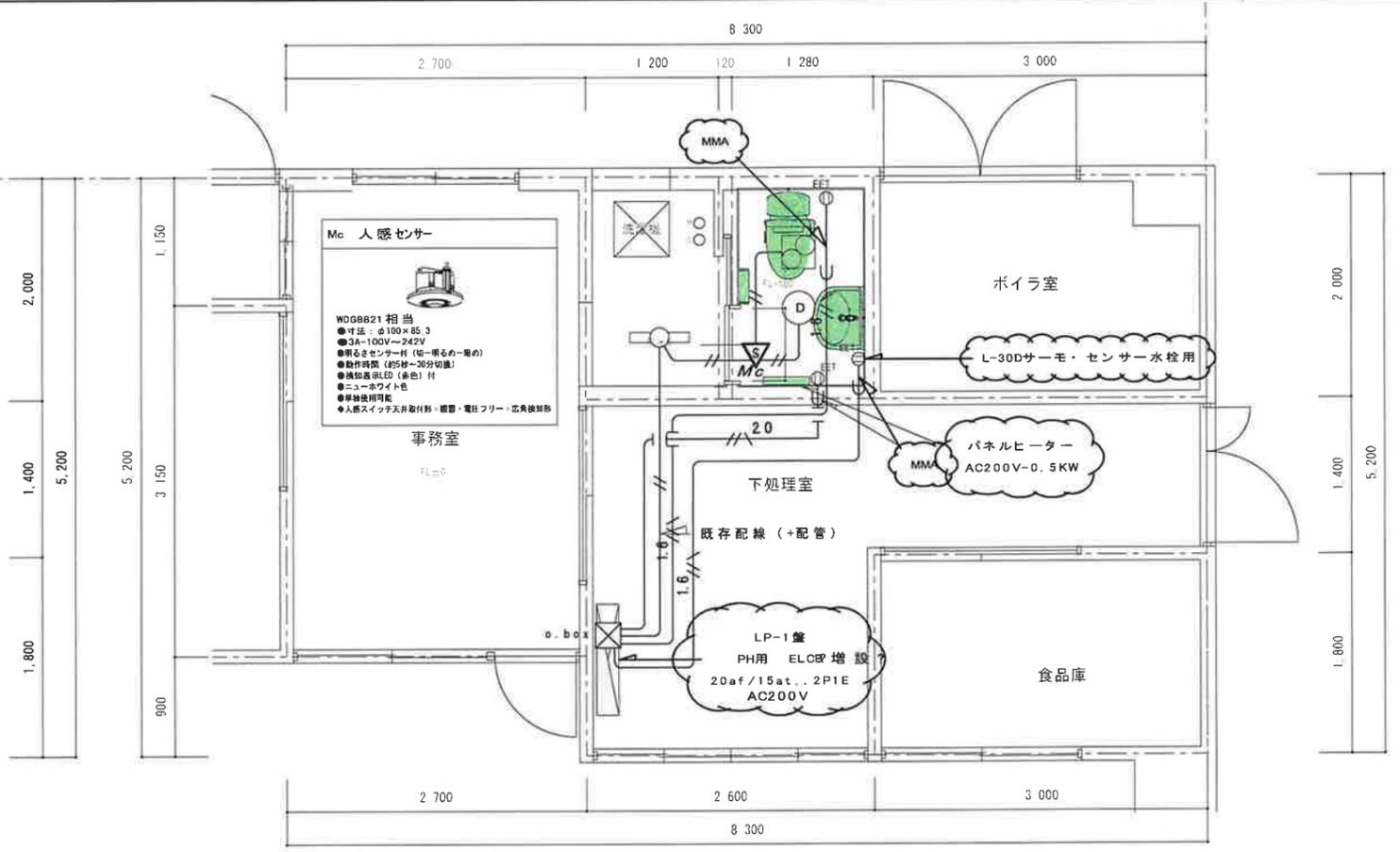
imp: 校舎棟内全て解体後復旧です(床・壁・天井)

設置箇所名	変図記号	数量
男女子トイレ	A	4
男女子トイレ	C	2



撤去衛生機器を示す

給食室トイレ改修図 現況平面図 S=1:30



新設衛生機器を示す

改修平面図 S=1:30

設置箇所名	装置記号	数量
職員トイレ	D	1

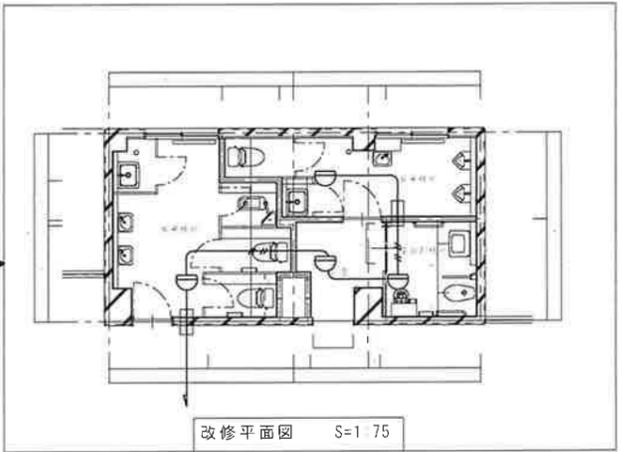
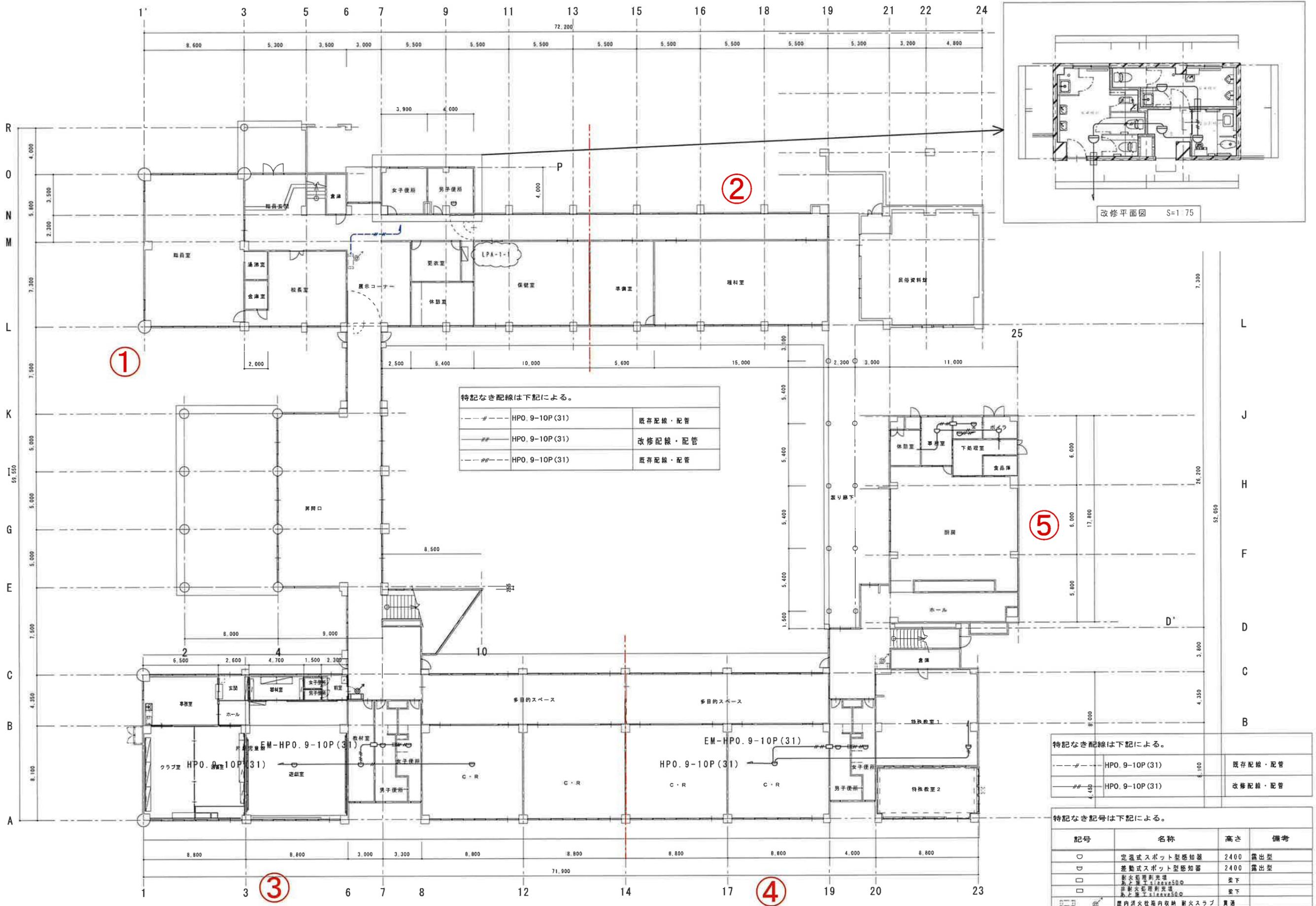
特記：(床・壁・天井)は解体後復旧とする。

特記なき配線は下記による。

記号	仕様	状態
---	VVF2.0-3C(PF22)	既存
1.6	VVF1.6-2C(PF16)	既存
---	VVF1.6-2C(E19)	既存
#	EM-EEF1.6-2C	改修
2.0	EM-EEF2.0-3C	改修

特記なき記号は下記による。

記号	名称	高さ	備考
○	LEDダウンライト	2400	更新
○	白熱灯	2400	撤去
○	蛍光灯 FL40×1	2400	残置
EET	コンセント壁付(接地極付接地端子付)	300	《新設》
8	スイッチ+確認表示灯	1300	《新設》
LP-1	配電盤 LP-1	2400	既存
Mc	人感センサー 隠蔽型・DS-1type	2400	《新設》



特記なき配線は下記による。

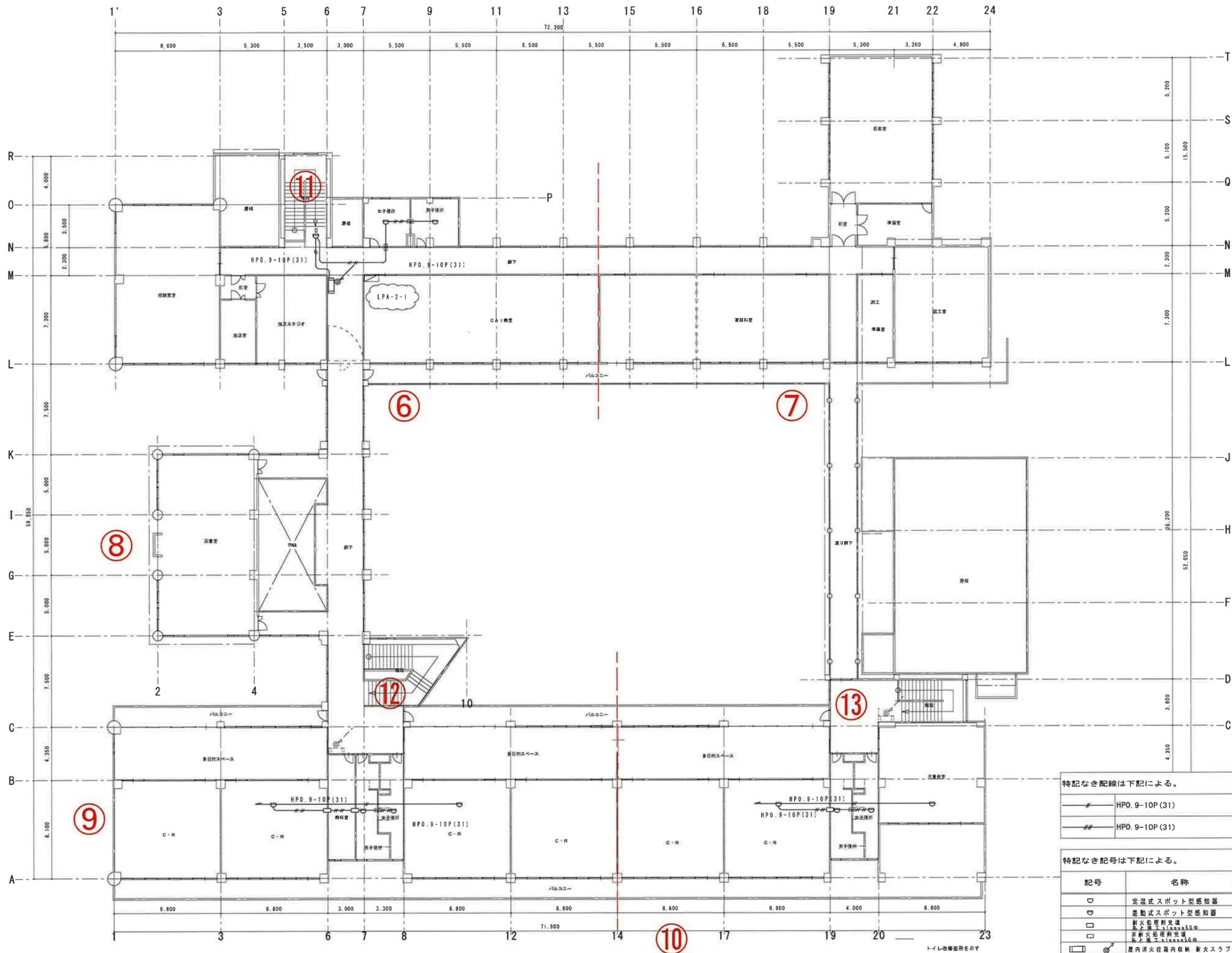
---	HPO. 9-10P (31)	既存配線・配管
---	HPO. 9-10P (31)	改修配線・配管
---	HPO. 9-10P (31)	既存配線・配管

特記なき配線は下記による。

---	HPO. 9-10P (31)	既存配線・配管
---	HPO. 9-10P (31)	改修配線・配管

特記なき記号は下記による。

記号	名称	高さ	備考
○	定温式スポット型感知器	2400	露出型
◇	差動式スポット型感知器	2400	露出型
□	防火型埋入型感知器		梁下
□	非防火型埋入型感知器		梁下
□	屋内消火栓箱内収納 耐火スラブ		貫通



特記なき配線は下記による。

—	HPO. 9-10P (31)	既存配線・配管
—	HPO. 9-10P (31)	改修配線・配管

特記なき記号は下記による。

記号	名称	高さ	備考
○	定温式スポット型感知器	2400	露出型
○	差動式スポット型感知器	2400	露出型
□	耐火処理剤充填 非耐火型消火器	壁下	
□	非耐火型消火器	壁下	
□	屋内消火栓室内取新 耐火スラブ	貫通	

凡 例 (衛生)		※○印は採用を示す・□印は備考欄を(おも)採用	
記号	名称	材質NO	備考
○	給水管(上水)	6	埋設: 7
○	給水管(井水)	5	埋設: 21
○	給湯管(湯)	1	電気化給湯器用高出度90°C
○	給湯管(湯)	1	電気化給湯器用高出度90°C
○	汚水・雑排水管	26	1,2階=耐火二層管vp
○	屋外排水管	17	
— S P —	消火栓管	2	埋設: 22
— G —	プロパン用ガス管	1	埋設: 24 (白ガス管+防食処理材=使用不可) 和貫通・打ち込み: 管継ぎ防止+外面保護鋼管
— K —	厨房排水管(高温排水)	2	
— P U —	ポンプアップ排水管	2	埋設: 21
○	仕切弁	JISSK, (D)	
○	バタフライ弁	JIS10K(65A以上)	
○	逆止弁	JIS10K	
○	埋設弁・不凍栓	JIS10K 不凍栓はBOX・蓋共	
○	防鼠籠手	合成ゴム製	
○	可とう籠手	ステンレス製	
○	ストレーナー		
FM	定水位弁		
BT	ボールタップ		
○	水栓(水・湯)		
○	フラッシュ弁		
○	湯水混合水栓		
○	シャワー金具		
○	床排水トラップ	T3A (非防水)・T3B (防水)	
○	床上げ除口	COA (非防水)・COB (防水)	
○	床下げ除口		
○	排水用トラップ		
○	屋内消火栓箱	火箱箱込	
○	屋内消火栓箱(放水口付)	火箱箱込	
○	屋外消火栓箱		
○	間接排水金物		
○	水栓柱	樹脂製H=900	
○	水栓栓		
○	地中埋設標示	結核磁器	
○	放水栓		
○	放水補助栓	火箱箱込	

記号	名称	材質NO	備考
△	送水口		
○	テスト弁		
○+	ガスコック		
M	量水器		貸与品
GM	ガスメータ		S型(貸与品)
M	私設量水器		パルス発信式
□	汚水側(現場打)		インバート鋼管 MHA: 中継 MHB: 終着型
T	トラップ側(現場打)		ための鋼管 MHA: 中継 MHB: 終着型
消	第5種ABC粉末消火器+表示板	3: A-3単位 10: A-10単位	
消	第5種ABC粉末消火器+表示板+BOX	3: A-3単位 10: A-10単位	※表示特記による
消	第4種ABC粉末車載消火器+表示板		※表示特記による
○	機器・器具接続位置		
○	小口径埋込側		蓋等は例93参照
○	不凍栓・BOX・蓋		BOX=300Φ

管材リスト			
NO	名称	型番	備考
1	水道用亜鉛メッキ鋼管	JISG3442	
2	配管用炭素鋼管(白)	JISG3452	
3	配管用炭素鋼管(黒)	JISG3452	
4	圧力配管用炭素鋼管	SCH40	
5	水道用硬質塩化ビニリング鋼管	SGP-VA・K-VA	
6	水道用硬質塩化ビニリング鋼管	SGP-VB・K-VB	JWWAK-116
7	水道用硬質塩化ビニリング鋼管	SGP-VD・K-VD	
8	ポリエチレン粉体ライニング鋼管	SGP-PA	
9	ポリエチレン粉体ライニング鋼管	SGP-PD	
10	一般配管用ステンレス鋼管	JISG3448	
11	水道用ステンレス鋼管	JWWAG115	
12	排水用硬質塩化ビニリング鋼管	WSP042	(MO継手)
13	排水用タールエポキシ塗装鋼管	WSP032	
14	排水用塩化ビニルコーティング鋼管		
15	排水用鋼管(メカニカル)	HASS210	
16	排水用鉛管	HASS203	
17	硬質塩化ビニル管	VP	
18	ヒューム管	外圧一種B型	
19	鋼管	(L)	
20	鋼管	(M)	
21	新着管塩化ビニ管 屋内外両面塩化ビニリング鋼管		HVP 屋内: VD
22	消火用外面被覆鋼管		
23	ガス用外面被覆鋼管(黒)		
24	ガス用ポリエチレン管		
25	耐熱性塩化ビニリング鋼管	SGP-HVA・K-HVA	土中配管 内外両面被覆鋼管
26	耐火二層管		2012年 VP
27	耐熱性塩化ビニ管	HTLP	※既設用はHTLP

凡例 (空調) ※○印は採用を示す

採用	記号	名称	材質 NO	備考
	SA	空調送気ダクト		亜鉛鍍鉄板製
	RA	空調送気ダクト		亜鉛鍍鉄板製
	OA	換気送気ダクト		亜鉛鍍鉄板製
	EA	排気ダクト		亜鉛鍍鉄板製
	A×B	矩形ダクト		亜鉛鍍鉄板製
○	○	丸ダクト		○ スパイラルダクト (鋼板製)
	SM	排煙ダクト		亜鉛鍍鉄板製
	////	耐火被覆ダクト		亜鉛鍍鉄板 1.6t +ロックウール 5.0m/m巻き
○	○	丸ダクト (アルミフレキダクト)		○ 丸材 71 (丸製)
○	F D・H F D	防火ダンパー		排煙用は、280℃
	V D	風量調整ダンパー		
	F V D	風量調整兼用防火ダンパー		
	S F D	煙感知器連動ダンパー		
	C D	逆流防止ダンパー		
	M D	モーターダンパー		
○	←	深型フード 材質=面示特記 ペントキャップ 材質=SUS製		色は外壁の近似色 熱度は20%以下・止まり木型不可
	□	吹出口		
	□	吸込口		
	□	排煙口		手動開放装置付 (電気式)
	■	たわみ継手		
	■	消音エルボ		GW25.50m/m内貼り
	■	消音ボックス		GW25.50m/m内貼り
	VAV	可変風量装置		
	CAV	定風量装置		
	C	冷水管 (送)	2	
	CR	冷水管 (送)	2	
	H	温水管 (送)	2	
	HR	温水管 (送)	2	
	CH	冷温水管 (送)	2	
	CHR	冷温水管 (送)	2	
	CD	冷却水管 (送)	2	
	CDR	冷却水管 (送)	2	
	E	配湯管	2	
	S	蒸気管 (送)	4	
	SR	蒸気管 (送)	4	
	O	油管 (送)	3	
	OR	油管 (送)	3	
	OV	油管 (送)	3	
	R	冷媒管 (送、返)	22	又は、メーカー規格
○	D	ドレン管	17	and ACドレン管 樹脂管+化粧断熱材巻違管
	-	加湿用給水管	6	

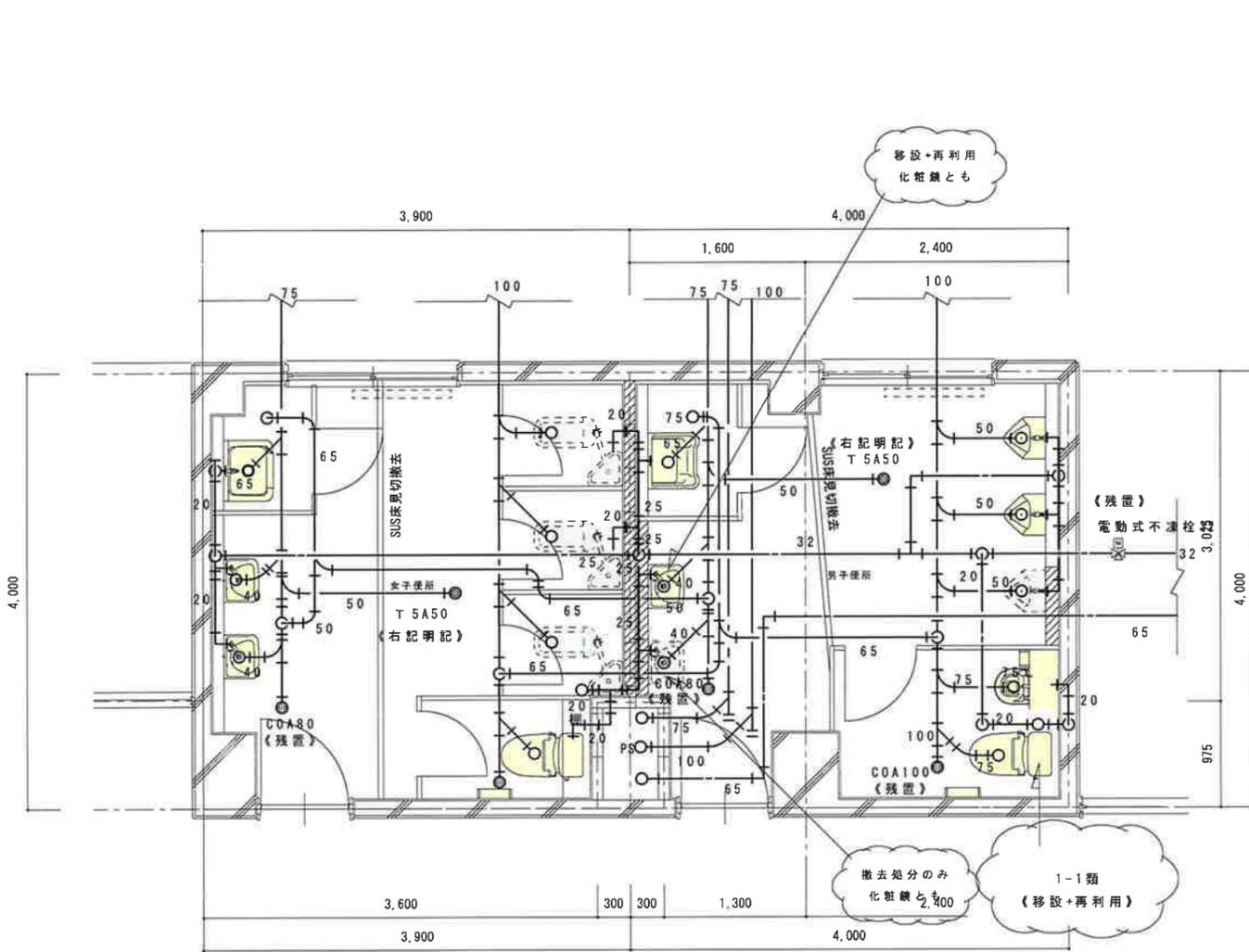
採用	記号	名称	材質 NO	備考
○	GV	仕切弁		JIS5K、10K
	BV	バタフライ弁		JIS10K (65A以上)
	SV	玉形弁		JIS10K
○	CV	逆止弁		JIS10K
	GV	埋設弁		JIS10K
○	○	防振継手		合成ゴム製
○	○	可とう継手		ステンレス製 取付金具・ビス等含む
	○	ストレーナー		
	EXJ、D	伸縮継手 (複式)		取付金具・ビス等含む
	M	二方弁装置		二位蝶式・O、運転運転 本体・O、V、Iスト・パイパス回路
	M	三方弁装置		※今回は更新なし
	○	電磁弁装置		
	○	電磁流量計装置		
	○	減圧弁装置		
	○	蒸気トラップ装置		
○	○	安全弁、逆止弁		
	○	自動エア抜き装置		
○	○	圧力計		
○	○	温度計		
	○	瞬間流量計		
	OM	油量計		パルス式
○	○	自動空気抜き装置		本体・GV・Y型 ストレーナ 口径は図示
	○	油濁気合物		※GL+4000以上・開口部より1m以上に設置 引火防止金網40メッシュ以上

管材リスト

NO	名称	型番	備考
1	水道用亜鉛メッキ鋼管	JISG3442	
2	配管用炭素鋼管 (白)	JISG3452	
3	配管用炭素鋼管 (黒)	JISG3452	
4	圧力配管用炭素鋼管 (黒)	JISG3454	STPG370 sch40
5	水道用硬質塩化ビニル管	JWWAK116	SGP-VA
6	水道用硬質塩化ビニル管	JWWAK116	SGP-VB
7	水道用硬質塩化ビニル管	JWWAK116	SGP-VD
8	ポリエチレン粉体ライニング鋼管	JWWAK132	SGP-PA
9	ポリエチレン粉体ライニング鋼管	JWWAK132	SGP-PD
10	一般配管用ステンレス鋼管	JISG3448	
11	水道用ステンレス鋼管	JWWAG115	
12	排水用硬質塩化ビニル管	WSP042	
13	排水用タールエポキシ塗層鋼管	WSP032	
14	排水用塩化ビニルコーティング鋼管		
15	排水用鋼管 (メカニカル)	HASS210	
16	排水用鋼管	HASS203	
17	硬質塩化ビニル管	JISK6741	VP
18	ヒューム管	JISA5303	外圧一種B型
19	鋼管	JISH3300	[L]
20	鋼管	JISH3300	[M]
21	内外面ナイロンコーティング鋼管		ハイグレード
22	冷媒用配管		メーカー保障仕様
23	耐熱性塩化ビニル管	SGP-HVA、K-HVA	土中配管・内外面塗層鋼管

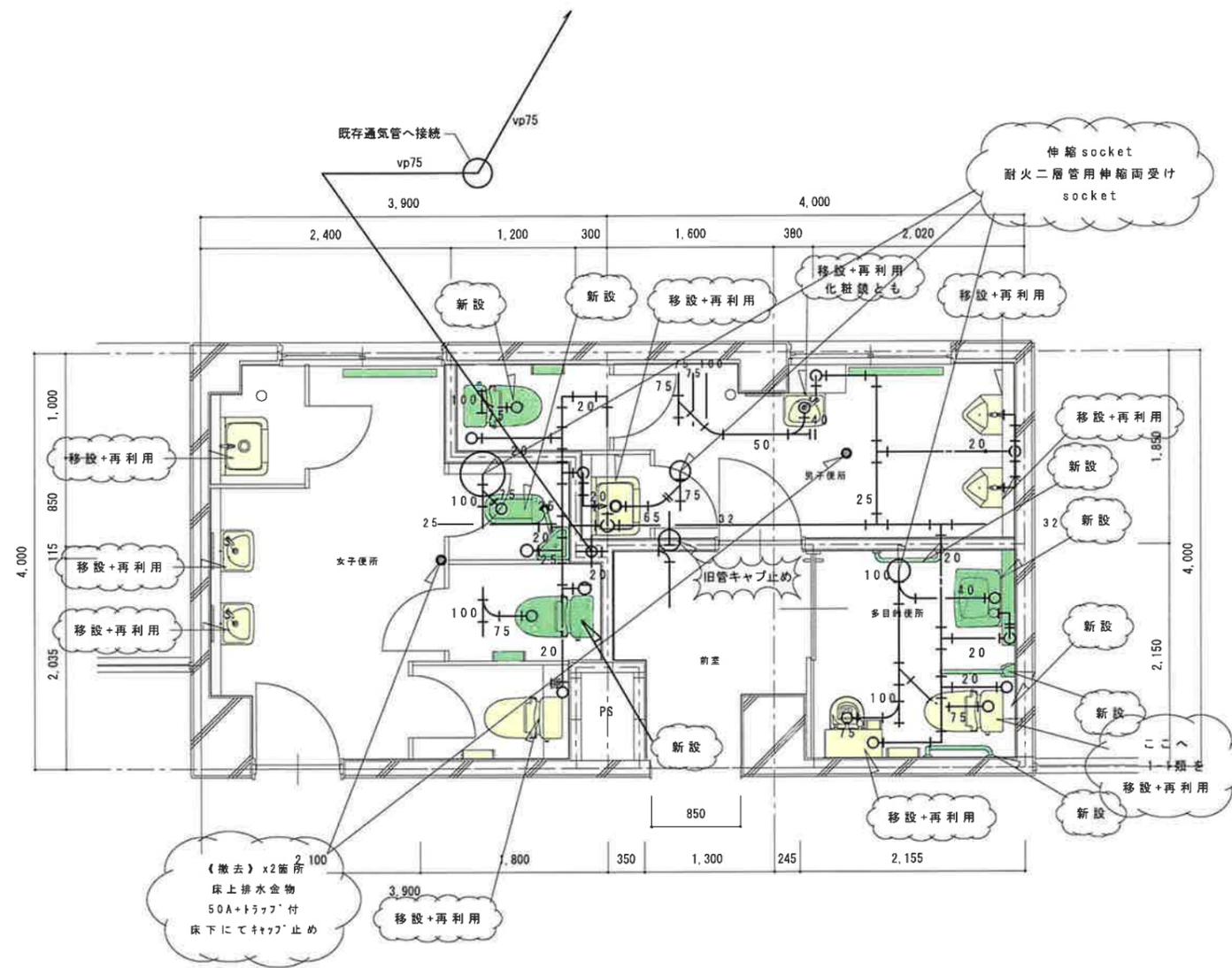
器具名称	参考品番	仕様 ※2 A:撤去とは:取り外し+廃棄処分扱い B:再利用とは:取り外し+清掃+取付(移設+再利用) C:更新とは:A+D D:新設とは:新規取付 ●各機器・器具の取外し後、A、B、Cに、区分けする。	普通教室棟																管理特別教室棟																校舎棟				給食棟				棟名		備考
			1				2				1				2				各、計				職員便所				階名																		
			A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	工種別名						
和風便器・ロータンク	C137特F	ロータンク 紙巻き器 ⇒C137・ロータンク等					6				6								3		1		6		2		21				3														
洋風便器・ロータンク	VG710	ロータンク 紙巻き器その他標準付属品一式 ⇒CS670・密結タンク・ウォレット便座等					4			10	4			10					2		1				4		8	2			25														
コンパ'ク'オストメイトハ'ック		⇒UAS81RDB2NW等																	1								1																		
身障者便器		⇒CS20AB・ウォッシュレット便座等																			1										1														
身障者用洗面器	L103A	鏡450x900H																			1										1														
身障者用手摺	T112CL9	Ltype																			2										2														
身障者用手摺	T112HK8R	跳ね上げtype																			1										1														
洋風便器・密結タンク	CS597BS	密結タンク・紙巻き器その他 自動式開閉型ウォッシュレット便座 その他標準付属品一式 SH596BAR TCF4734AK YH640																																	1						既存機器は建築工事で撤去処分				
ストール型小便器	VTU320						8				8								1	2					3		1	21																	
ハイタンク		3人12リッター 各配管隠蔽部残置 1組《2階のみ》																							1		1																		
ハイタンク		4人16リッター 各配管隠蔽部残置 4組《1階+2階》					2				2																4																		
ストール型小便器用器具		《不凍結FV・ヘリユーズ管調整TN116+TN117》								8			8								2				3				21																
手洗器	L-5B	⇒L-30D・ストラップ等																	1	3							1	3							1						既存機器は建築工事で撤去処分				
化粧鏡		350x450								8			8						1	3					6		1	9	16						1						既存機器は建築工事で撤去処分				
センサー水栓	TEL24DPRA	既存立水栓を撤去 電池式水栓																			1								1																
掃除用流し	VSN210						4				4								2						2		12																		
胴長水栓	13-F3	13-F3=4組 x 2所 x 270° = 《新設》					12				12														6		24	6																	
自在水栓	13-F5	f5は、撤去 レバー水栓4組 x 2所 x 270° = 《新設》					8		8		8		8														16																		
サーモスタット混合水栓		寒冷地仕様 BF-KA345TN相当								12			12																12																
電気給湯器		(現状40リッター)貯湯量20リッターへ修正する ⇒EWS20CNN215C0等								2			2																4																
小便器用ソール		《生徒用小便器に》 (該当メーカーは1袋3枚入り)								8			8												2				16																
耐火カバー		⇒HGS755V																											2																
サーモ付センサー水栓	TEL28SS2A	サーモ付センサー型 AC100V(作動時0.8W)																																	1										

機器名称	参考品番	仕様	数量	備考
パ'ルヒター	PH-1	壁掛形・サーモスタット運転・1Φ200v x 2.0kw/h《悪戯防止・保護》ガード・ss400	12	更新工事《校舎棟》
	PH-0.5	同上 1Φ200v x 0.5kw/h 同上	2	新規工事《校舎棟・給食室》
天井扇	F-6	150Φ x 400m3/H x100pa 《校舎棟》 深型food 《既存利用のため不要》	12	更新工事換気専用SME電気設備へ
	DF-100	100Φ x 100m3/H x80pa 《校舎棟》 深型food 《既存利用のため不要》	1	新規工事換気専用SME電気設備へ
		同上 《給食棟》 深型food 《既存利用のため不要》	1	新規工事換気専用SME電気設備へ



- 撤去衛生機器を示す
- 移設衛生機器を示す(再利用)

現況平面図 S=1:30



- 新設衛生機器を示す
- 既設衛生機器を示す(再利用)
- 移設衛生機器を示す(再利用)

改修平面図 S=1:30

建築解体+改修=床+壁+天井

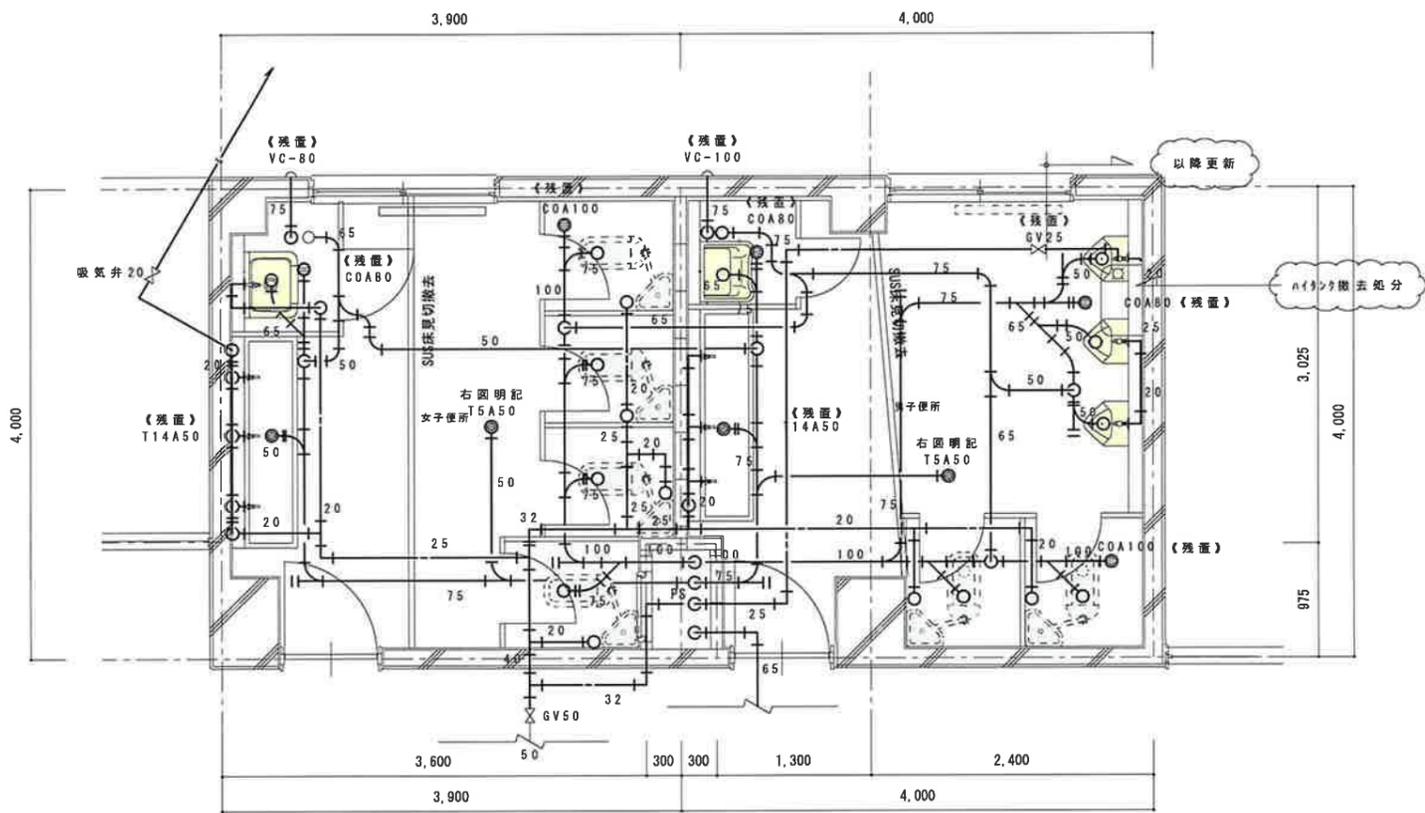
機械設備 = 同上に伴い(撤去or取り外す)+再取付or更新有り

明記無き配管・その他は、現状通り。
明記有るものは、改修通り。

耐火二層管伸縮 socket

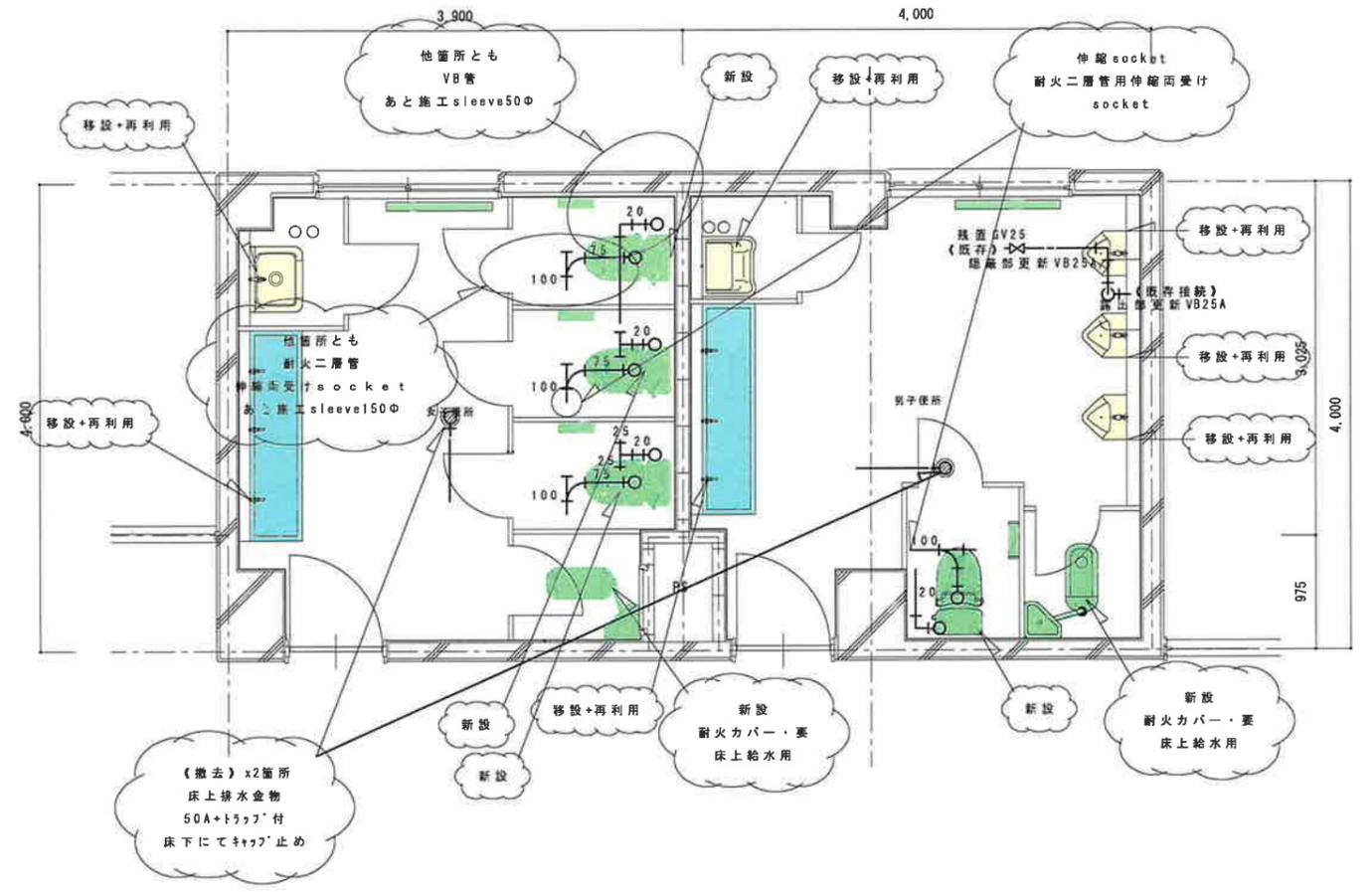
あと施工 sleeve

あと施工 anchor



- 撤去衛生機器を示す
- 移設衛生機器を示す(再利用)

現況平面図 S=1:30



- 新設衛生機器を示す
- 既設衛生機器を示す(再利用)
- 移設衛生機器を示す(再利用)

明記無き配管・その他は、現状通り。
明記有るものは、改修通り。

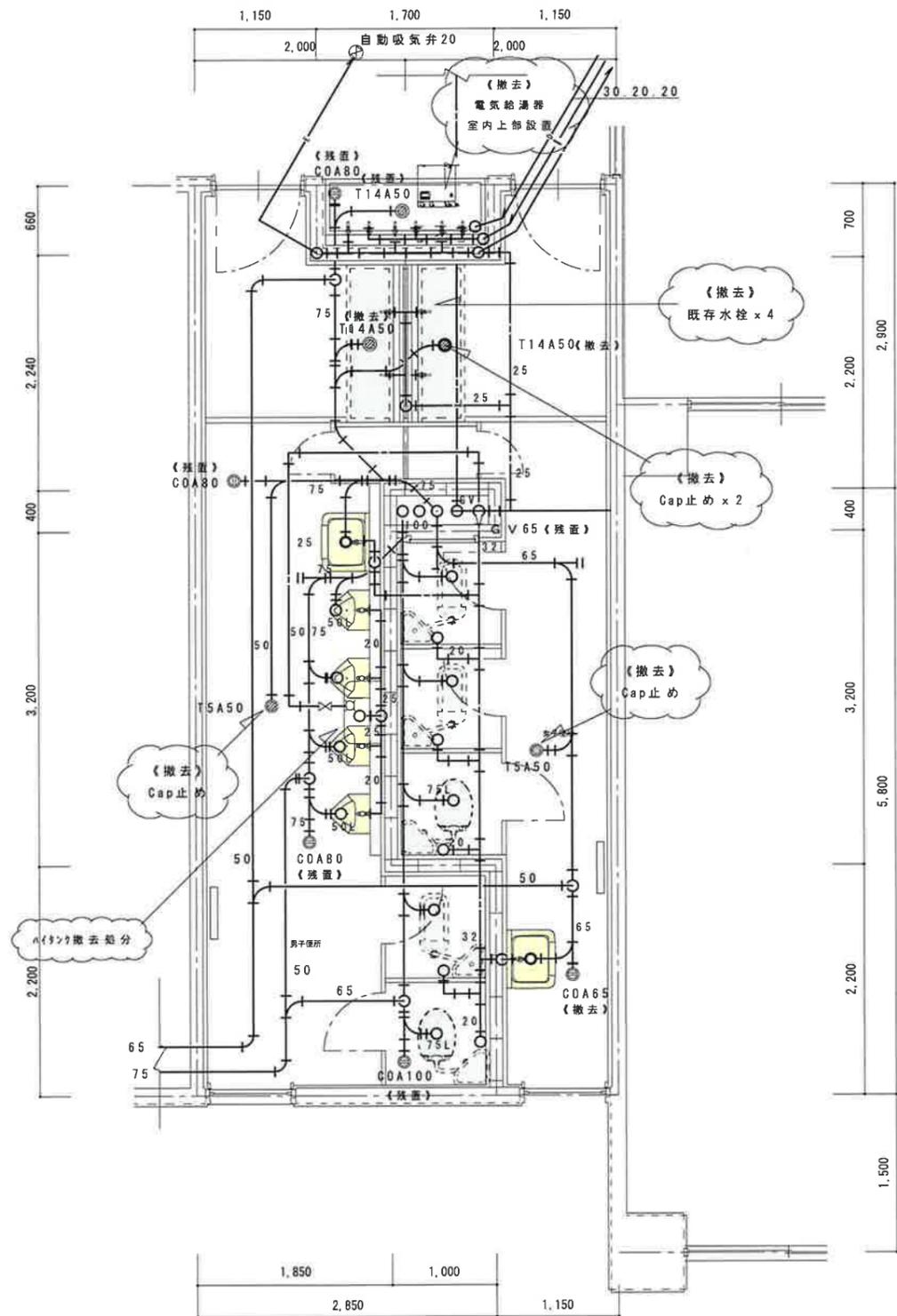
改修平面図 S=1:30

床・壁・天井は解体後更新工事有。

あと施工 sleeve
あと施工 anchor

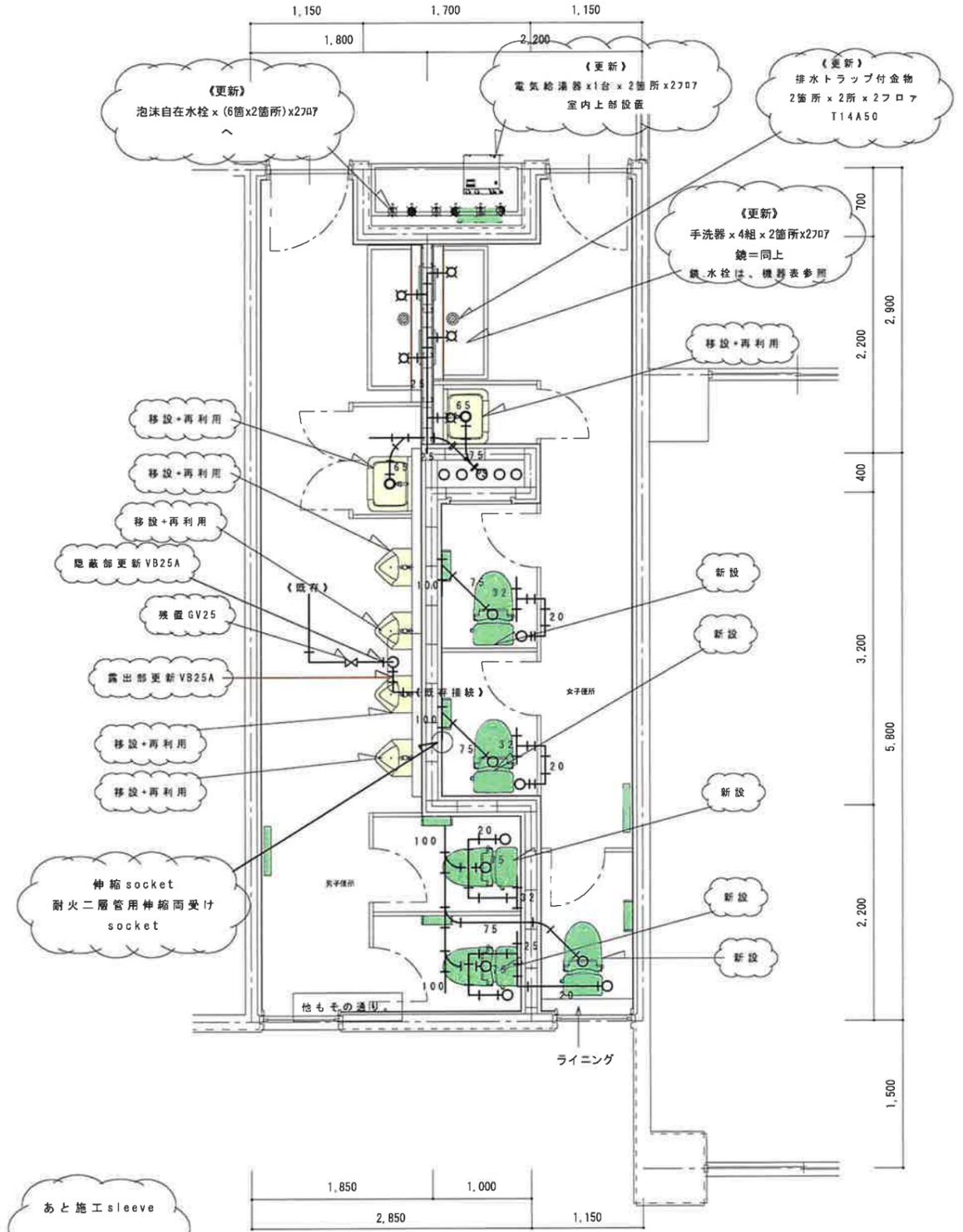
耐火処理材充填

機械設備 = 同上に伴い(撤去or取り外す)+再取付or更新有り



現況平面図 S=1:30

- 撤去衛生機器を示す
- 移設衛生機器を示す(再利用)



改修平面図 S=1:30

- 新設衛生機器を示す
- 既設衛生機器を示す(再利用)
- 移設衛生機器を示す(再利用)

あと施工 sleeve
耐火処理材充填

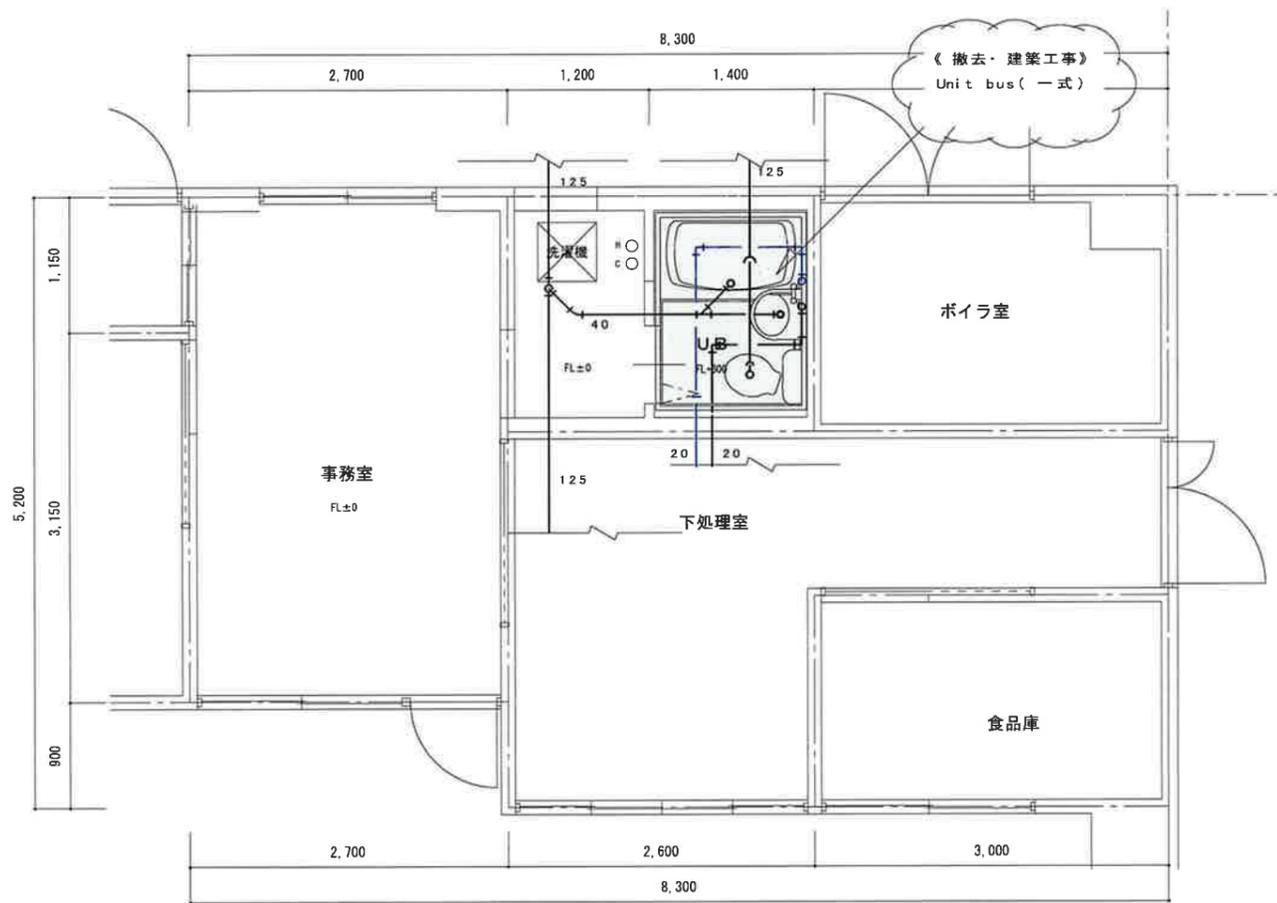
あと施工 sleeve
50φ
耐火処理材充填
超音波検査 Check

あと施工 sleeve
あと施工 anchor

かつ7~8通り間及び19~20通り間の2箇所
明記無き配管・その他は、現状通り。
明記有るものは、改修通り。

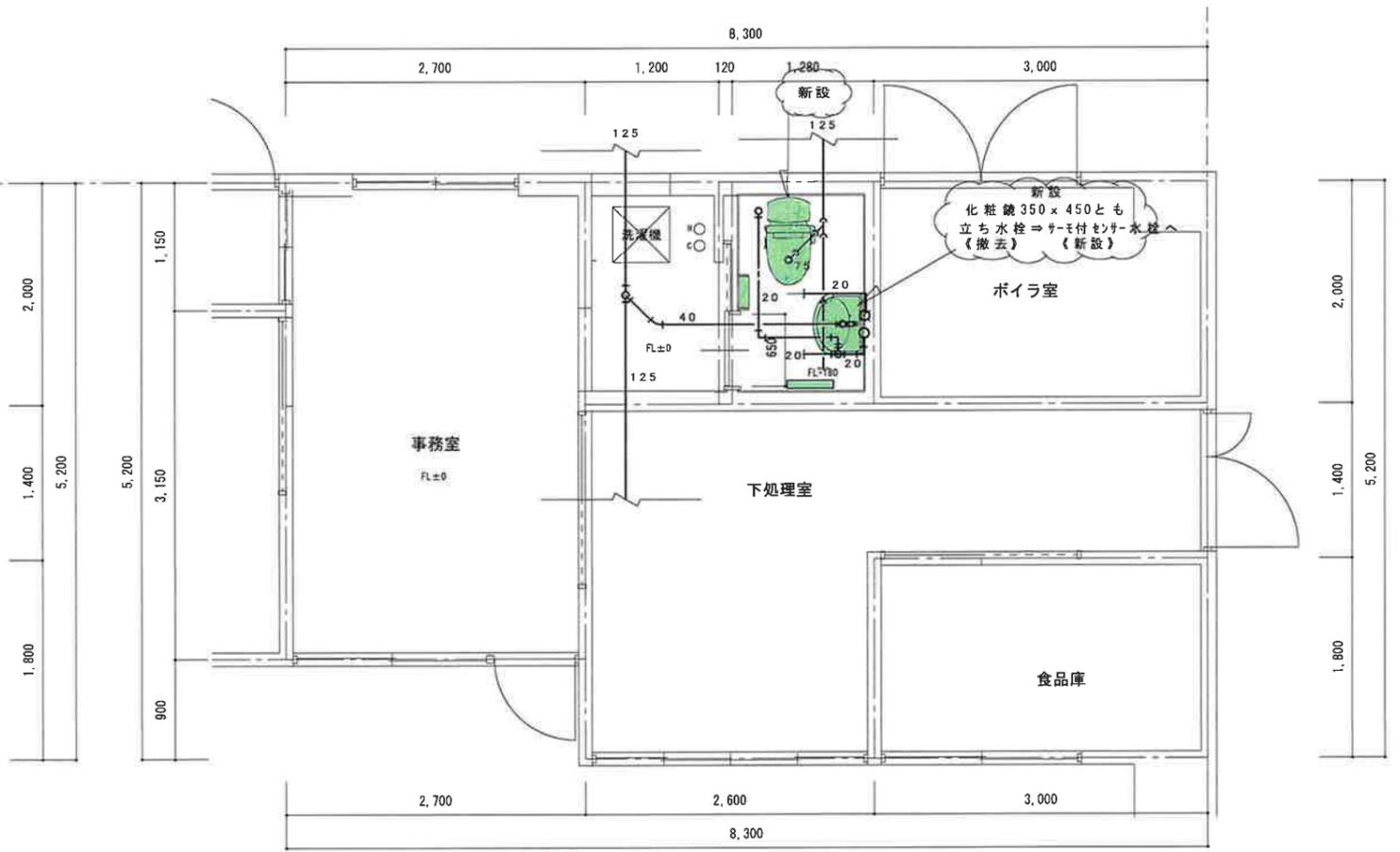
床・壁・天井は解体後更新工事有。

機械設備 = 同様に伴い(撤去or取り外す)+再取付or更新有り



撤去衛生機器を示す

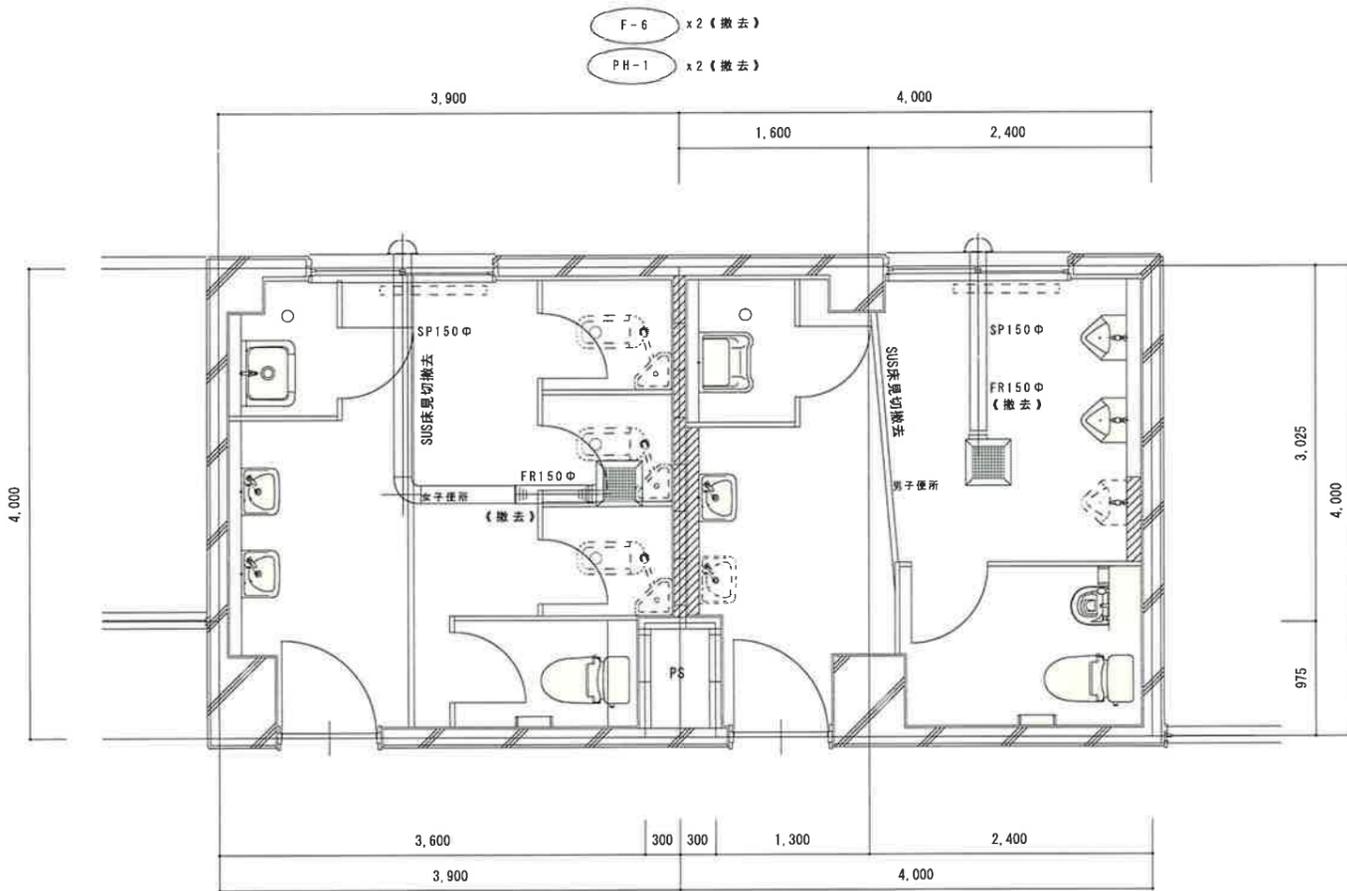
現況平面図 S=1:30



新設衛生機器を示す

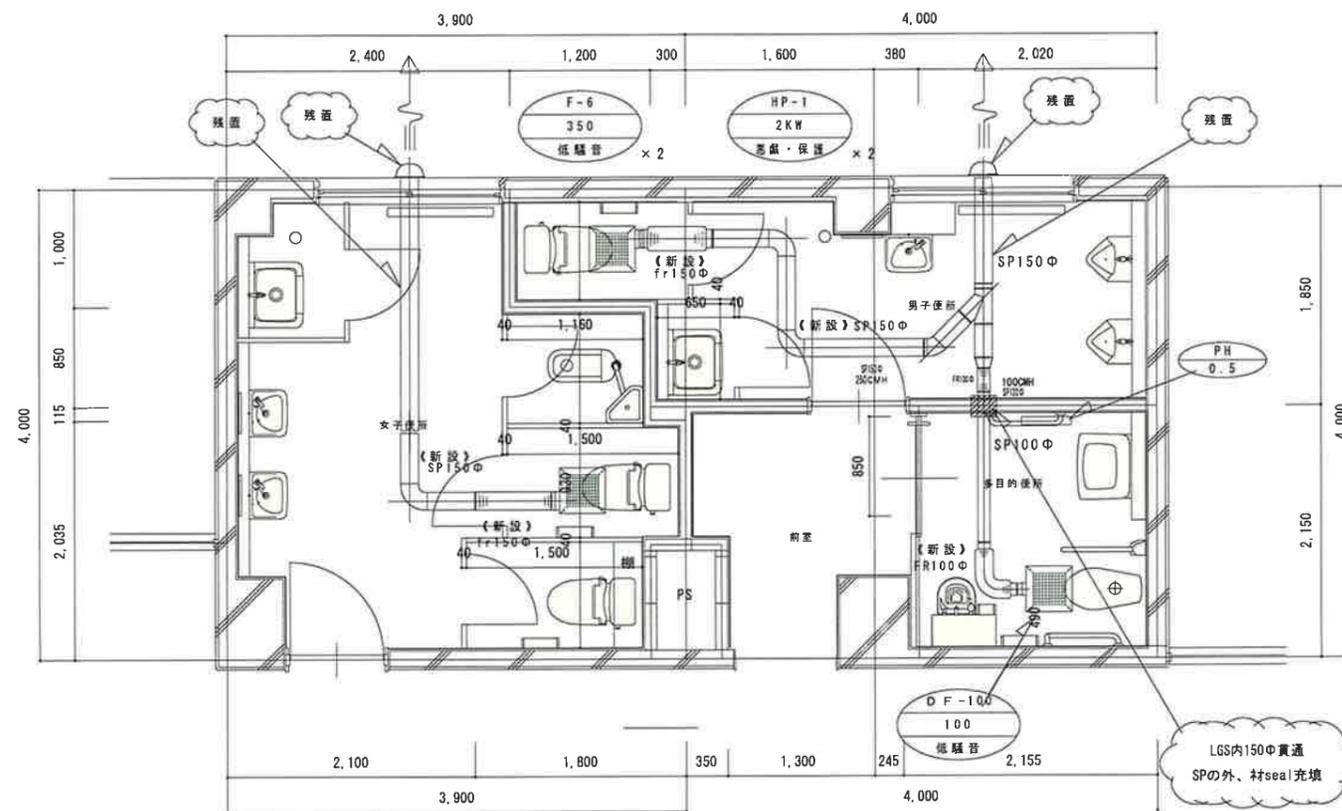
改修平面図 S=1:30

特記: (床・壁・天井)は解体後復旧とする。



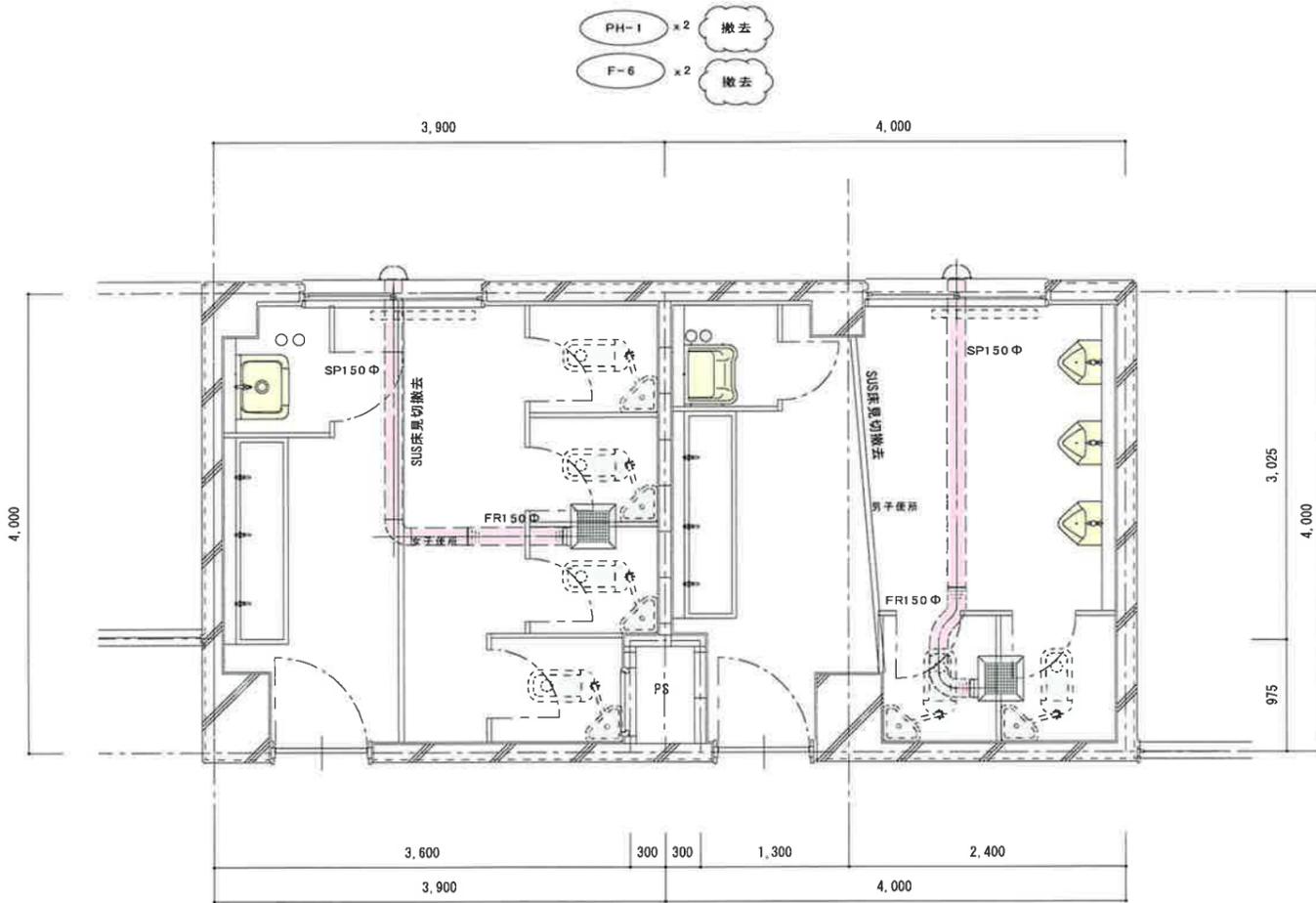
- 撤去衛生機器を示す
- 移設衛生機器を示す(再利用)

現況平面図 S=1:30

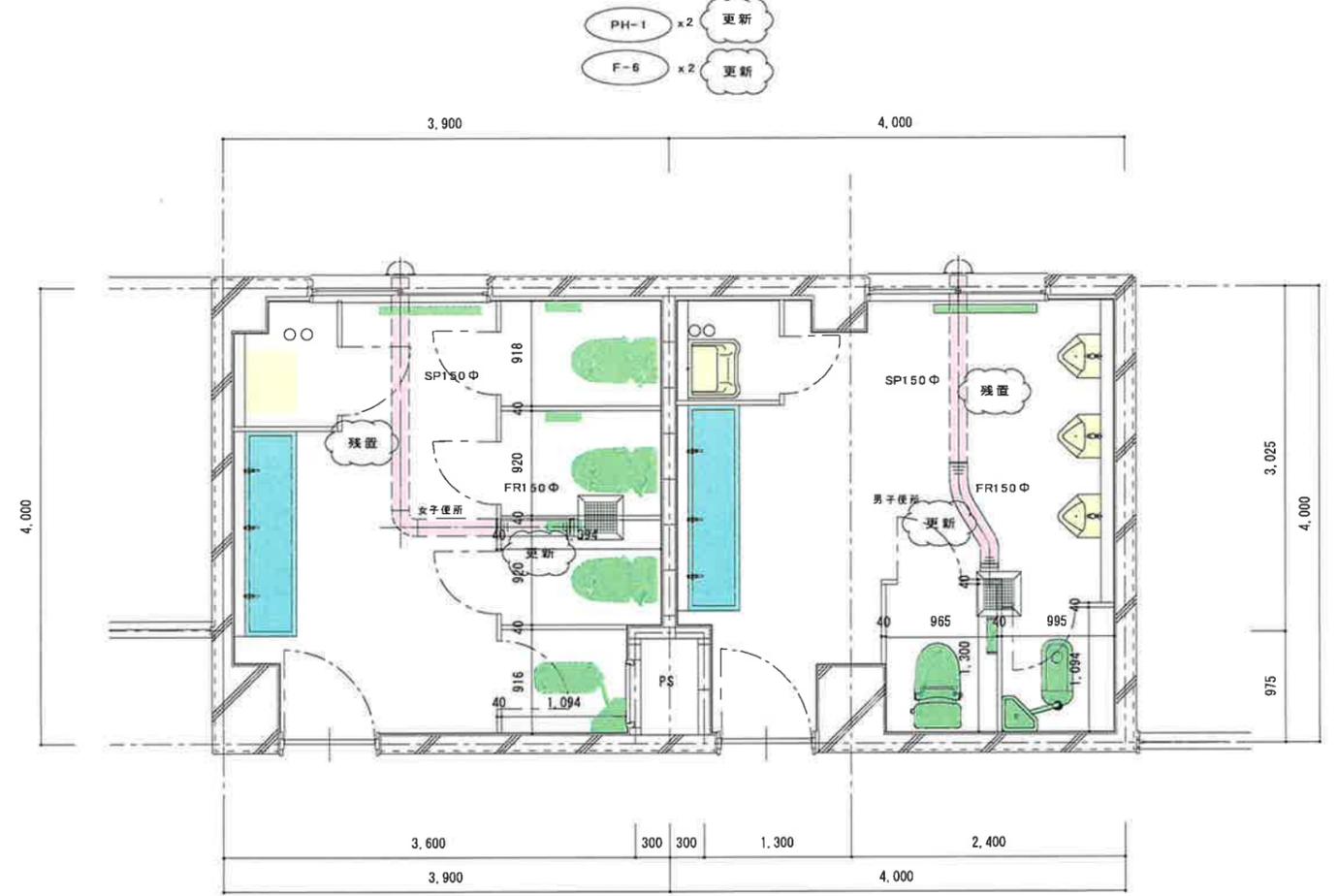


- 新設衛生機器を示す
- 移設衛生機器を示す(再利用)
- 既設衛生機器を示す(再利用)

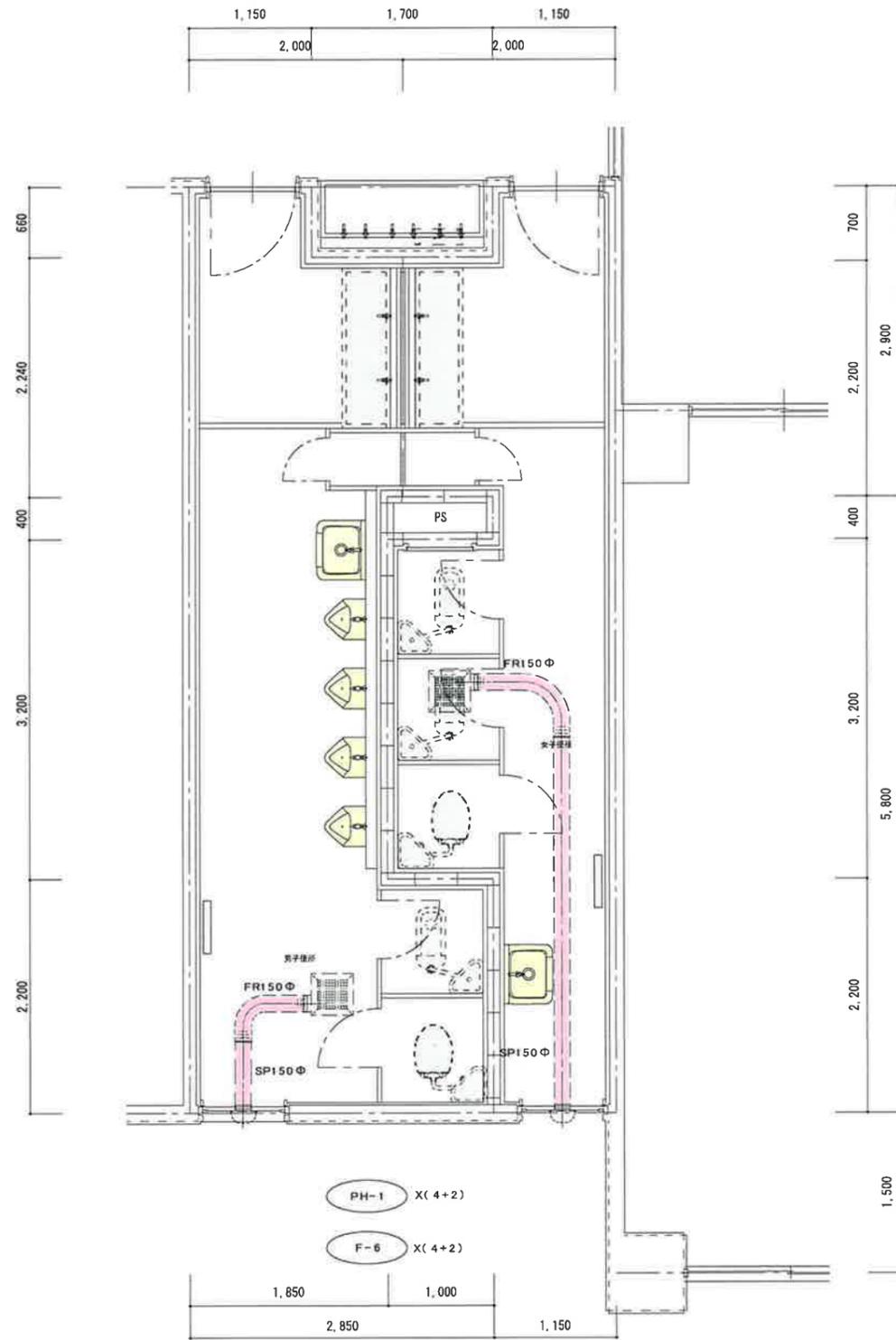
改修平面図 S=1:30



現況平面図 S=1:30



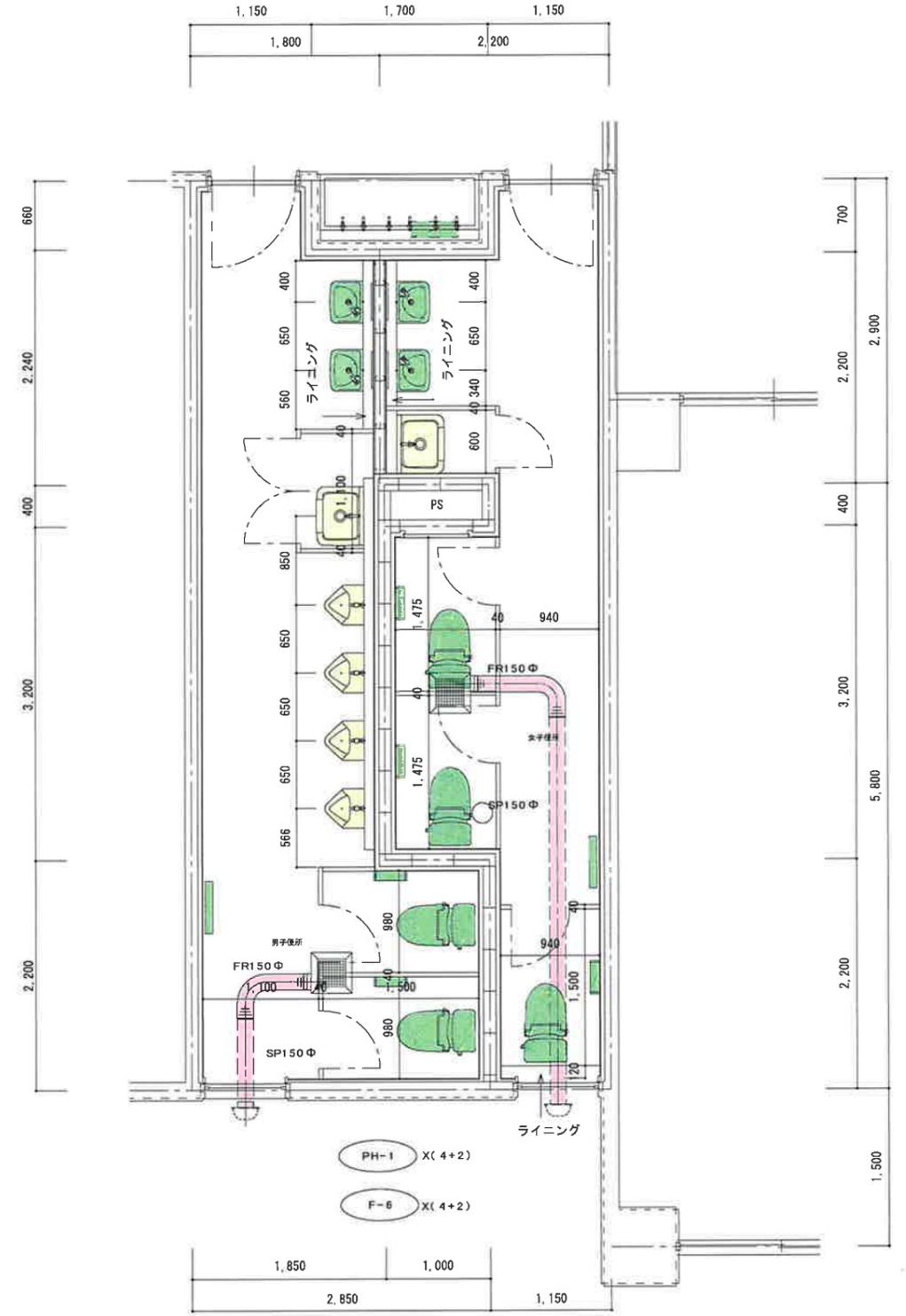
改修平面図 S=1:30



- 撤去衛生機器を示す
- 移設衛生機器を示す(再利用)

1・2階

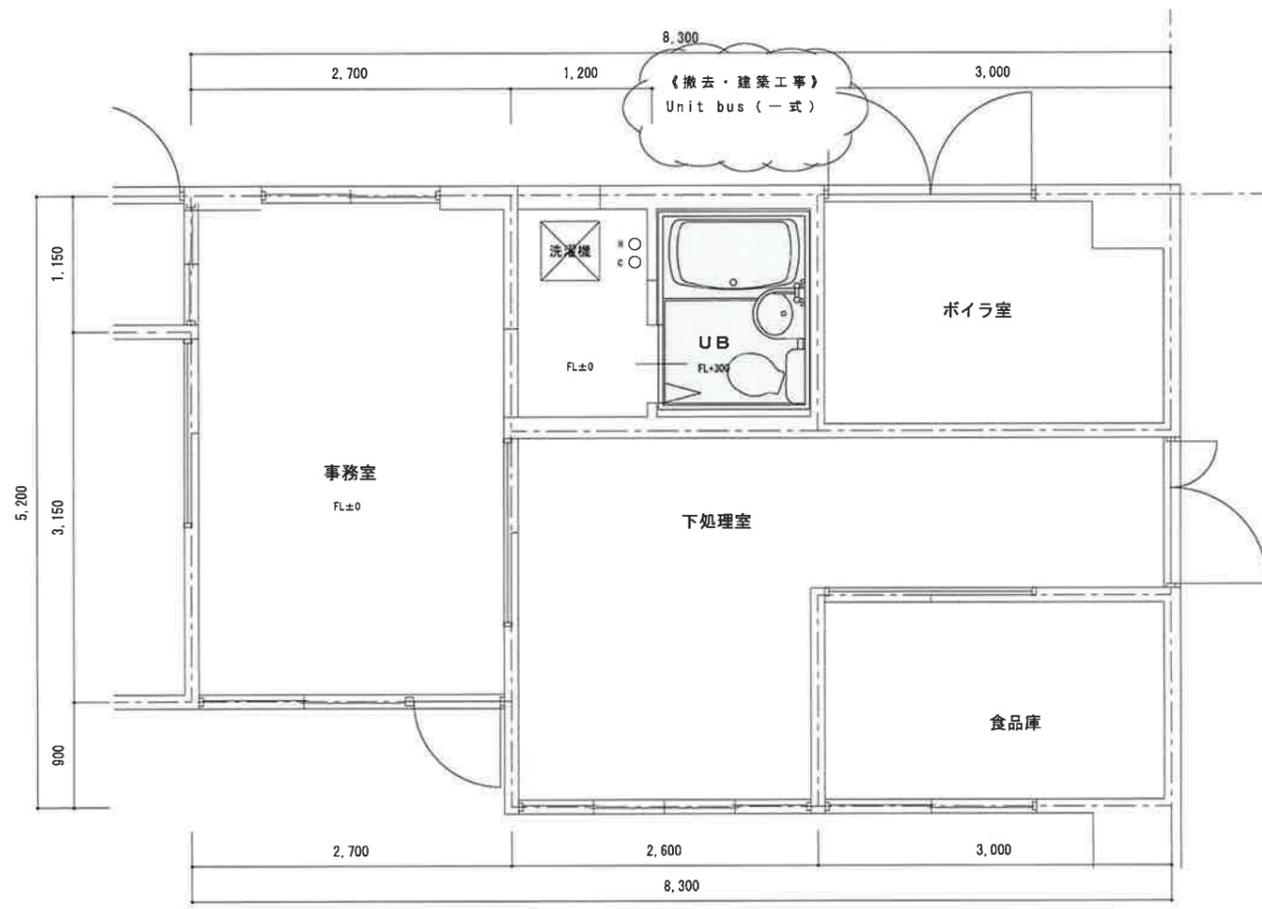
現況平面図 S=1:30



- 新設衛生機器を示す
- 既設衛生機器を示す(再利用)
- 移設衛生機器を示す(再利用)

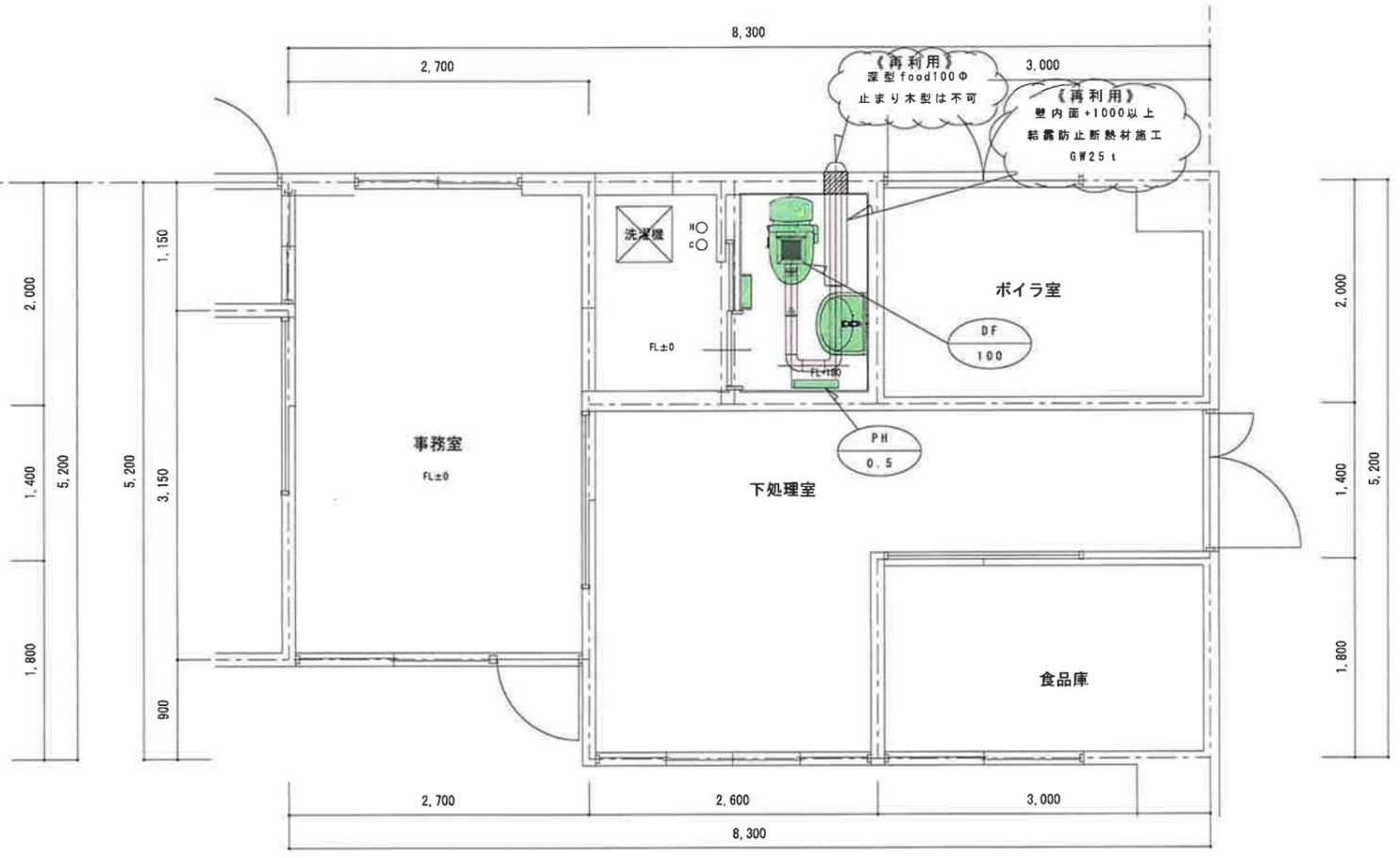
1・2階かつ7~8通り間及び19~20通り間の2箇所

改修平面図 S=1:30



撤去衛生機器を示す

現況平面図 S=1:30



新設衛生機器を示す

改修平面図 S=1:30